

令和5年度  
南砺市総合計画市民意識調査  
調査報告書

令和5年10月  
南砺市

## 目次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計と回収状況	1
3. 回答者の属性	1
II. 調査結果	5
III. 自由意見集計結果	57
1. 意見分類一覧	57
2. 意見詳細	58

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

この調査は、「第2次南砺市総合計画」におけるKPIの進捗状況などから施策の実行度合いや成果の把握の参考資料とすることを目的とする。

### 2. 調査設計と回収状況

#### (1) 調査の設計

調査対象者	南砺市在住の満18歳以上の方から2,500人
抽出方法	男女、年齢、地域に偏りがないよう無作為抽出
配布方法	郵送による配布
回収方法	郵送及びインターネット回答による回収
調査時期	令和5年

#### (2) 有効回答数と回収率

調査票発送数（人）	有効回答数（人）	回収率（%）
2,500	1,287	51.5

### 3. 回答者の属性

#### (1) 性別・年齢

(上段：人、下段：%)

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	不明	合計
男性	8 0.6	21 1.6	42 3.3	100 7.8	107 8.3	55 4.3	90 7.0	136 10.6	4 0.3	563 43.7
女性	4 0.3	37 2.9	84 6.5	111 8.6	125 9.7	89 6.9	109 8.5	153 11.9	1 0.1	713 54.7
その他	0 0.0	1 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.1	0 0.0	2 0.2
答えたくない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 0.4	1 0.1	0 0.0	1 0.1	0 0.0	0 0.0	7 0.5
不明	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.2	2 0.2
全体	12 0.9	59 4.6	126 9.8	216 16.8	233 18.1	144 11.2	200 15.5	290 22.5	7 0.5	1,287 100.0

(2) 家族

図1 家族構成 N = 1,280

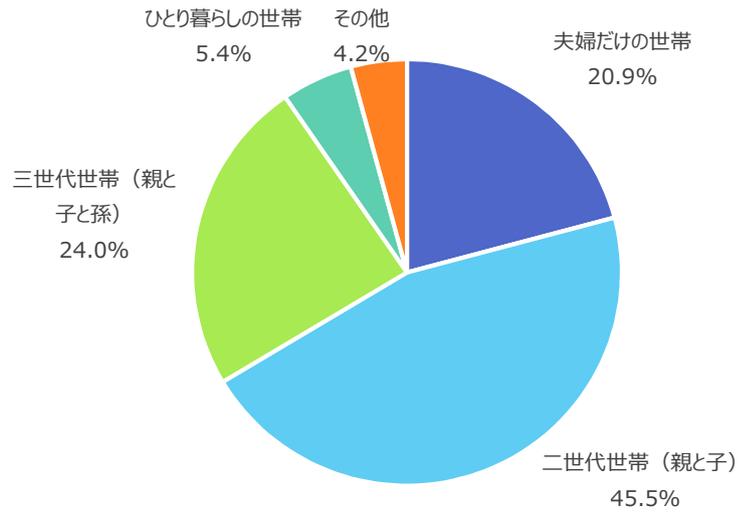


図2 配偶者 N = 1,276

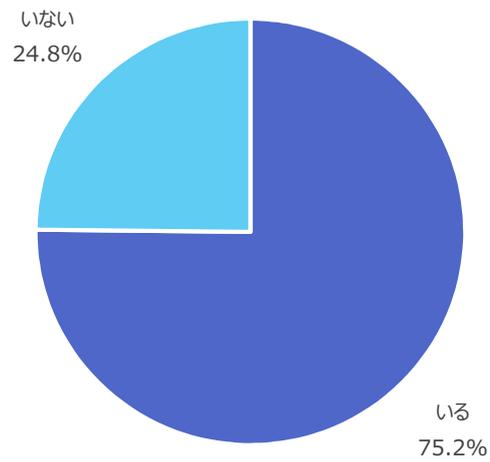
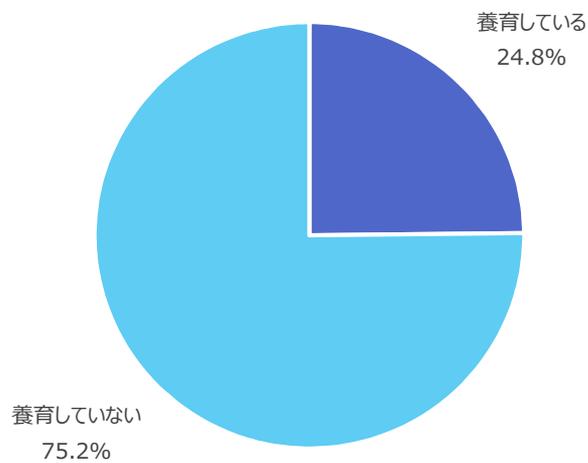


図3 子供 (0歳~中学生) N = 1,103



(3) 就労・就学

図4 就労・就学状況

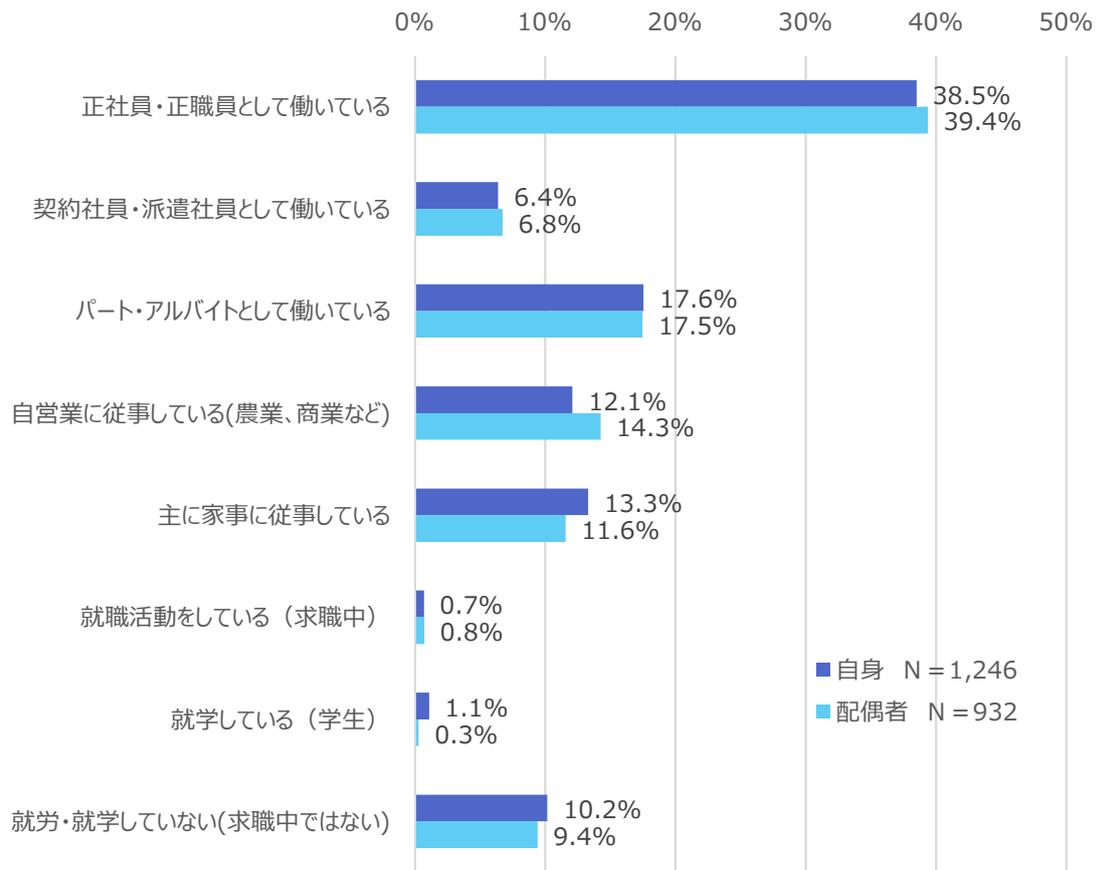
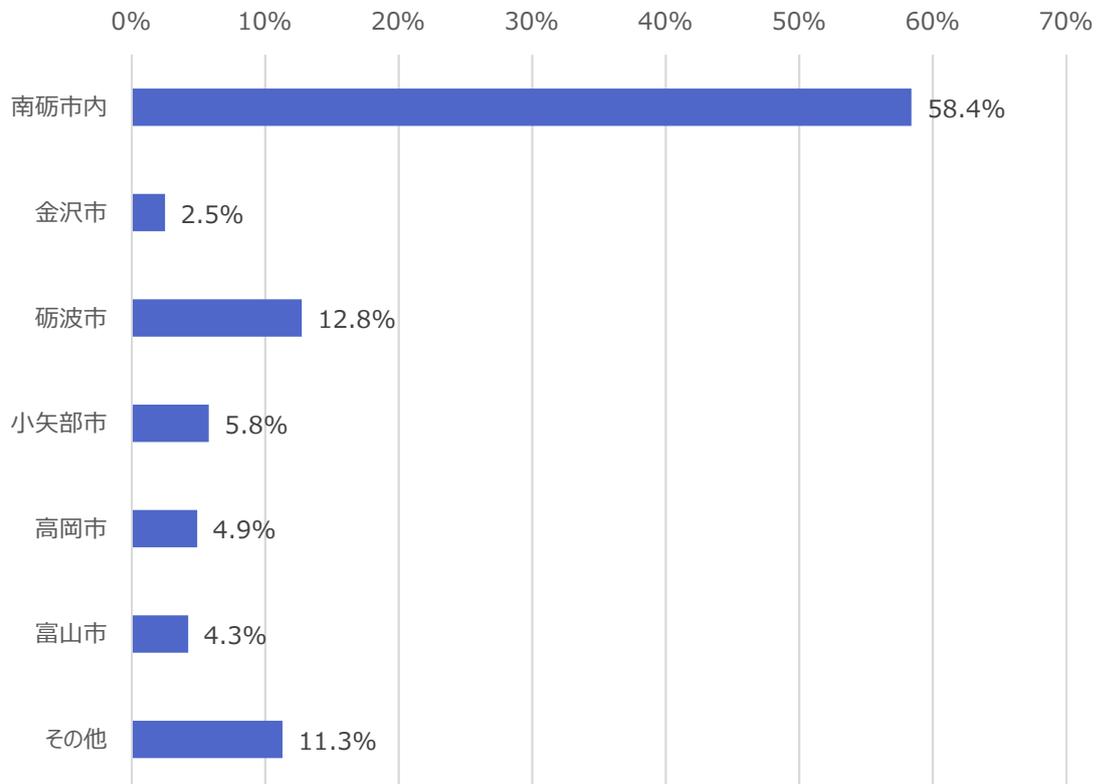


図5 就労・就学場所 N=1,034



#### (4) 住まい

図6 お住まいの地域 N = 1,279

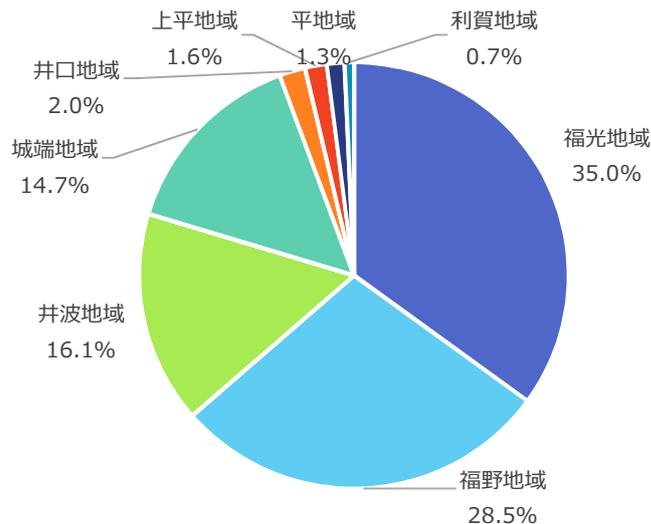
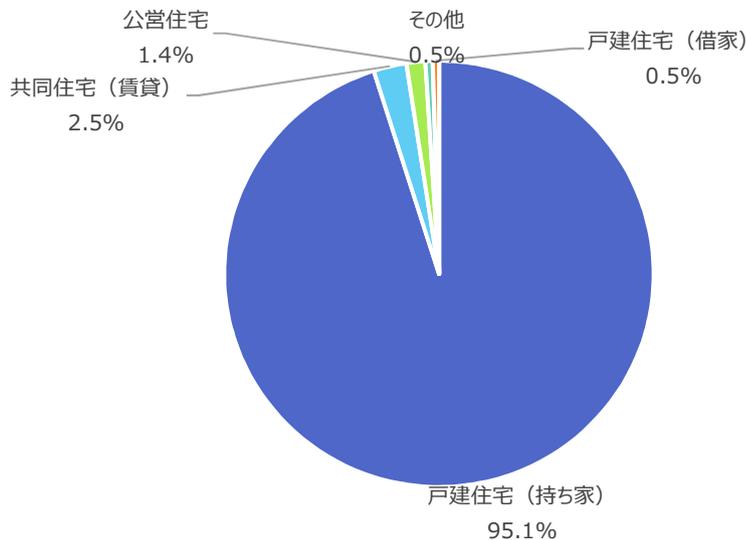


図7 お住まいの形態 N = 1,280



#### 本報告書を読む際の注意点

- ・調査結果は百分率で表示した。その百分率は少数第2位を四捨五入した。したがって、個々の比率の合計と全体を示す数値とは一致しないことがある。
- ・図表中に「N」とあるのは、質問に対する回答者総数で、回答比率 (%) が何人の回答に相当するかを示す比率算出用である。
- ・全体の「N」は、属性不明の回答を含んでいるため、各属性個々の「N」の合計と合致しない。
- ・図表中に「MA」(Multiple Answer) と記してあるのは、1つの質問に対して2つ以上の回答 (複数回答) を求めた場合を示し、その百分率は回答数を回答者数 (N) で割った比率である。

## II 調査結果

問10 あなたが買い物をする主な行き先はどこですか。

「買い物の目的」ごとの「買い物をする主な行き先」をそれぞれ2つまで○をつけてください。

**食料品、日用雑貨の買い物は南砺市内が最も多くなっている。**

目的ごとの買い物場所をみると、食料品は「南砺市内」が89.0%と最も多く、次いで「砺波市」が56.5%、「金沢市」が3.0%となっている。

日用雑貨は、「南砺市内」が79.3%と最も多く、次いで「砺波市」が60.4%、「インターネット」が7.8%となっている。

衣料品は、「砺波市」が60.1%と最も多く、次いで「南砺市内」が35.4%、「高岡市」が22.6%となっている。

電化製品は、「砺波市」が74.3%と最も多く、次いで「南砺市内」が35.2%、「インターネット」が19.4%となっている。

趣味に関するものは、「砺波市」が39.4%と最も多く、次いで「インターネット」が35.2%、「南砺市内」が26.1%となっている。

図8 目的ごとの買い物場所（MA）

	南 砺 市 内	砺 波 市	小 矢 部 市	高 岡 市	射 水 市	富 山 市	金 沢 市	イ ン タ ー ネ ッ ト	そ の 他 通 信 販 売	そ の 他
食料品 N=1,283	89.0	56.5	0.8	1.7	0.8	0.8	3.0	2.1	0.5	1.4
日用雑貨 N=1,270	79.3	60.4	0.9	4.7	0.2	1.3	4.5	7.8	1.1	0.8
衣料品 N=1,256	35.4	60.1	3.1	22.6	0.2	5.3	14.7	17.4	3.7	1.8
電化製品 N=1,253	35.2	74.3	0.2	8.9	0.2	2.0	5.6	19.4	1.4	0.6
趣味に関するもの N=1,222	26.1	39.4	0.6	20.3	0.2	8.3	14.7	35.2	5.2	3.4

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

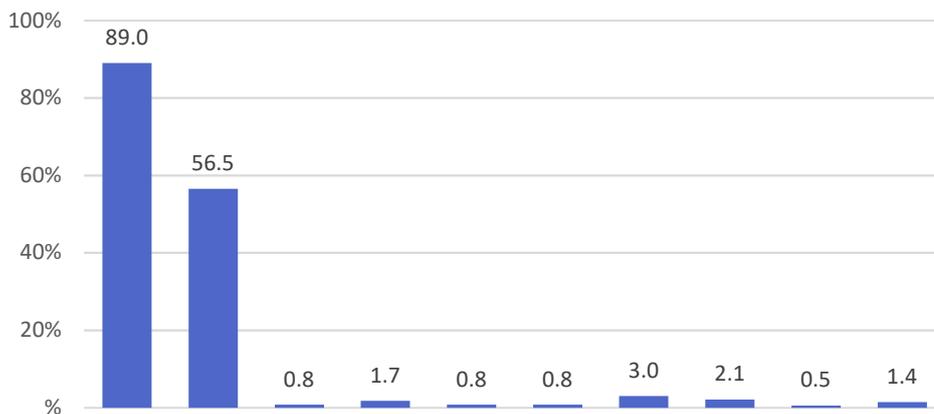
(1) 食料品

全体の約9割は食料品を南砺市内で購入している。

食料品についてみると、「南砺市内」が89.0%と最も多く、次いで「砺波市」が56.5%、「金沢市」が3.0%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ南砺市内で購入する傾向がある。また、地域別にみると、南砺市以外ではそれぞれ隣接している地域、近隣で購入している。

図9 食料品の買い物場所 (MA)



			南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他通信販売	その他
全体 N=1,283			89.0	56.5	0.8	1.7	0.8	0.8	3.0	2.1	0.5	1.4
年度別	R4年	N=1,261	88.3	56.1	1.0	1.4	0.6	0.7	2.9	1.5	0.6	1.3
	R3年	N=1,353	89.9	53.1	0.5	1.6	0.7	0.7	2.4	1.6	0.6	1.4
	R2年	N=1,439	89.0	51.6	0.8	2.4	0.5	0.4	2.9	2.1	0.6	1.5
	R1年	N=1,305	87.8	48.3	0.5	2.1	0.8	0.8	3.2	0.9	0.6	0.8
	H30年	N=1,367	87.5	48.8	0.7	1.6	0.4	0.5	3.2	0.7	0.7	1.5
年齢別	18~19歳	N=12	66.7	41.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0
	20~29歳	N=59	83.1	67.8	0.0	6.8	3.4	0.0	5.1	5.1	0.0	1.7
	30~39歳	N=125	88.8	66.4	0.0	0.8	1.6	0.8	3.2	4.8	0.0	0.8
	40~49歳	N=216	86.6	63.9	1.4	2.8	1.4	0.0	1.4	3.7	0.9	0.5
	50~59歳	N=232	87.1	59.5	0.9	2.6	0.9	1.3	6.5	0.0	0.9	1.3
	60~64歳	N=144	93.1	60.4	1.4	1.4	0.0	0.0	0.7	2.1	0.7	0.7
	65~69歳	N=199	91.5	45.7	1.0	1.0	0.0	1.0	2.5	1.5	0.5	2.0
	70歳以上	N=289	91.0	47.4	0.3	0.3	0.3	0.7	2.4	1.0	0.3	2.4
地域別	城端地域	N=186	91.9	47.8	0.0	0.5	1.6	0.5	4.3	2.2	1.1	1.1
	平地地域	N=17	88.2	58.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
	上平地域	N=21	100	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
	利賀地域	N=9	55.6	88.9	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0
	井波地域	N=206	73.8	86.9	0.5	3.4	1.5	0.5	1.0	1.0	0.0	0.5
	井口地域	N=24	83.3	54.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	4.2
	福野地域	N=365	87.4	67.7	1.6	3.0	0.5	1.4	1.1	0.8	0.0	0.8
	福光地域	N=447	96.6	35.6	0.7	0.7	0.4	0.4	5.1	3.6	0.9	2.2

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

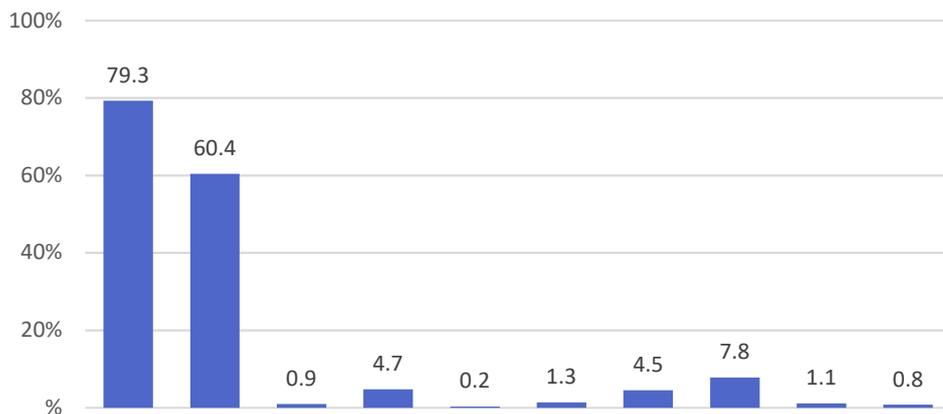
(2) 日用雑貨

全体の約8割は日用雑貨を南砺市で購入している。

日用雑貨についてみると、「南砺市内」が79.3%と最も多く、次いで「砺波市」が60.4%、「インターネット」が7.8%となっている。

年齢別、地域別では、食料品の傾向と同様に、年齢が高くなるにつれ南砺市内で購入し、それぞれの地域では隣接している地域で購入している。

図10 日用雑貨の買い物場所 (MA)



			南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他通信販売	その他
全体 N=1,270			79.3	60.4	0.9	4.7	0.2	1.3	4.5	7.8	1.1	0.8
年度別	R4年	N=1,253	78.0	61.3	0.6	5.4	0.3	0.7	3.8	6.2	0.4	1.0
	R3年	N=1,329	79.1	60.5	0.2	3.8	0.4	1.1	4.0	5.3	1.1	1.4
	R2年	N=1,415	78.6	56.0	0.4	5.0	0.3	0.8	5.1	6.6	1.1	1.0
	R1年	N=1,287	73.0	56.5	0.5	4.7	0.4	1.4	5.7	6.2	0.9	0.8
	H30年	N=1,345	73.2	56.0	0.5	6.1	0.2	1.3	5.3	5.3	0.8	1.0
年齢別	18~19歳	N=12	41.7	58.3	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	8.3	0.0
	20~29歳	N=58	62.1	67.2	1.7	22.4	1.7	1.7	10.3	12.1	0.0	0.0
	30~39歳	N=126	75.4	63.5	0.8	7.9	0.0	2.4	7.1	15.1	0.0	0.0
	40~49歳	N=214	77.6	68.2	0.9	5.6	0.9	1.4	3.7	9.8	0.9	0.0
	50~59歳	N=229	77.7	67.2	0.9	5.2	0.0	2.2	7.0	7.4	0.9	1.7
	60~64歳	N=142	81.0	64.1	1.4	1.4	0.0	0.7	3.5	9.2	0.7	0.7
	65~69歳	N=199	83.4	50.3	1.5	3.0	0.0	0.5	3.0	6.0	1.5	1.5
	70歳以上	N=283	85.5	50.9	0.4	0.7	0.0	0.4	2.1	2.8	1.8	0.7
地域別	城端地域	N=187	81.3	50.3	0.0	3.2	0.5	1.1	6.4	11.2	1.6	1.1
	平地域	N=17	76.5	58.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	5.9	0.0
	上平地域	N=21	90.5	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	4.8
	利賀地域	N=9	44.4	88.9	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0
	井波地域	N=203	65.5	84.2	1.0	6.9	1.0	2.0	1.5	6.9	0.0	0.0
	井口地域	N=25	64.0	68.0	0.0	8.0	0.0	0.0	4.0	8.0	0.0	0.0
	福野地域	N=360	79.2	66.9	1.7	6.4	0.0	1.7	1.9	5.6	1.1	0.0
	福光地域	N=440	85.9	47.0	0.9	3.4	0.0	0.9	7.5	8.6	1.1	1.6

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

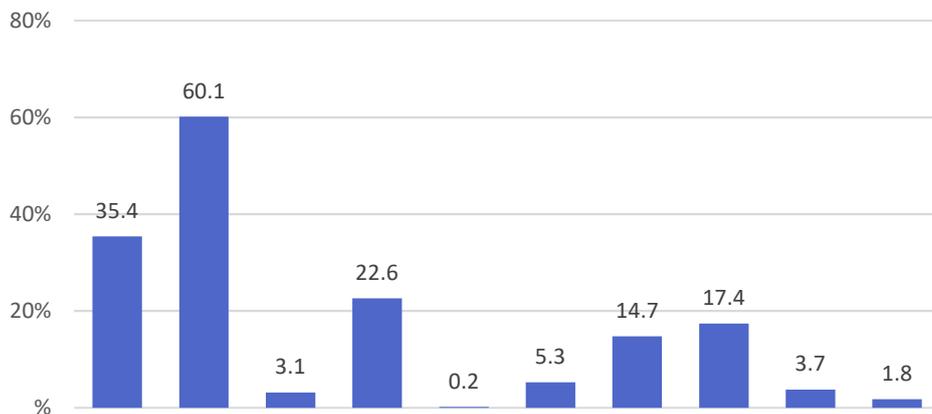
### (3) 衣料品

全体の6割は衣料品を砺波市で購入している。

衣料品についてみると、「砺波市」が60.1%と最も多く、次いで「南砺市内」が35.4%、「高岡市」が22.6%、「インターネット」が17.4%となっている。

年度別にみると、「インターネット」による購入が増加傾向にある。また、年齢が高いほど「南砺市内」が多く、年齢が低いほど「高岡市」「金沢市」が多い傾向にある。

図11 衣料品の買い物場所 (MA)



			南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他通信販売	その他
全体 N=1,256			35.4	60.1	3.1	22.6	0.2	5.3	14.7	17.4	3.7	1.8
年度別	R4年	N=1,238	35.0	61.3	4.1	23.5	0.0	4.2	12.1	16.1	3.7	2.2
	R3年	N=1,326	38.3	64.1	3.5	18.8	0.2	5.2	14.0	12.4	4.3	2.3
	R2年	N=1,407	37.2	60.9	4.5	20.5	0.2	4.3	16.6	12.4	3.1	2.1
	R1年	N=1,289	30.9	60.5	4.1	18.6	0.4	4.6	21.6	10.9	4.1	1.7
	H30年	N=1,352	32.7	61.1	3.6	19.6	0.1	5.7	18.1	8.9	3.6	2.1
年齢別	18~19歳	N=12	0.0	50.0	0.0	41.7	0.0	16.7	25.0	25.0	0.0	0.0
	20~29歳	N=58	15.5	36.2	8.6	43.1	0.0	8.6	34.5	37.9	3.4	0.0
	30~39歳	N=125	12.0	52.0	4.0	39.2	0.0	4.0	19.2	40.8	2.4	2.4
	40~49歳	N=214	15.9	56.5	7.0	37.9	0.0	7.5	16.4	27.6	2.3	1.9
	50~59歳	N=225	25.8	65.8	3.6	29.8	0.0	5.3	20.9	15.6	3.1	2.2
	60~64歳	N=142	41.5	71.8	2.8	8.5	0.7	2.1	12.7	16.2	5.6	2.1
	65~69歳	N=194	51.5	66.0	0.0	11.3	0.5	6.7	9.3	7.7	3.6	2.1
	70歳以上	N=279	59.9	57.0	0.7	7.5	0.0	3.6	6.5	3.6	5.4	1.1
地域別	城端地域	N=182	38.5	53.3	1.6	14.8	0.0	6.0	13.7	18.7	4.9	4.4
	平地地域	N=16	43.8	68.8	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0
	上平地域	N=21	42.9	61.9	9.5	14.3	0.0	4.8	4.8	19.0	4.8	4.8
	利賀地域	N=9	22.2	77.8	0.0	22.2	0.0	0.0	22.2	22.2	11.1	0.0
	井波地域	N=204	28.9	74.5	2.9	27.9	1.0	5.9	4.4	16.2	3.4	1.0
	井口地域	N=24	37.5	58.3	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	12.5	0.0	0.0
	福野地域	N=354	31.1	64.7	4.0	28.0	0.0	7.6	13.8	16.9	2.0	0.3
	福光地域	N=438	39.5	52.1	3.2	19.4	0.0	3.4	21.7	17.8	4.3	2.3

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

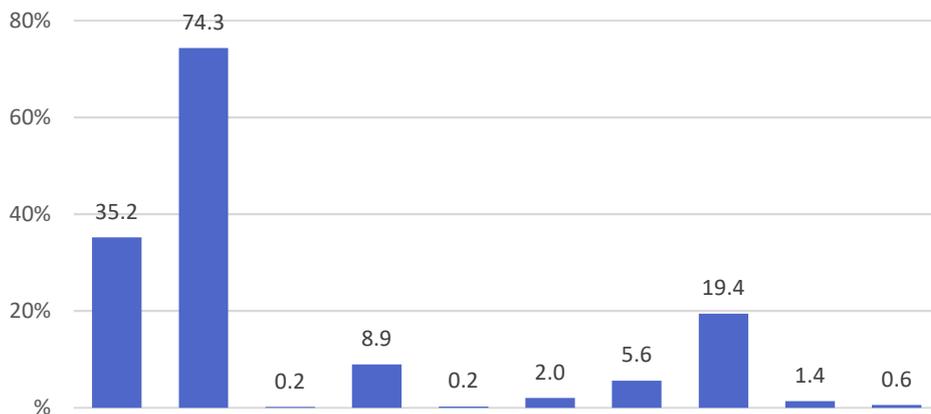
#### (4) 電化製品

全体の7割は電化製品を砺波市で購入している。

電化製品についてみると、「砺波市」が74.3%と最も多く、次いで「南砺市」が35.2%、「インターネット」が19.4%となっている。

年度別にみると、「インターネット」が増加傾向にあり、年齢別にみると年齢が高いほど「南砺市内」が多くなる傾向がある。

図12 電化製品の買い物場所 (MA)



			南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他通信販売	その他
全体 N=1,253			35.2	74.3	0.2	8.9	0.2	2.0	5.6	19.4	1.4	0.6
年度別	R4年	N=1,230	32.6	76.3	0.3	8.7	0.0	1.9	4.9	20.5	2.0	1.0
	R3年	N=1,326	35.6	75.8	0.2	7.3	0.1	1.4	5.1	14.9	2.7	1.3
	R2年	N=1,402	35.0	74.4	0.3	9.6	0.2	1.7	5.8	15.5	1.6	1.0
	R1年	N=1,276	30.2	74.7	0.5	7.6	0.2	1.8	7.3	14.1	1.5	0.9
	H30年	N=1,338	30.7	76.2	0.1	7.8	0.1	1.6	5.8	12.1	1.4	1.4
年齢別	18~19歳	N=12	0.0	83.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	8.3	0.0
	20~29歳	N=59	25.4	78.0	0.0	23.7	0.0	1.7	8.5	30.5	0.0	0.0
	30~39歳	N=125	16.8	76.0	0.0	22.4	0.0	3.2	6.4	32.8	0.8	0.0
	40~49歳	N=212	22.6	77.8	0.5	12.7	0.9	3.8	7.5	28.3	1.4	0.0
	50~59歳	N=226	30.5	78.3	0.4	8.4	0.4	3.1	9.3	23.9	0.9	1.3
	60~64歳	N=142	43.7	73.9	0.0	3.5	0.0	0.7	2.8	19.7	2.8	0.7
	65~69歳	N=192	43.2	70.3	0.0	5.7	0.0	1.6	4.7	10.4	1.0	0.0
	70歳以上	N=279	50.9	69.2	0.0	1.4	0.0	0.4	2.2	5.7	1.4	1.1
地域別	城端地域	N=182	44.5	69.8	0.0	4.4	0.0	1.1	4.9	21.4	0.5	0.5
	平地地域	N=16	43.8	62.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
	上平地域	N=21	57.1	81.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	4.8
	利賀地域	N=9	33.3	88.9	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0
	井波地域	N=204	18.1	86.3	0.0	12.3	1.0	2.9	0.5	23.0	2.5	0.5
	井口地域	N=23	13.0	82.6	0.0	17.4	0.0	0.0	0.0	17.4	0.0	0.0
	福野地域	N=353	20.4	88.7	0.3	10.5	0.0	2.8	3.7	20.1	0.6	0.6
	福光地域	N=437	50.8	58.6	0.2	7.8	0.2	1.4	10.5	16.9	1.8	0.5

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

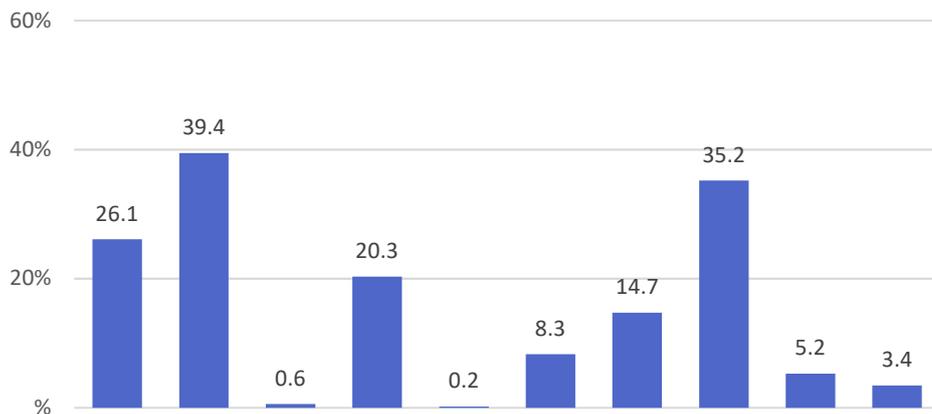
(5) 趣味に関するもの

趣味に関するものの買い物場所は分散傾向にある。

趣味に関するものについてみると、「砺波市」が39.4%と最も多く、次いで「インターネット」が35.2%、「南砺市内」が26.1%、「高岡市」が20.3%、「金沢市」が14.7%となっている。

年度別にみると、「インターネット」が増加傾向にあり、年齢別にみると、年齢が高いほど「南砺市」が多い傾向にある。地域別では買い物場所は分散傾向にある。

図13 趣味に関するものの買い物場所 (MA)



			南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他通信販売	その他
全体 N=1,222			26.1	39.4	0.6	20.3	0.2	8.3	14.7	35.2	5.2	3.4
年度別	R4年	N=1,186	26.2	44.1	1.7	18.6	0.3	7.5	13.3	34.3	3.7	3.8
	R3年	N=1,278	28.2	44.1	0.9	17.9	0.6	7.0	14.1	30.0	4.7	4.4
	R2年	N=1,350	26.1	43.6	1.0	20.5	0.1	6.4	16.2	29.6	4.3	3.9
	R1年	N=1,216	21.4	42.4	1.3	18.7	0.6	6.2	19.1	31.4	4.4	4.1
	H30年	N=1,338	22.0	46.0	0.8	17.0	0.2	6.9	18.1	26.2	4.4	4.6
年齢別	18~19歳	N=12	0.0	25.0	0.0	33.3	0.0	8.3	16.7	58.3	8.3	0.0
	20~29歳	N=58	8.6	25.9	0.0	37.9	0.0	10.3	25.9	62.1	5.2	0.0
	30~39歳	N=123	4.9	29.3	0.0	28.5	0.0	11.4	21.1	60.2	4.1	3.3
	40~49歳	N=210	11.4	35.7	0.5	25.2	0.0	8.1	18.6	53.8	5.2	1.9
	50~59歳	N=220	16.4	36.4	1.4	25.0	0.5	13.2	19.1	37.7	6.8	6.4
	60~64歳	N=138	34.1	39.9	0.7	18.1	0.0	8.0	11.6	30.4	4.3	2.2
	65~69歳	N=190	38.4	44.2	0.5	13.7	0.5	7.4	10.5	21.6	4.7	2.6
	70歳以上	N=265	47.9	50.2	0.4	9.8	0.0	3.0	7.2	12.1	5.3	4.2
地域別	城端地域	N=178	30.9	36.0	0.6	16.9	0.0	6.2	12.4	36.0	6.7	3.9
	平地地域	N=16	25.0	50.0	0.0	12.5	0.0	6.3	0.0	31.3	6.3	6.3
	上平地域	N=20	45.0	40.0	0.0	20.0	0.0	10.0	15.0	25.0	5.0	5.0
	利賀地域	N=8	25.0	62.5	0.0	12.5	0.0	25.0	12.5	37.5	12.5	0.0
	井波地域	N=197	18.3	54.8	0.5	25.9	0.5	12.7	3.6	33.5	3.0	1.5
	井口地域	N=25	24.0	28.0	0.0	44.0	0.0	4.0	24.0	16.0	0.0	4.0
	福野地域	N=348	22.4	46.3	0.9	22.1	0.3	9.2	12.6	37.1	5.2	2.0
	福光地域	N=422	29.1	27.7	0.5	17.1	0.0	6.4	22.7	36.3	5.9	5.2

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

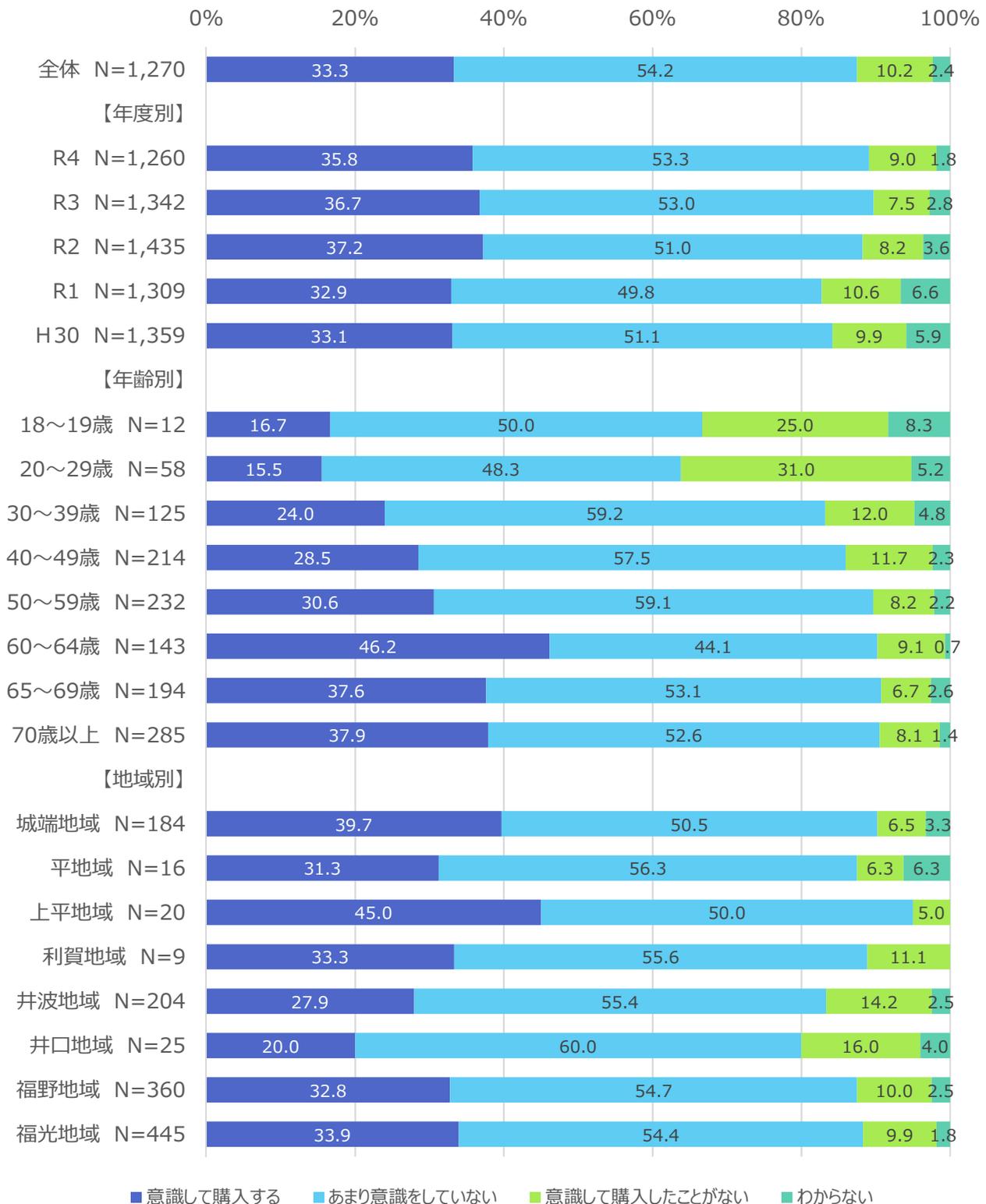
問11 あなたは、地場産の食材を意識して購入していますか。

**全体の3割は地場産の食材を意識して購入している。**

「意識して購入する」が33.3%、「あまり意識をしていない」が54.2%、「意識して購入したことがない」が10.2%、「わからない」が2.4%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「意識して購入する」が多い傾向にあるが、年齢別、地域別では、「20～29歳」と「60～64歳」を除く全てで半数以上が「あまり意識をしていない」となっている。

図14 地元食材の購入意識



問12 あなたは、1日のうち平均どの程度、家事や育児などを行っていますか。

**男性の2割は休日2時間以上家事等を行っている。**

休日の男女別家事・育児・介護時間をみると、「2時間以上（「2時間以上3時間未満」+「3時間以上4時間未満」+「4時間以上）」家事等を行う男性の割合は21.6%で女性は70.3%となった。

男性の家事の平均時間をみると、平日で「していない」+「1時間未満」が80.7%、休日で70.1%となり、女性の家事平均時間は、「1時間以上」の割合が平日で84.3%、休日で85.9%となった。

図15 [全体] 平日・休日の家事・育児・介護時間

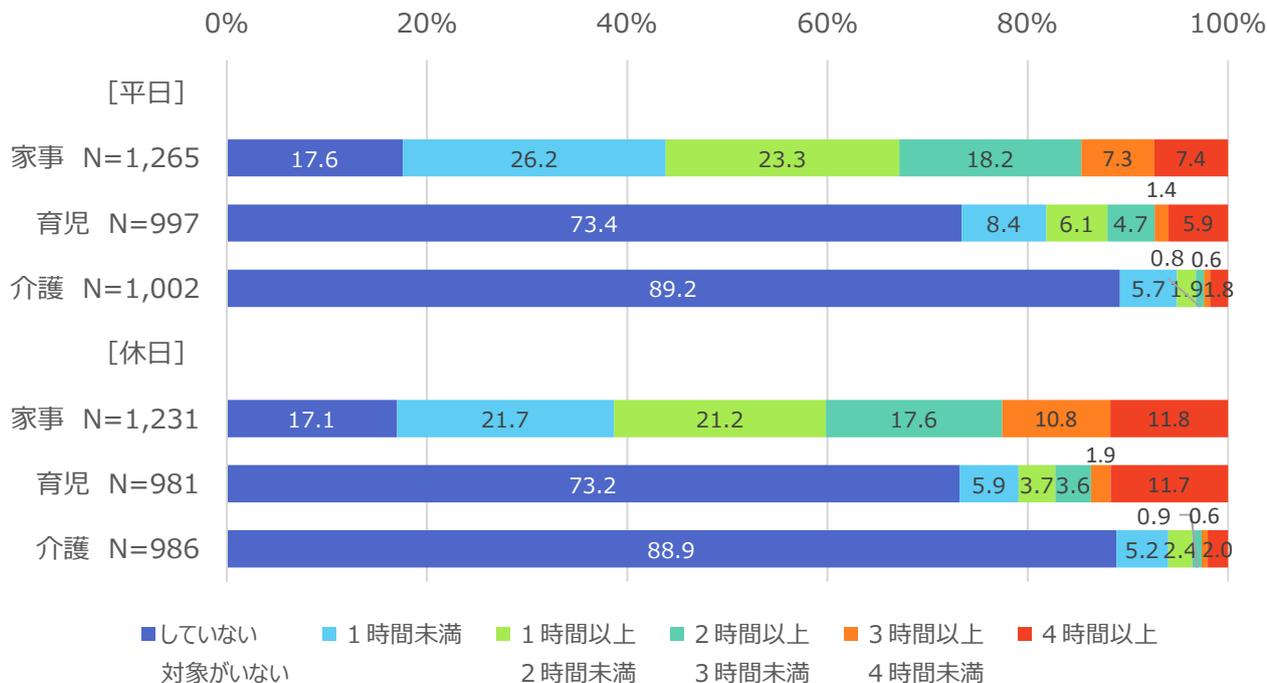
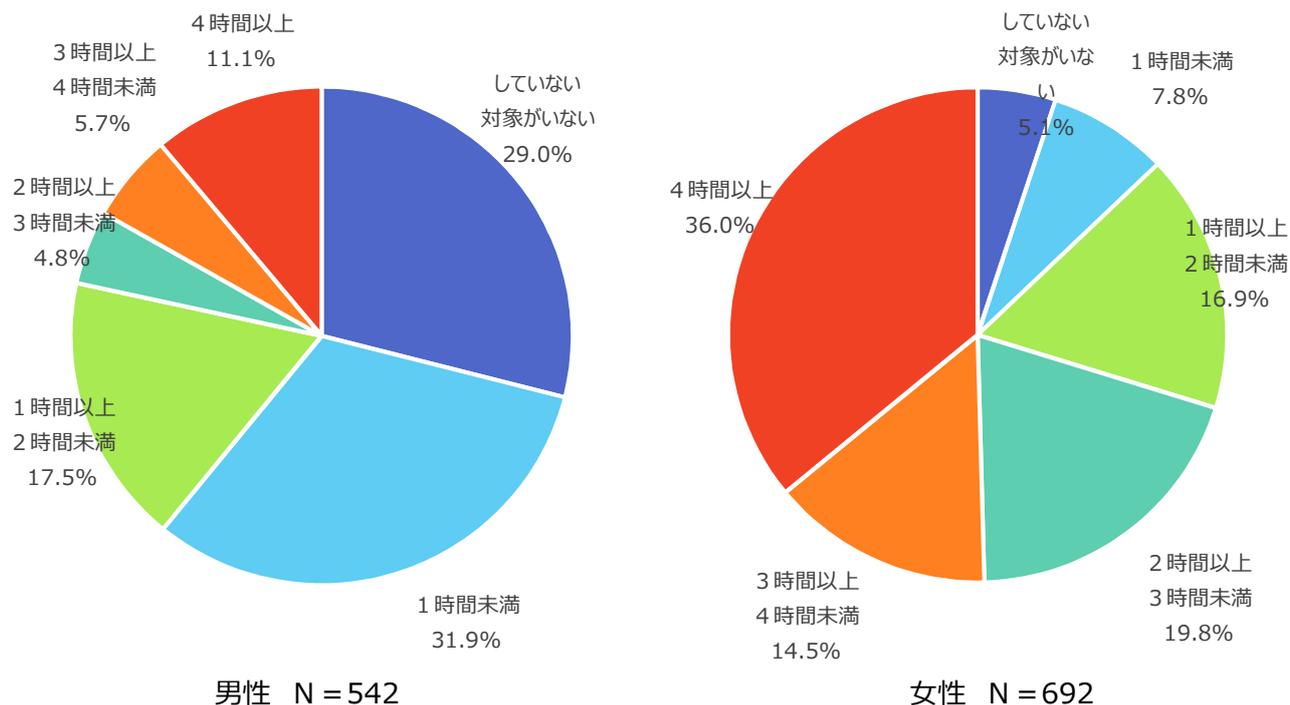


図16 [男女別] 休日の家事・育児・介護時間

(1時間未満 0.5 / 1時間以上、2時間未満 1.5 / 2時間以上、3時間未満 2.5 / 3時間以上、4時間未満 3.5 / 4時間以上 4.5 として計算)





問13 あなたは、次の情報通信サービスを利用していますか。利用している場合は、それらを快適に利用できていますか。

**全体の約9割はスマホ、タブレットを利用している。**

情報通信機器の利用状況でみると、「インターネット（スマホ、タブレット）」を利用しているが87.2%となっている。

情報通信機器を快適に利用できているかについてみると、「快適に利用できている割合（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う）」はパソコンでインターネットを利用している方が83.4%、スマートフォン、タブレットでインターネットを利用している方は84.9%、従来型携帯電話を利用している方は80.9%、FAXを利用している方は77.0%となった。

図19 情報通信機器の利用状況

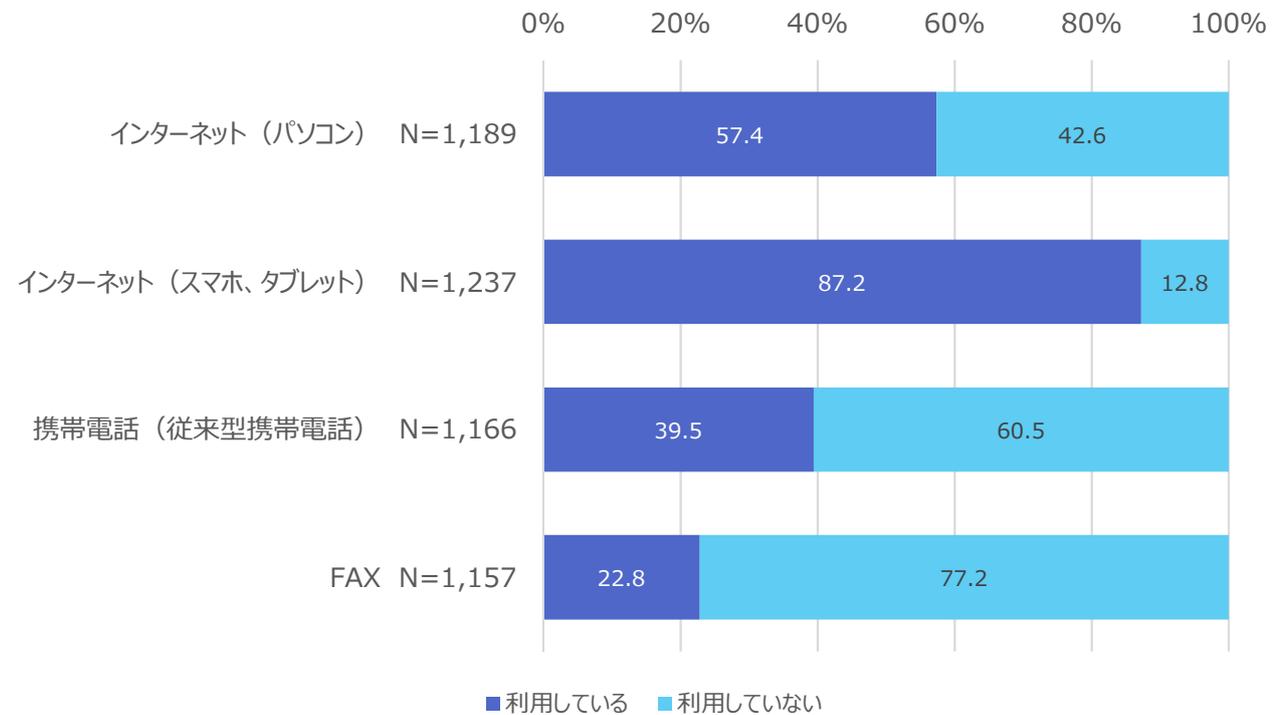
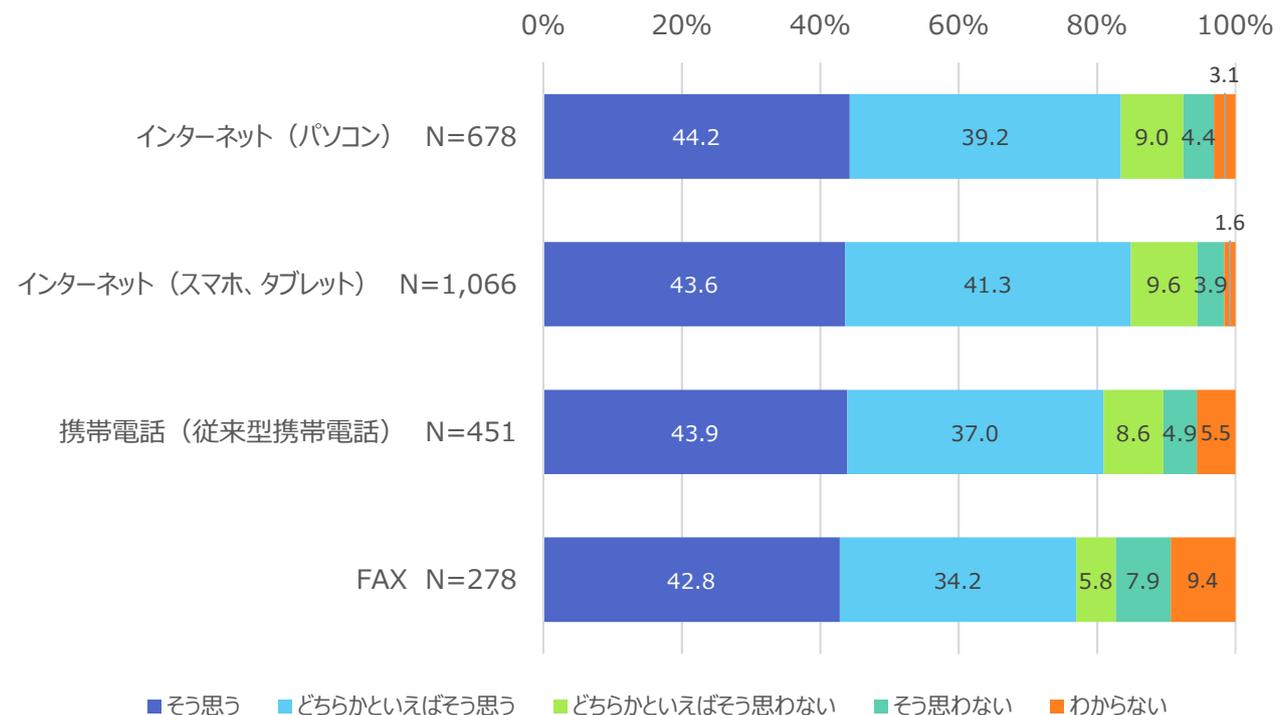


図20 情報通信機器の快適さ



問14 問13でインターネット（スマホ、タブレット）を利用している「1」と回答した方にお聞きます。使うアプリは何ですか。

**スマートフォン、タブレット利用者の約3割はLINEを使用している。**

スマートフォン、タブレットを利用している方が使用するアプリについてみると、「LINE」が28.7%と最も多く、次いで「Youtube」が19.5%、「キャッシュレス決済」が19.2%となっている。

使用者の年齢層をみると、「Twitter」と「Instagram」は20代までの使用者が多く、「キャッシュレス決済」「LINE」はすべての年齢層で使用されている。

図21 スマートフォン、タブレット利用者の使用アプリ（MA） N=3,341

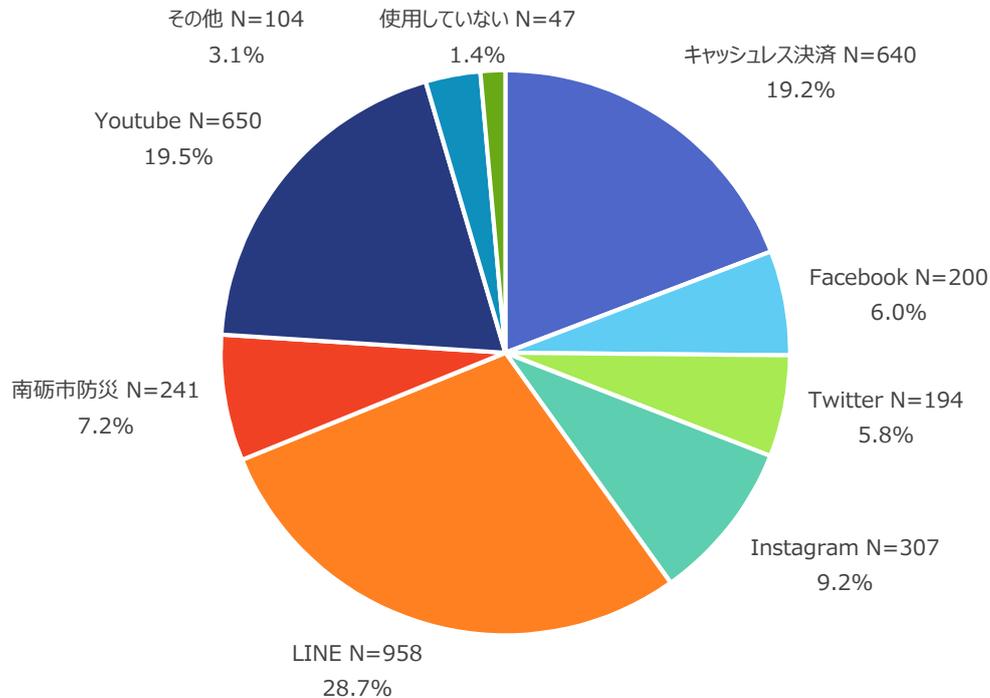
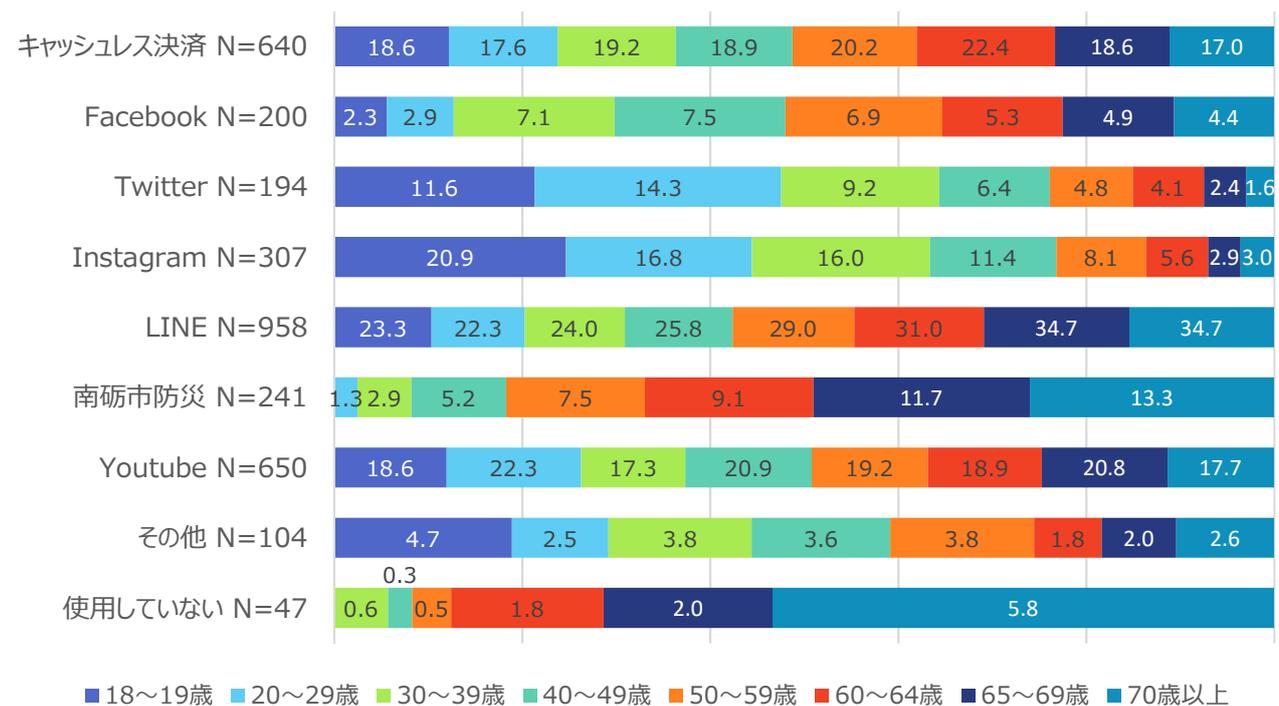


図22 アプリ毎の使用者年齢層



※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問15 テレワークの実施やオンライン授業に参加したことはありますか。

全体の約7割はテレワークやオンライン授業に参加したことがない。

テレワークやオンライン授業の参加状況を見ると、「参加したことはない」が68.9%となっている。

選択肢別にみると、「テレワークの実施」、「オンライン授業に参加」、「オンライン講演会に参加」と回答した人の年齢は59歳までの方が7割以上を占めているが、「参加したことはない」と回答した方の年齢は分散傾向にある。

図23 テレワーク等の参加状況 N=1,233

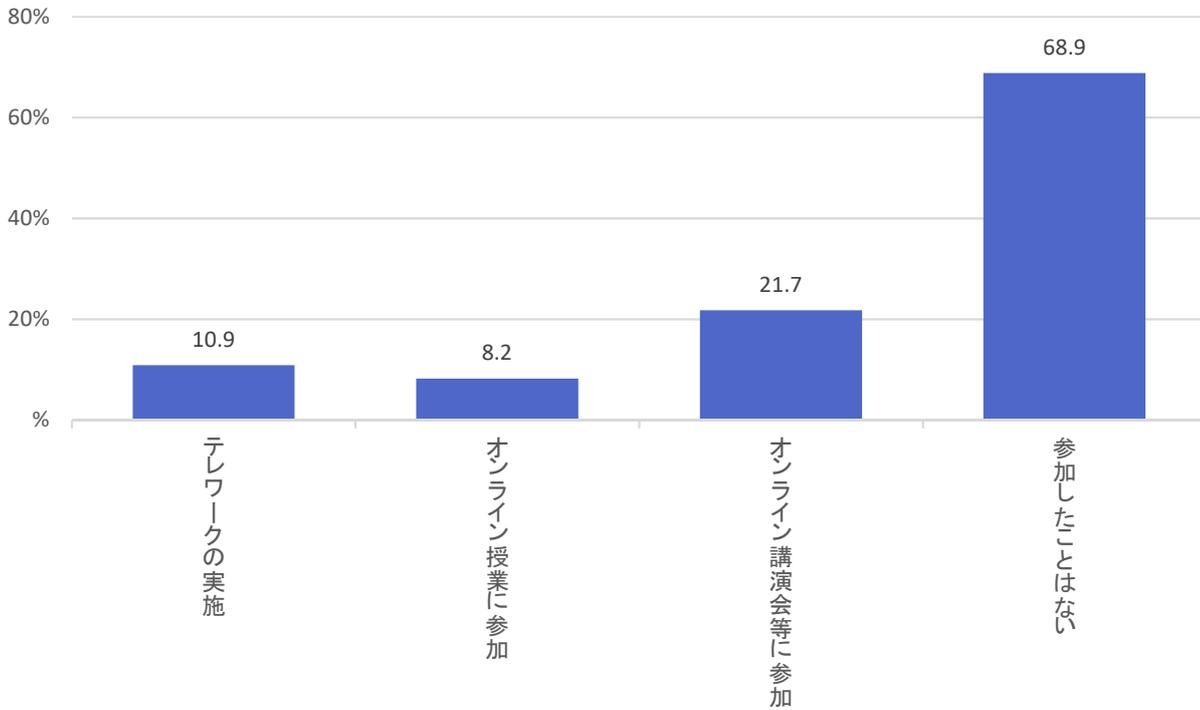
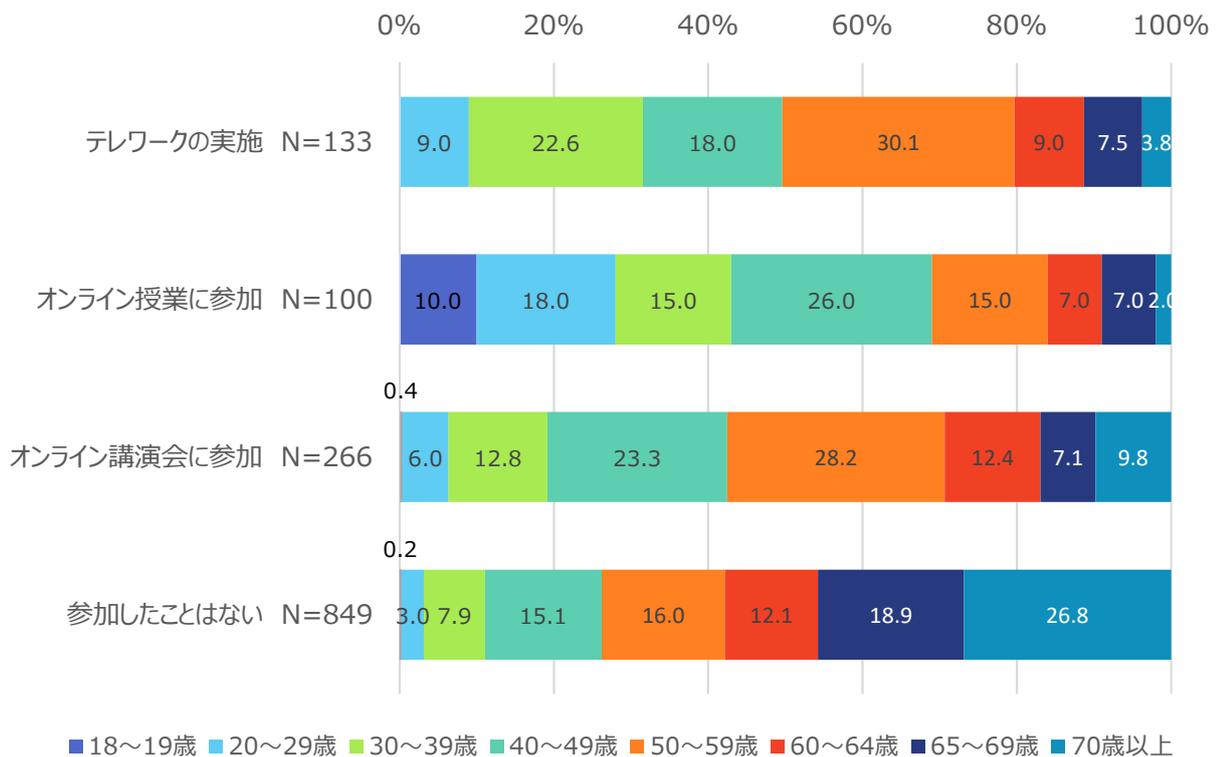


図24 テレワーク等の参加年齢層



問16 今後、デジタル化されることを期待する行政手続きや行政サービスは何ですか。

「各種届出・証明書の取得」のデジタル化が期待されている。

デジタル化を期待する行政手続きや行政サービスについては、「各種届出・証明書の取得」が54.8%と最も多く、次いで「医療・健康」40.5%、「防災、災害」が31.1%となっている。

項目別にみると、「学校教育」と「子育て、保育」と回答した方の内、30～49歳がどちらも半数を占めている。

図25 デジタル化を期待する行政サービス N=1,216

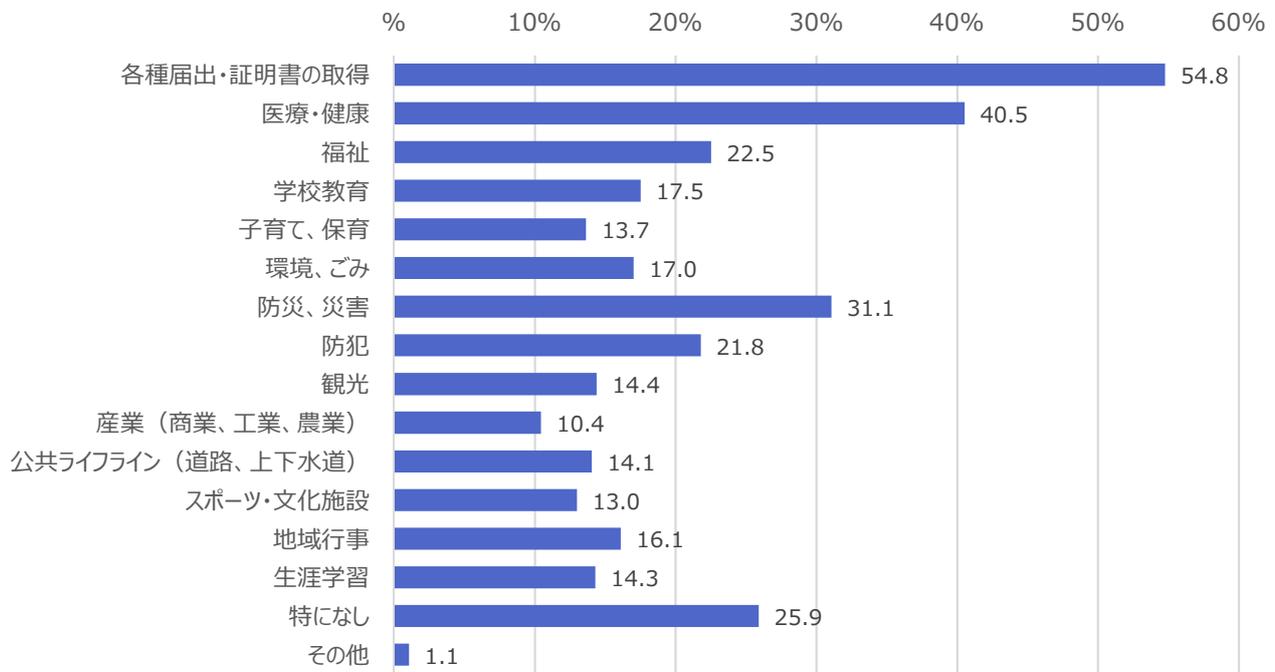
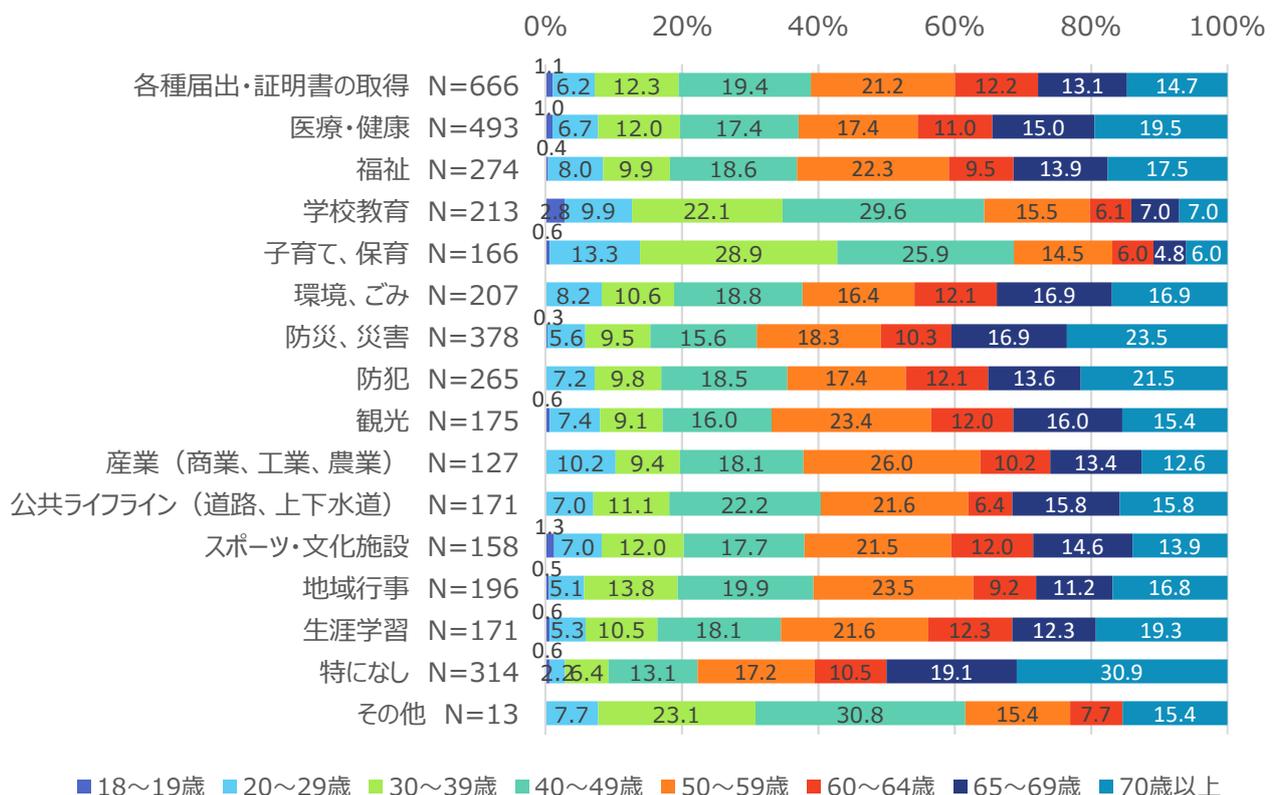


図26 デジタル化を期待する行政サービス毎の年齢層

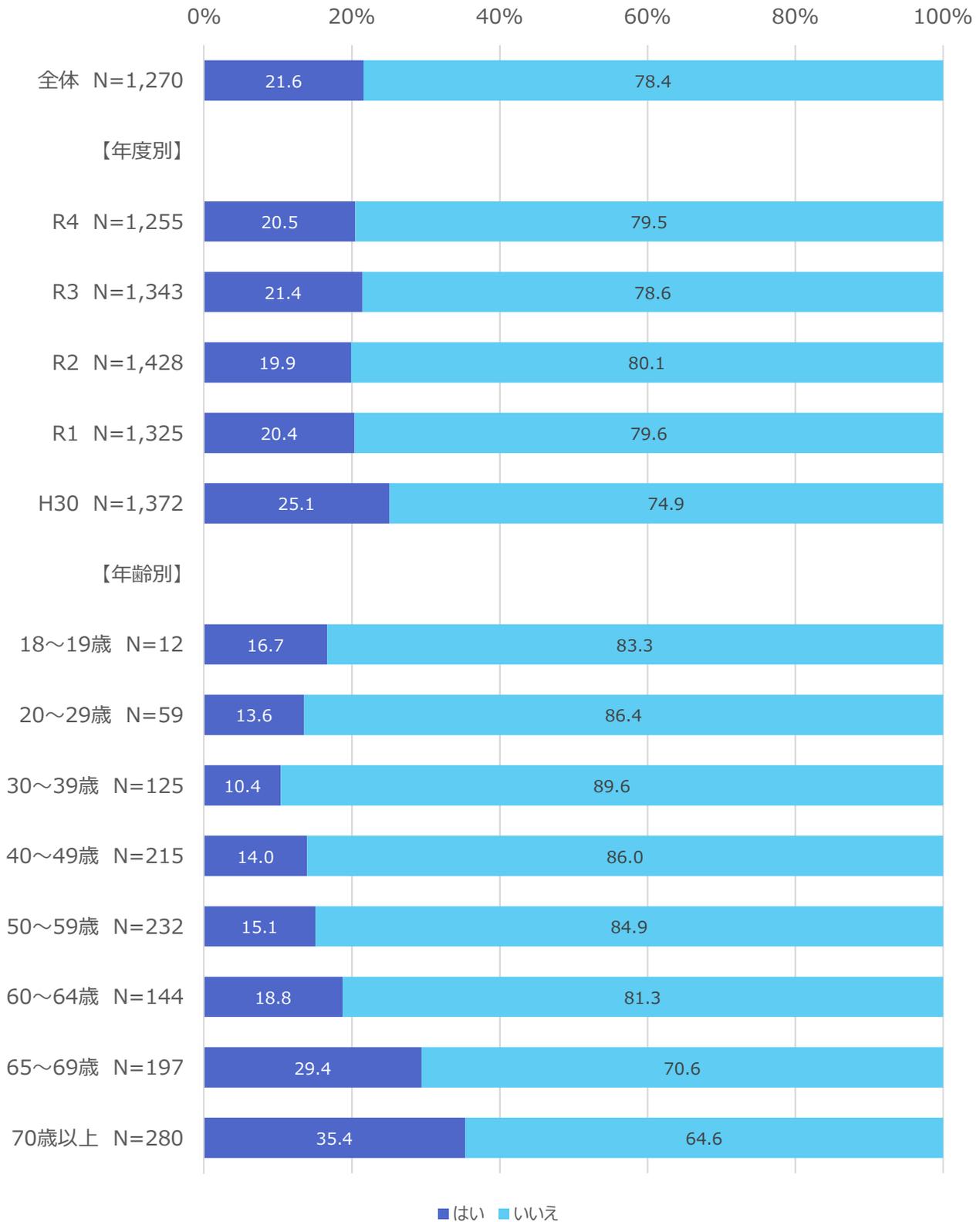


問17 あなたは、日頃から学習活動（市や交流センター、民間が開催する講座、教室、サークル、講演会及び個人が自宅等で行う学習）に取り組んでいますか。

**全体の2割は日頃から学習活動に取り組んでいる。**

日頃の学習活動の取組状況を見ると、「はい（取り組んでいる）」が21.6%、「いいえ（取り組んでいない）」が78.4%となっている。年齢別にみると30代から年齢が高くなるほど「はい（取り組んでいる）」の割合が増加している。

図27 学習活動の取組状況



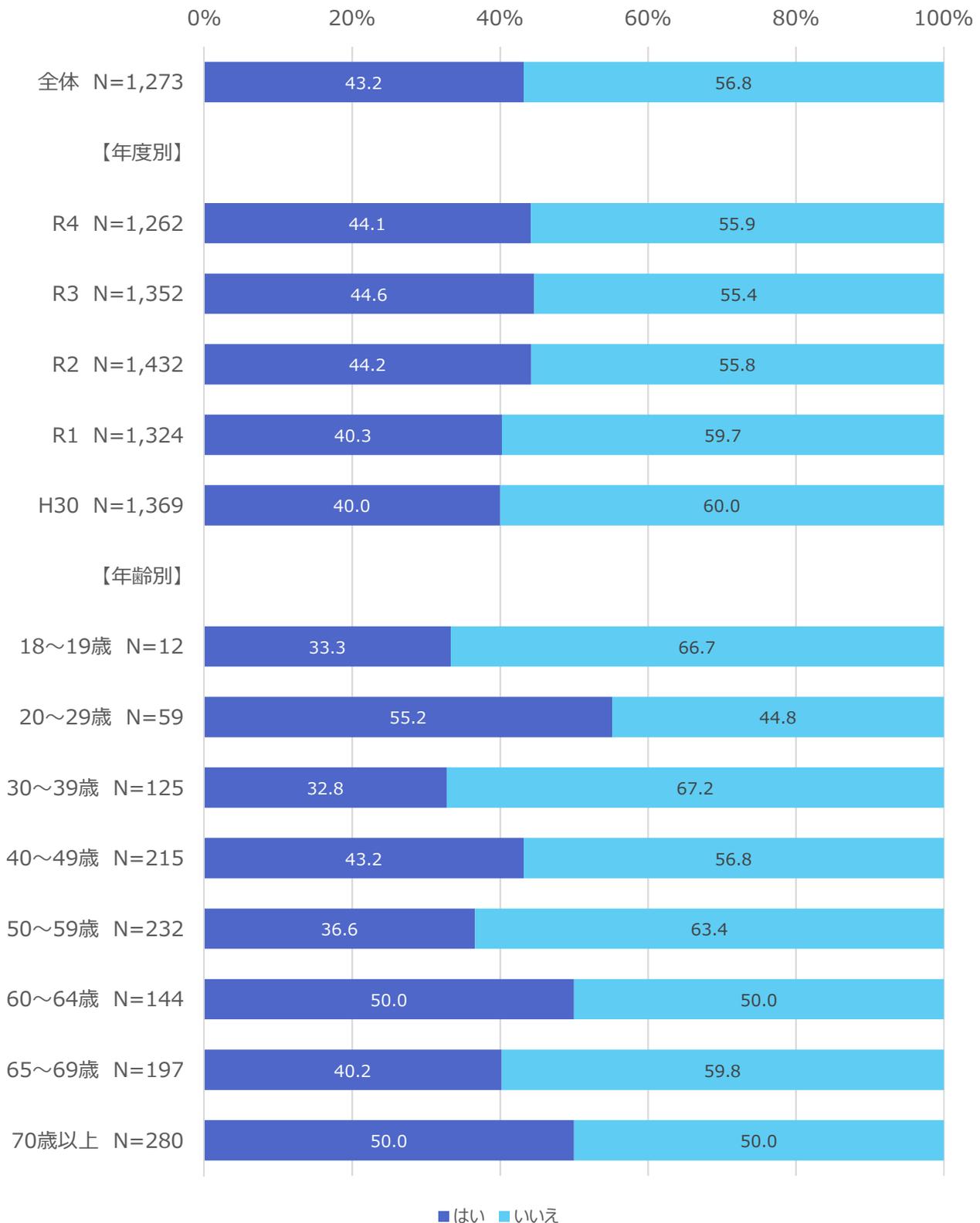
問18 あなたは、日頃からスポーツ・運動（散歩・体操を含む）を行っていますか。

全体の4割は日頃からスポーツ・運動を行っている。

日頃のスポーツ・運動の状況を見ると、「はい」が43.2%、「いいえ」が56.8%となっている。

年齢別にみると、20代で「はい」が55.2%と最も多いが、30代で32.8%と最も少なくなっている。

図28 スポーツ・運動の実施状況

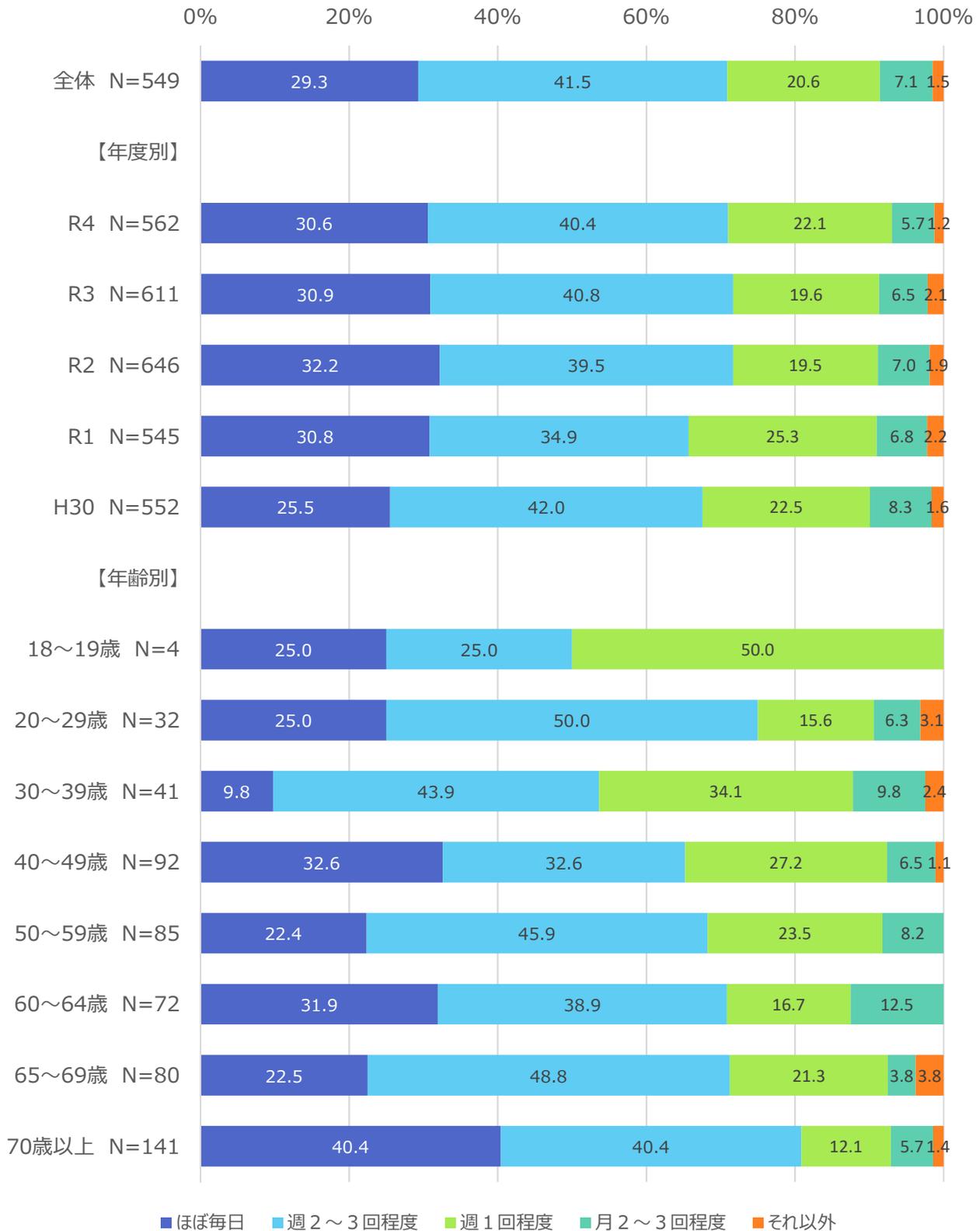


問19 問18で「1.はい」と回答した方にお聞きます。どれぐらいの頻度でスポーツ・運動（散歩・体操を含む）を行っていますか。

**スポーツ・運動の頻度は週2～3回が最も多い。**

スポーツ・運動を行っている方について、スポーツ・運動の頻度をみると、「ほぼ毎日」が29.3%、「週2～3回程度」が41.5%、「週1回程度」が20.6%、「月2～3回程度」が7.1%となっている。

図29 スポーツ・運動の頻度

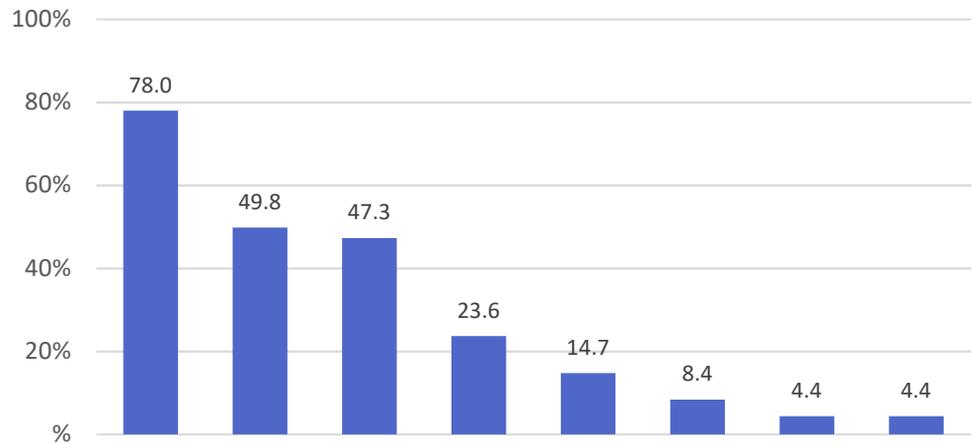


問20 問18で「1. はい」と回答した方にお聞きます。あなたがスポーツ・運動（散歩、体操を含む）をする主な理由は何ですか。

**スポーツ・運動をする理由は健康維持・体力増進のためが最も多い**

スポーツ・運動をする理由をみると、「健康維持・体力増進のため」が78.0%と最も多く、年度別にみると、「美容や肥満解消のため」が増加傾向にある。

図30 スポーツ・運動をする理由（MA）



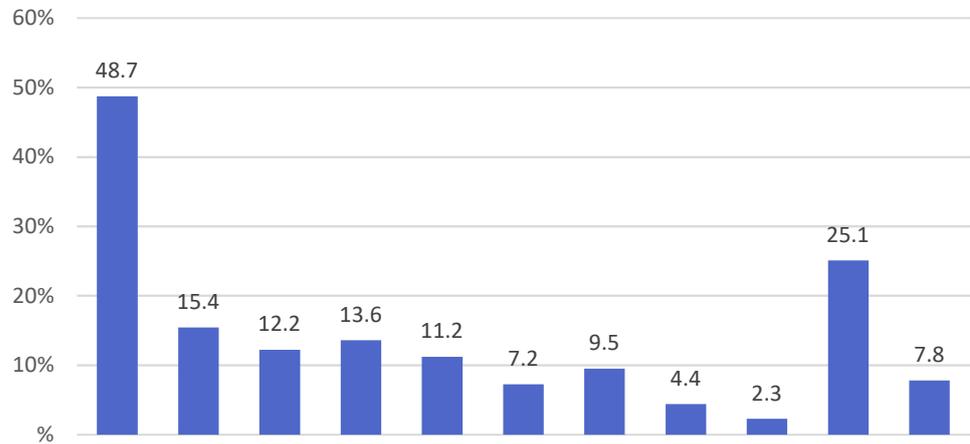
			健康維持・体力増進のため	消・気分転換のため	楽しみやストレス解消	運動不足を感じるから	美容や肥満解消のため	家族の触れ合いや友人・仲間との親睦のため	心身の鍛錬や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	その他
全体 N=550			78.0	49.8	47.3	23.6	14.7	8.4	4.4	4.4	
年度別	R4年	N=560	80.5	54.5	46.6	22.0	10.7	7.0	4.3	4.3	
	R3年	N=603	76.9	51.5	47.3	22.1	15.0	9.6	5.1	3.7	
	R2年	N=636	74.2	51.1	51.1	19.7	13.1	7.7	4.9	3.6	
	R1年	N=529	72.2	54.3	46.1	18.5	17.6	11.5	6.2	4.2	
	H30年	N=554	69.7	51.6	48.2	17.1	16.8	10.5	3.8	4.9	
年齢別	18～19歳	N=4	75.0	100.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	
	20～29歳	N=32	65.6	46.9	40.6	40.6	12.5	3.1	0.0	6.3	
	30～39歳	N=41	68.3	46.3	51.2	41.5	22.0	4.9	4.9	9.8	
	40～49歳	N=92	72.8	43.5	47.8	26.1	8.7	14.1	4.3	5.4	
	50～59歳	N=85	80.0	54.1	47.1	29.4	17.6	3.5	4.7	3.5	
	60～64歳	N=73	80.8	43.8	52.1	27.4	6.8	6.8	6.8	4.1	
	65～69歳	N=80	81.3	55.0	50.0	15.0	11.3	2.5	2.5	6.3	
	70歳以上	N=141	82.3	51.8	45.4	12.8	20.6	12.8	4.3	1.4	
地域別	城端地域	N=77	81.8	48.1	46.8	20.8	13.0	9.1	3.9	5.2	
	平地地域	N=9	77.8	44.4	55.6	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	
	上平地地域	N=12	75.0	41.7	33.3	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	
	利賀地域	N=2	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
	井波地域	N=85	76.5	41.2	55.3	22.4	14.1	11.8	0.0	3.5	
	井口地域	N=14	71.4	28.6	57.1	7.1	21.4	14.3	7.1	21.4	
	福野地域	N=164	74.4	49.4	44.5	25.6	14.0	7.3	5.5	4.3	
	福光地域	N=183	80.3	57.4	45.9	25.7	15.8	7.1	4.9	3.8	

問21 問18で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。あなたがスポーツ・運動（散歩、体操を含む）をしない理由は何ですか。

仕事が忙しくて時間が取れないが最も多くなっている。

スポーツ・運動をしない理由をみると、「仕事が忙しくて時間がとれない」が48.7%と最も多く、次いで「特に理由はない」が25.1%、「運動が好きではない、苦手だから」が15.4%などとなっている。

図31 スポーツ・運動をしない理由（MA）



		仕事が忙しくて時間がとれないから	運動が好きではない、 または、苦手だから	他にやりたいことがあるから	年をとって体力に自信がないから	お金がかかるから	仲間がいないから	身近に場所が施設がないから	体が弱いから	指導者がいないから	特に理由はない	その他
全体 N=706		48.7	15.4	12.2	13.6	11.2	7.2	9.5	4.4	2.3	25.1	7.8
年度別	R4年 N=697	49.6	19.5	14.5	14.2	12.8	9.8	9.2	7.2	2.4	25.4	5.2
	R3年 N=740	46.6	20.4	14.9	17.2	10.5	9.1	8.6	6.5	3.1	24.5	7.0
	R2年 N=783	45.6	20.7	17.5	11.5	10.6	10.7	7.9	5.5	2.9	26.8	5.9
	R1年 N=784	55.5	19.6	11.5	15.4	12.9	9.9	7.9	5.4	1.5	24.1	6.1
	H30年 N=832	52.5	18.0	11.9	16.2	13.9	11.9	10.2	5.2	3.4	23.8	6.4
年齢別	18～19歳 N=8	25.0	37.5	25.0	0.0	25.0	12.5	37.5	0.0	0.0	12.5	0.0
	20～29歳 N=26	50.0	19.2	34.6	0.0	42.3	7.7	26.9	3.8	3.8	34.6	0.0
	30～39歳 N=83	72.3	18.1	10.8	3.6	13.3	9.6	10.8	2.4	0.0	19.3	2.4
	40～49歳 N=121	65.3	17.4	13.2	5.8	13.2	13.2	9.9	3.3	3.3	15.7	6.6
	50～59歳 N=141	58.9	15.6	7.8	9.2	17.7	6.4	13.5	2.1	3.5	19.9	8.5
	60～64歳 N=69	40.6	15.9	7.2	11.6	4.3	4.3	7.2	7.2	0.0	33.3	11.6
	65～69歳 N=118	39.0	14.4	14.4	20.3	2.5	5.9	5.9	5.9	2.5	33.1	10.2
	70歳以上 N=136	22.1	11.0	11.8	29.4	5.9	3.7	3.7	6.6	2.2	30.9	9.6
地域別	城端地域 N=104	47.1	18.3	9.6	12.5	16.3	5.8	8.7	3.8	1.9	28.8	5.8
	平地地域 N=8	25.0	0.0	25.0	25.0	12.5	25.0	12.5	0.0	12.5	25.0	12.5
	上平地地域 N=8	50.0	0.0	25.0	25.0	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	37.5
	利賀地域 N=6	33.3	16.7	50.0	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0
	井波地域 N=118	44.9	14.4	9.3	16.1	10.2	5.1	5.9	0.8	0.8	33.1	10.2
	井口地域 N=11	72.7	27.3	0.0	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	9.1
	福野地域 N=190	52.6	15.3	14.2	12.6	11.6	9.5	12.1	5.8	2.6	23.2	4.7
	福光地域 N=258	48.8	15.5	12.0	12.0	9.7	6.6	9.3	5.8	2.7	21.7	8.9

問22 あなたは、1日にどのくらい歩いていますか。

**全体の2割はほとんど歩いていない**

1日に歩く程度をみると、「2,000歩未満」が22.2%と最も多く「9,000歩程度」が2.0%最も少なくなっている。年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ歩かない傾向にある。

図32 1日にどのくらい歩くか

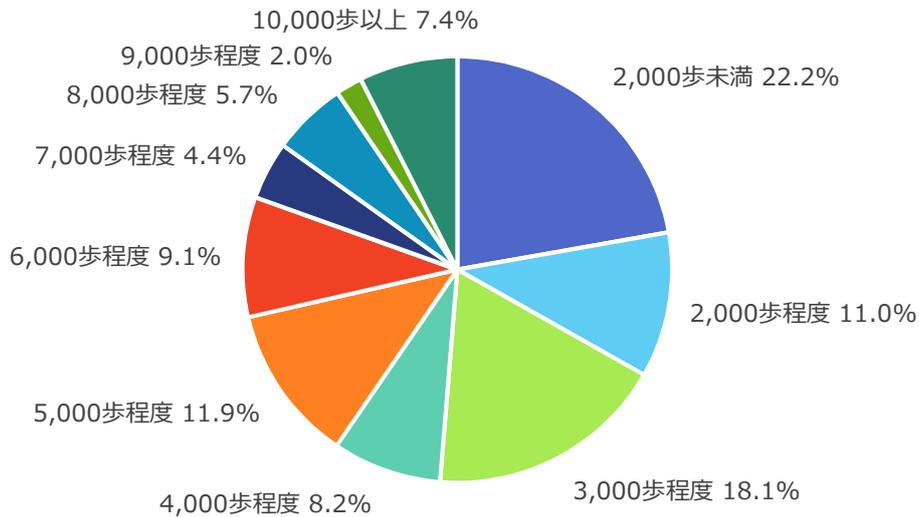
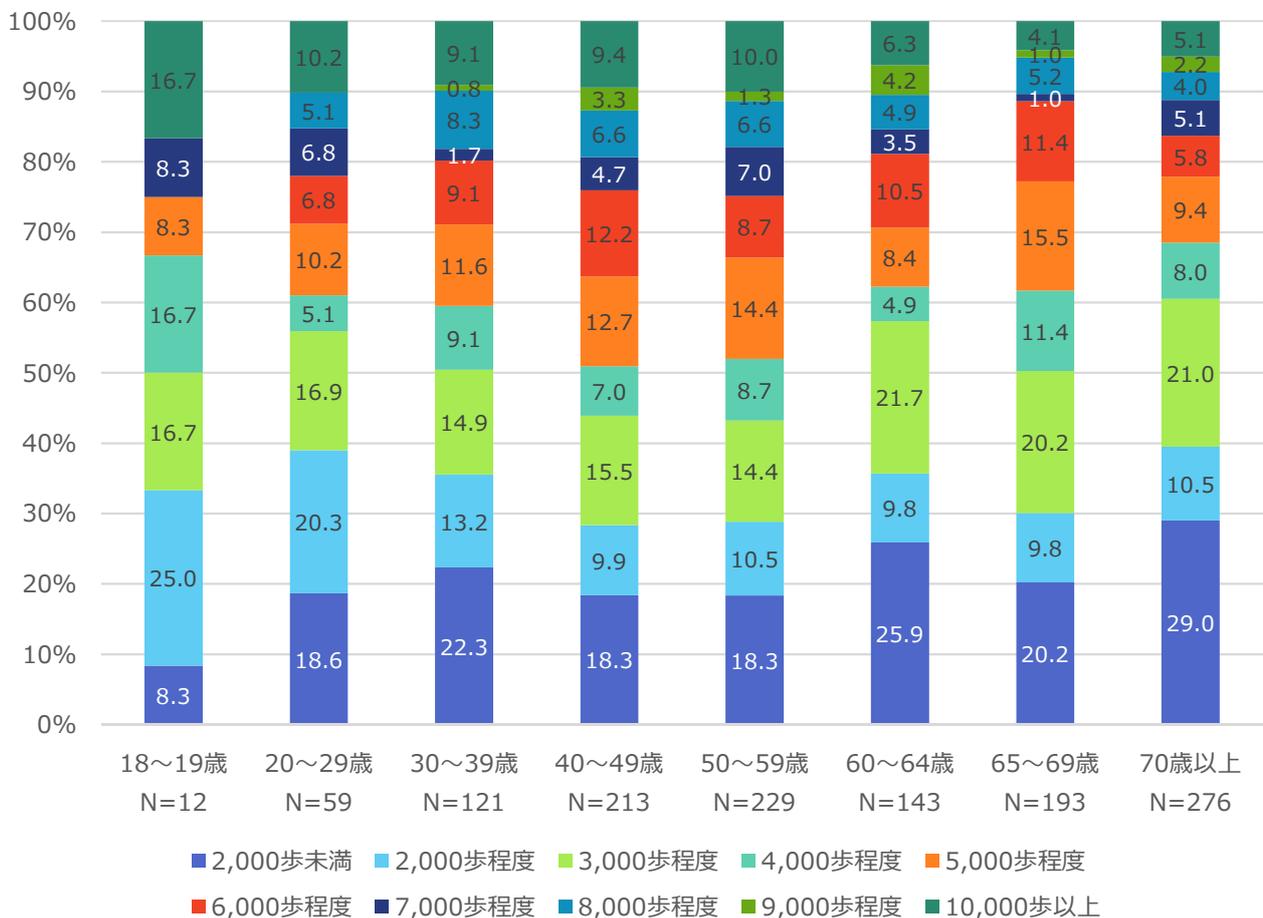


図33 年齢別 1日にどのくらい歩くか



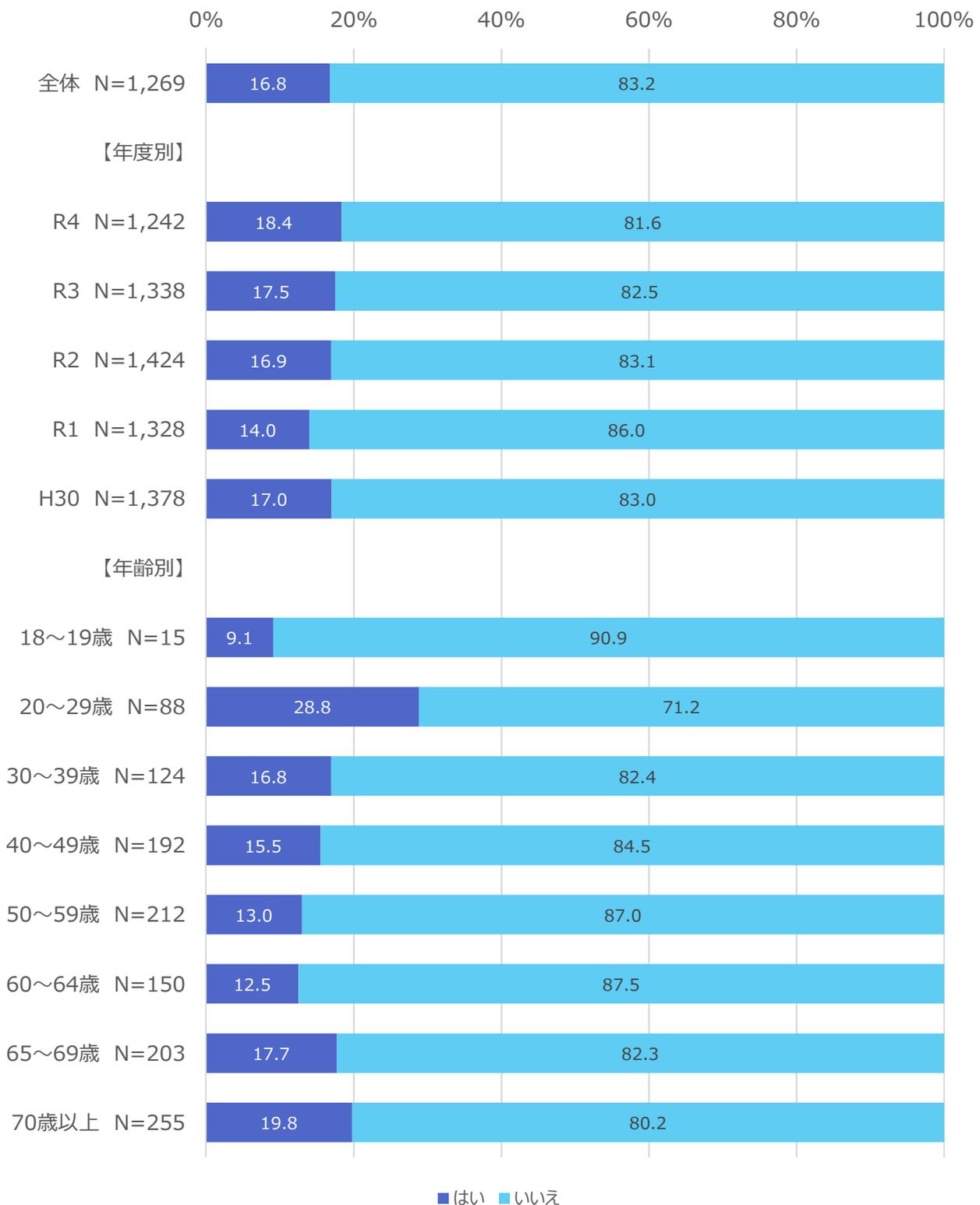
問23 あなたは、積極的に文化活動（音楽、踊り、文芸、写真など）を行っていますか。

**積極的に文化活動を行っているのは全体の2割に満たない。**

文化活動の取組状況を見ると、「はい（行っている）」が16.8%、「いいえ（行っていない）」が83.2%となっている。

年齢別にみると、母体数の少ない19歳以下を除くと、20～29歳は「はい（行っている）」が28.8%と最も多く、次いで70歳以上が19.8%となっている。

図34 文化活動の取り組み状況



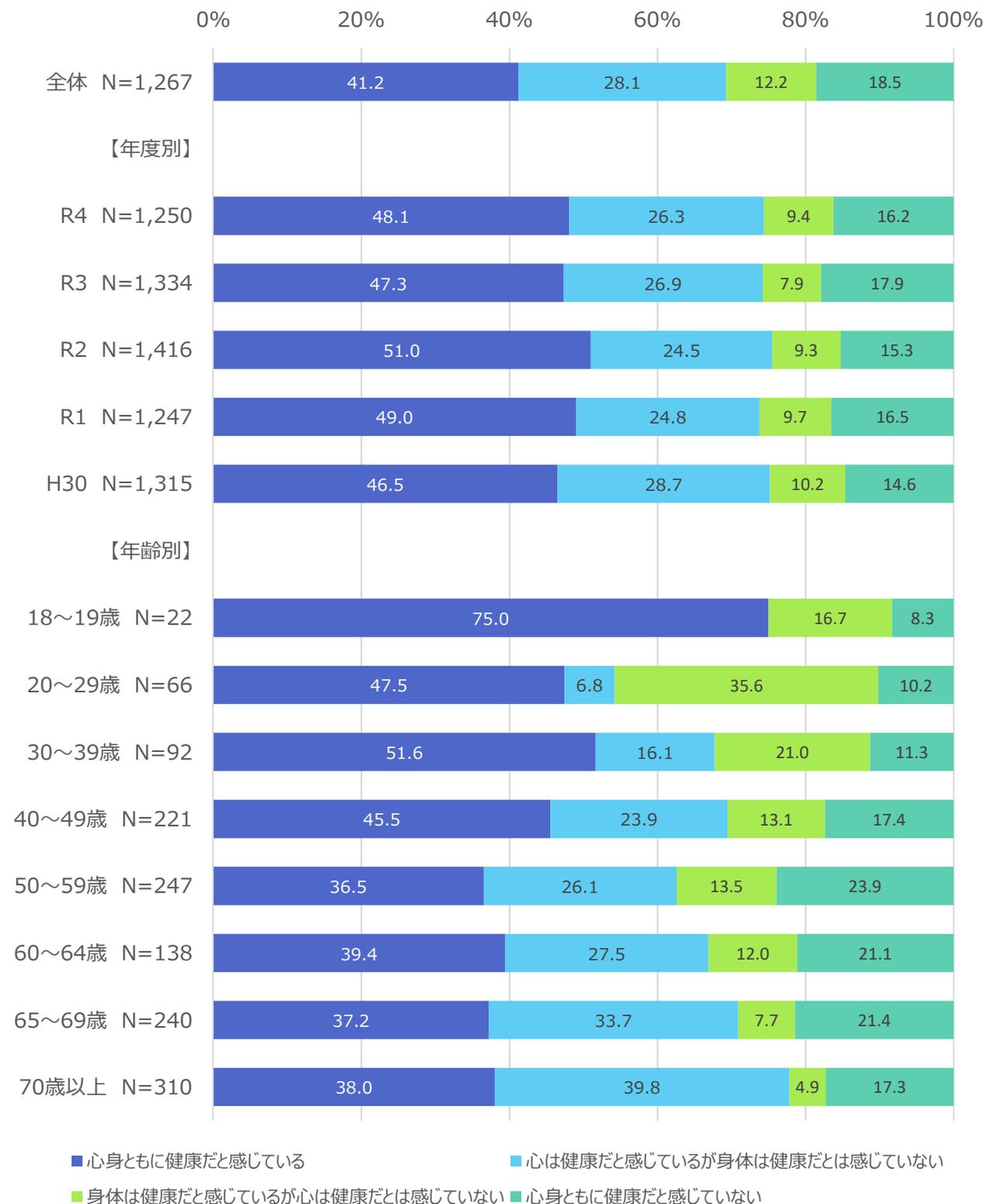
問24 あなたは、心身ともに健康ですか。

**全体の4割は心身ともに健康だと感じている。**

心身ともに健康かについてみると、「心身ともに健康だと感じている」が41.2%、「心は健康だと感じているが身体は健康だとは感じていない」が28.1%、「体は健康だと感じているが心は健康だとは感じていない」が12.2%、「心身ともに健康だとは感じていない」が18.5%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「心は健康だと感じているが身体は健康だとは感じていない」が多くなる傾向にある。

図35 心身ともに健康か

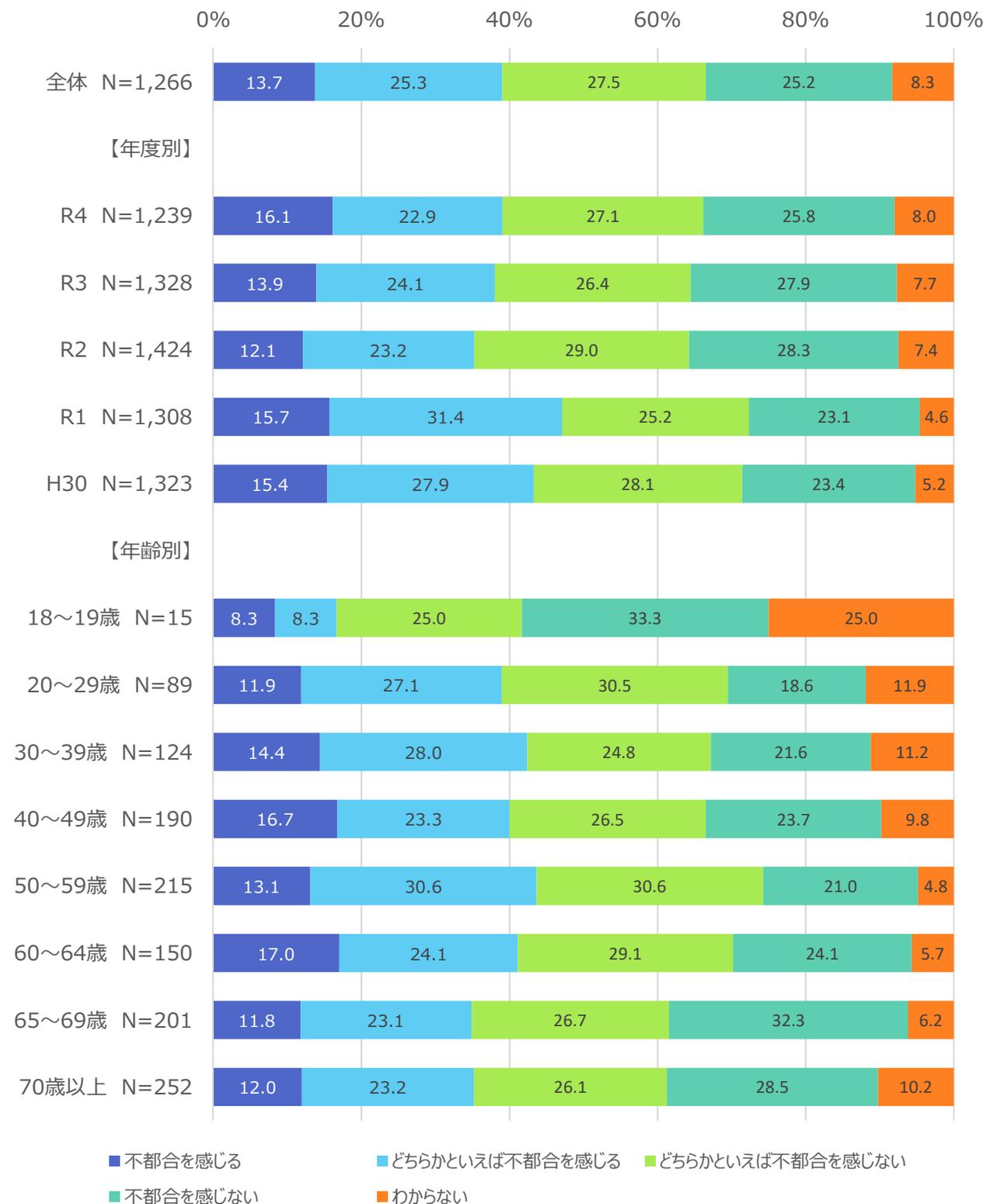


問25 あなたの身近な生活道路（市道等）を通行する際に不都合を感じますか。

全体の約4割は生活道路に不都合を感じている。

生活道路の状況を見ると、「不都合を感じる」が13.7%、「どちらかといえば不都合を感じる」が25.3%となっており、「不都合を感じている割合（「不都合を感じる」+「どちらかといえば不都合を感じる）」は39.0%となっている。

図36 生活道路の状況



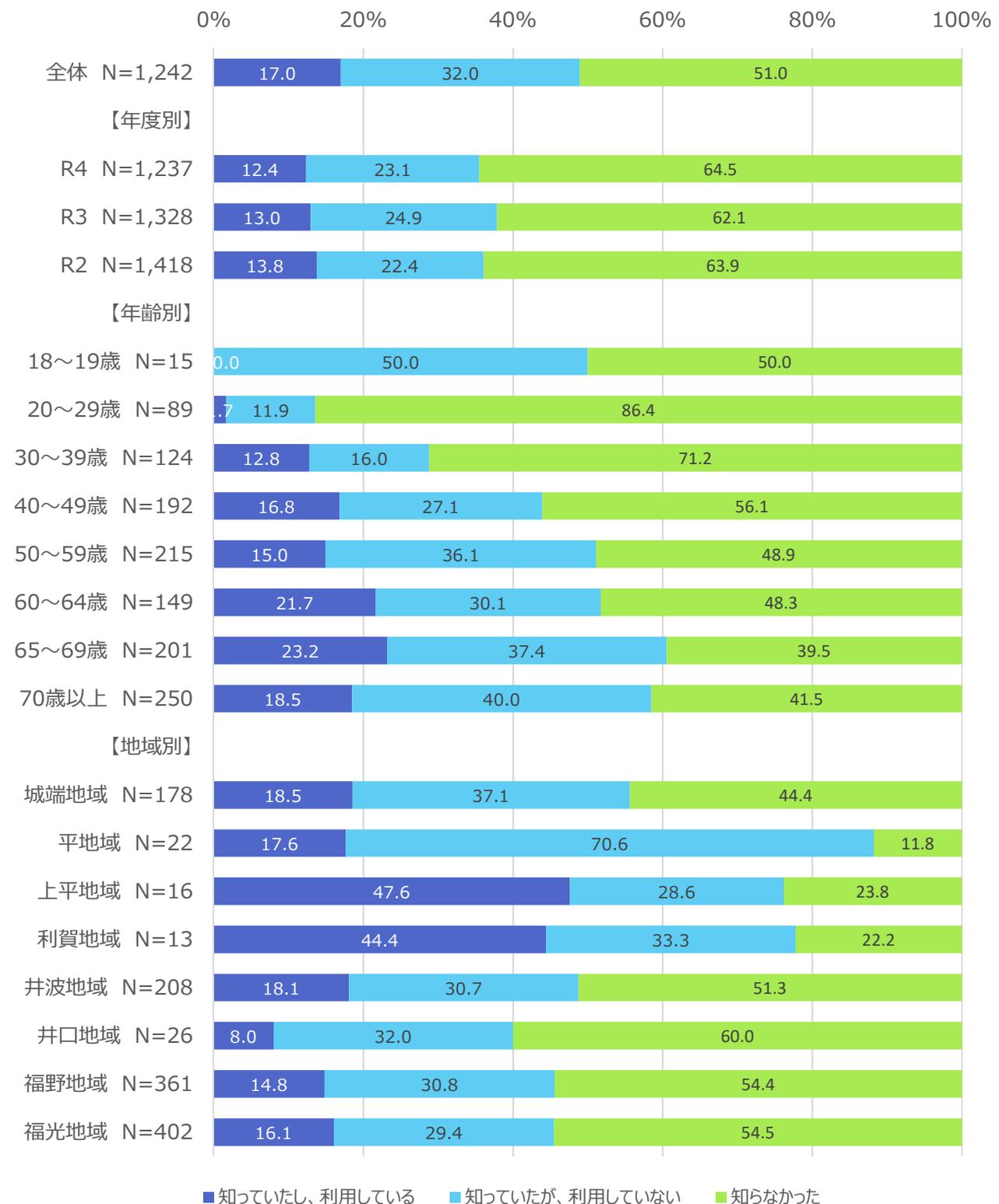
問26 あなたは、気象警報、避難情報やクマの出没情報などの防災情報や緊急情報を南砺市がメールやアプリで配信している以下のサービスを知っていましたか。

**全体の5割はなんと！緊急メールサービスを知らない。**

なんと！緊急メールサービスの認知状況をみると、「知っていたし、利用している」が17.0%、「知っていたが、利用していない」が32.0%、「知らなかった」が51.0%となっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「知っていた」が多い傾向にある。

図37 なんと！緊急メールサービスの認知状況

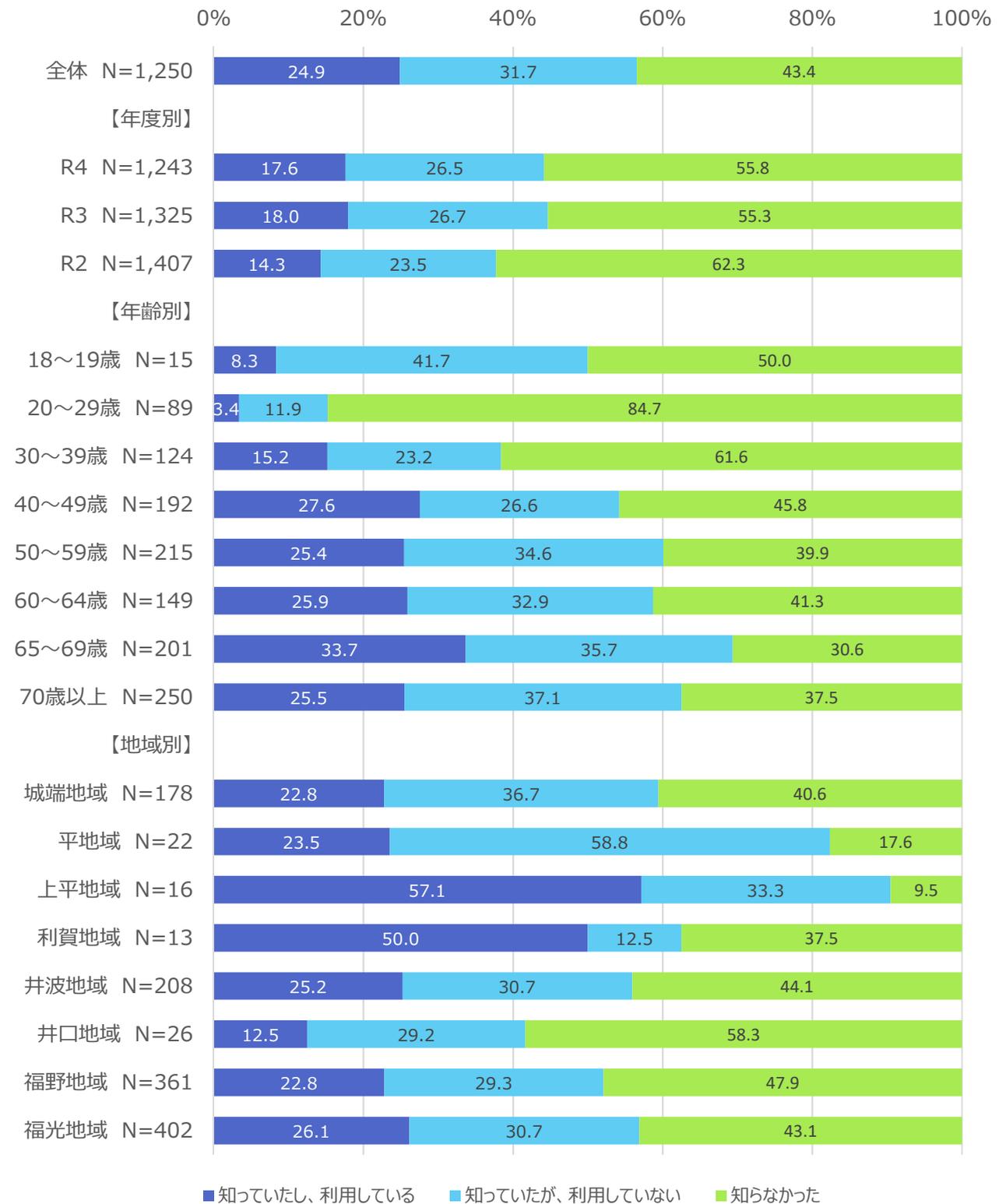


**全体の4割は南砺市防災アプリを知らない。**

南砺市防防災アプリの認知状況をみると、「知っていたし、利用している」が24.9%、「知っていたが、利用していない」が31.7%、「知らなかった」が43.4%となっている。

地域別にみると、上平地域は「知っていた」が90.4%と最も多く、次いで平地域が82.3%となっている。

図38 南砺市防災アプリの認知状況



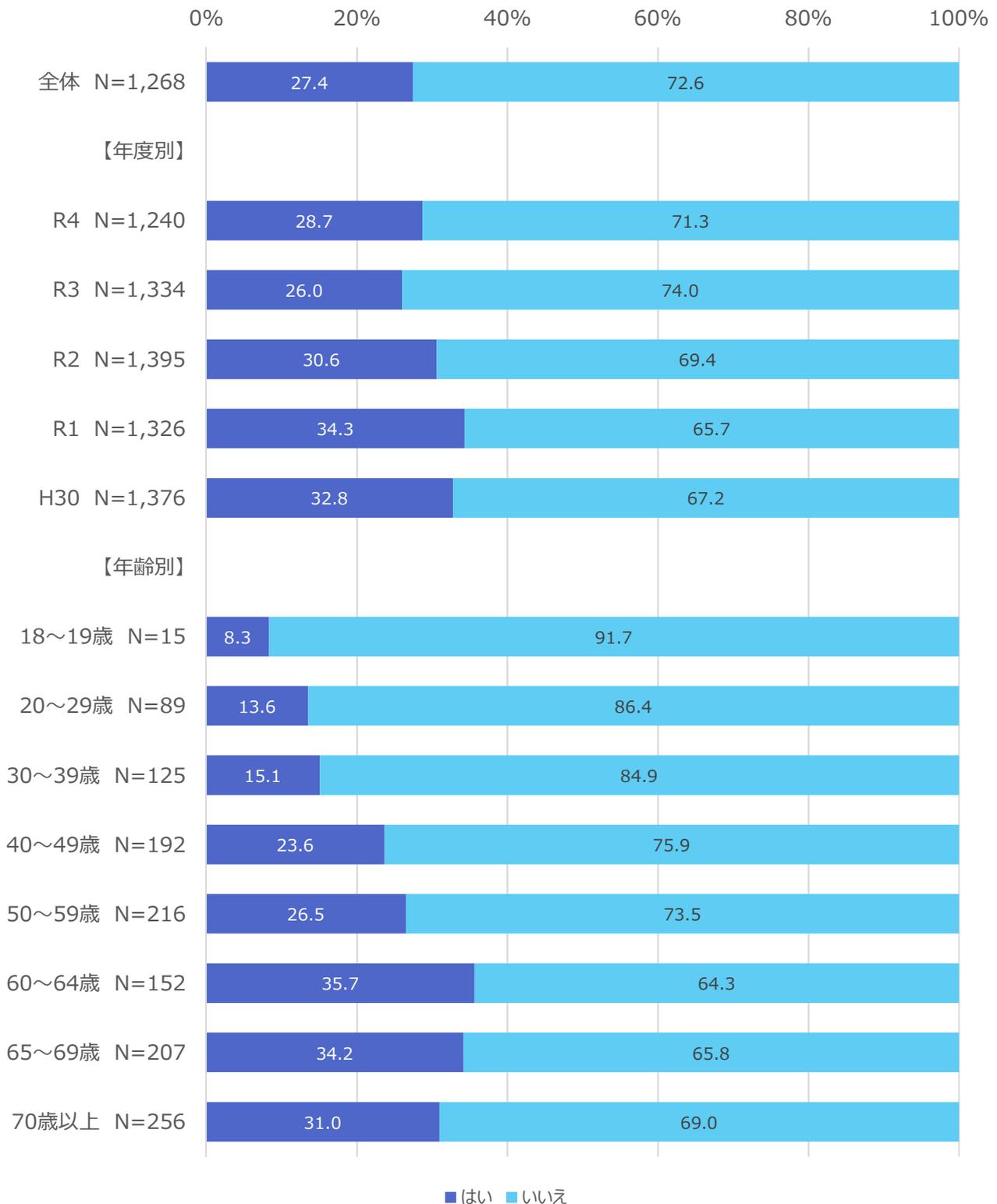
問27 あなたは、過去1年間に交通安全の活動や行事に参加しましたか。

**全体の約3割は過去1年間に交通安全の活動や行事に参加している。**

過去1年間の交通安全の活動や行事への参加状況をみると、「はい（参加した）」が27.4%、「いいえ（参加していない）」が72.6%となっている。

年齢別にみると、60～64歳が「はい（参加した）」が35.7%と最も多く、年齢が離れるにつれ減少する傾向にある。

図39 交通安全の活動や行事への参加状況



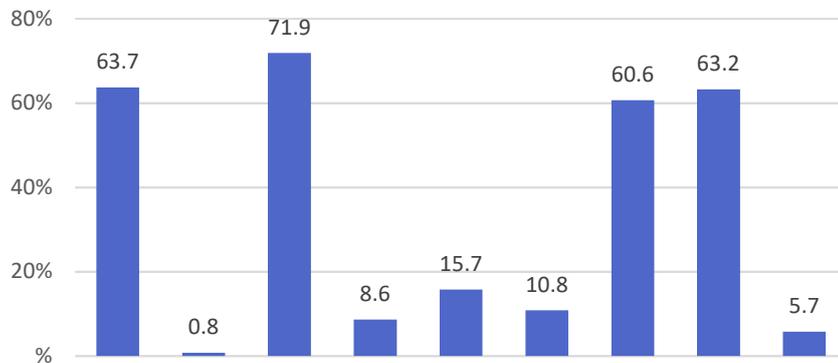
問28 あなたは、日常生活の中で犯罪に遭わないようにどのような取り組みをしていますか。

**全体の7割は「住居の戸締り」に取り組んでいる。**

日常生活の中で防犯への取組状況をみると、「住居の戸締り」が71.9%と最も多く、次いで「自動車に関する防犯対策」が63.7%、「悪質商法対策」が63.2%となっている。

年齢別にみると、「悪質商法対策」は年代が高いほど多く取り組んでいる傾向にある。

図40 防犯への取り組み状況 (MA)



			自動車に関する防犯対策	防犯対策グッズの携帯	住居の戸締り	空き巣対策設備の設置	自転車に関する防犯対策	犯罪情報の入手	ネット犯罪対策	悪質商法対策	特に何も行っていない	その他
全体 N=1,272			63.7	0.8	71.9	8.6	15.7	10.8	60.6	63.2	5.7	
年度別	R4年	N=1,258	66.4	1.0	71.5	13.0	18.9	10.7	57.6	64.4	5.8	
	R3年	N=1,348	72.9	10.9	77.2	20.7	27.7	19.2	58.0	69.4	16.2	
	R2年	N=1,433	70.1	3.0	69.5	15.1	20.2	16.2	57.2	68.7	5.4	
	R1年	N=1,329	74.4	1.4	70.1	11.8	22.1	14.4	50.1	63.4	5.2	0.8
	H30年	N=1,378	70.8	1.2	68.5	11.5	23.7	12.1	46.7	61.8	5.9	1.2
年齢別	18～19歳	N=12	33.3	0.0	66.7	0.0	41.7	0.0	58.3	33.3	0.0	
	20～29歳	N=59	54.2	0.0	74.6	6.8	18.6	11.9	67.8	49.2	1.7	
	30～39歳	N=126	61.9	0.8	78.6	15.1	13.5	9.5	61.9	49.2	3.2	
	40～49歳	N=215	58.6	1.9	66.5	7.4	18.6	12.6	62.8	55.3	9.8	
	50～59歳	N=232	67.2	0.0	68.5	9.5	16.8	11.2	64.2	59.5	5.6	
	60～64歳	N=143	67.8	0.7	74.1	7.0	9.8	9.1	65.7	69.2	4.9	
	65～69歳	N=198	67.7	0.0	71.2	6.6	15.2	7.6	57.6	71.7	6.6	
	70歳以上	N=287	63.1	1.4	72.8	8.7	14.6	13.2	52.6	72.1	4.9	
地域別	城端地域	N=186	64.0	1.1	66.7	6.5	11.3	9.1	56.5	64.5	4.8	
	平地域	N=17	52.9	0.0	47.1	0.0	0.0	17.6	47.1	58.8	11.8	
	上平地域	N=21	71.4	0.0	61.9	0.0	0.0	4.8	47.6	76.2	14.3	
	利賀地域	N=9	44.4	0.0	44.4	11.1	11.1	22.2	55.6	66.7	0.0	
	井波地域	N=203	62.6	0.0	73.9	6.9	16.7	11.3	63.5	66.5	3.0	
	井口地域	N=25	64.0	0.0	76.0	8.0	16.0	4.0	48.0	64.0	4.0	
	福野地域	N=363	63.9	0.8	76.3	11.3	17.4	10.5	63.4	62.0	5.2	
	福光地域	N=447	63.3	0.9	70.5	8.7	17.0	11.4	60.0	60.6	7.4	

※図中の回答項目は、調査票の表現を要約し記載しています。

※H29年からR1年は設問内容に相違があります。

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

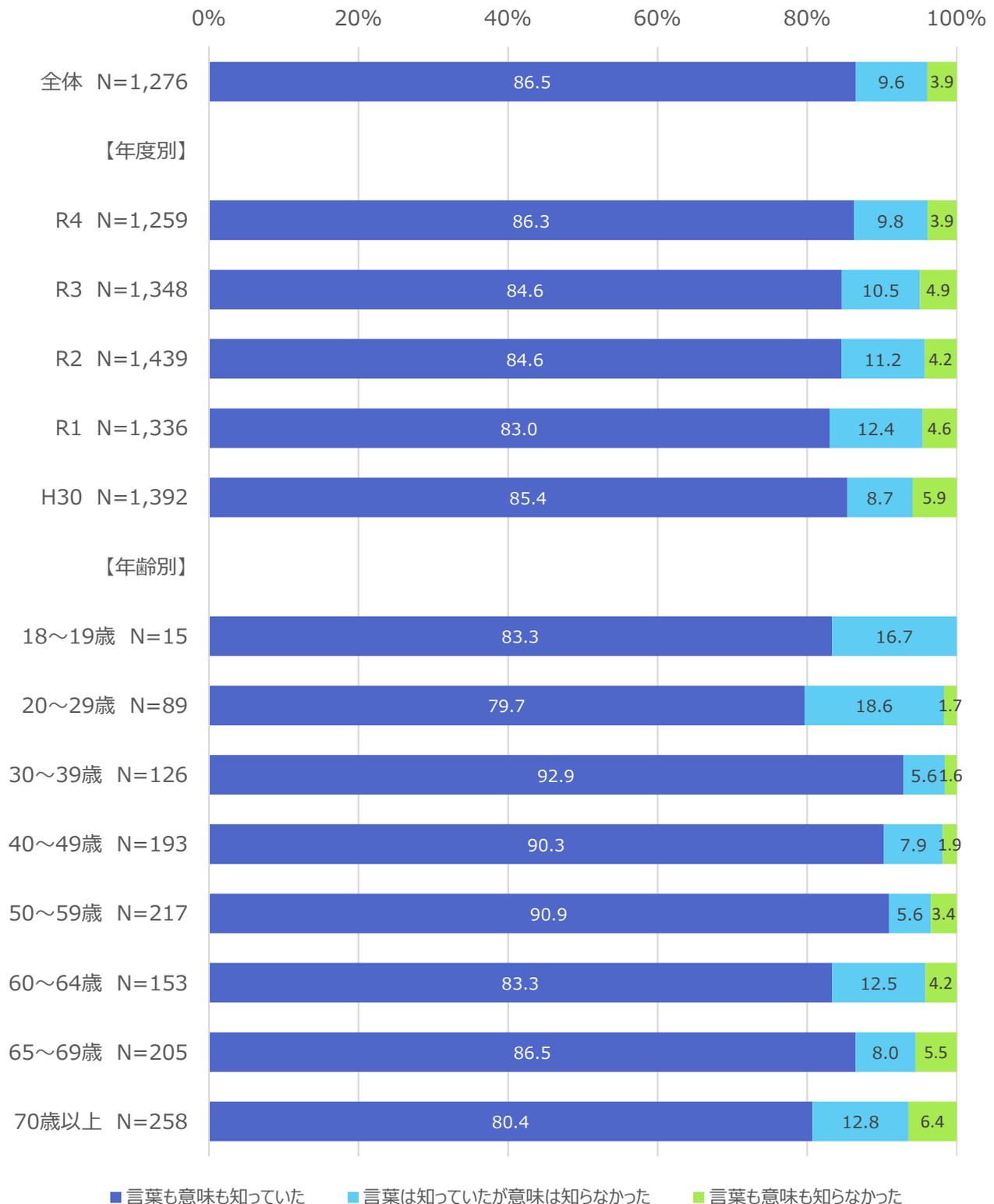
問29 クーリング・オフ制度とは、訪問販売など特定の取引について、いったん契約した場合でも、一定期間は消費者からの一方的な契約解除を認める制度です。あなたは、この制度のことを知っていましたか。

**全体の9割はクーリング・オフの言葉も意味も認知している。**

クーリング・オフ制度の認知状況をみると、「言葉も意味も知っていた」が86.5%と最も多く、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が9.6%、「言葉も意味も知らなかった」が3.9%となっている。

年度別にみると、クーリング・オフ制度の認知度は増加してきている。

図41 クーリング・オフ制度の認知状況



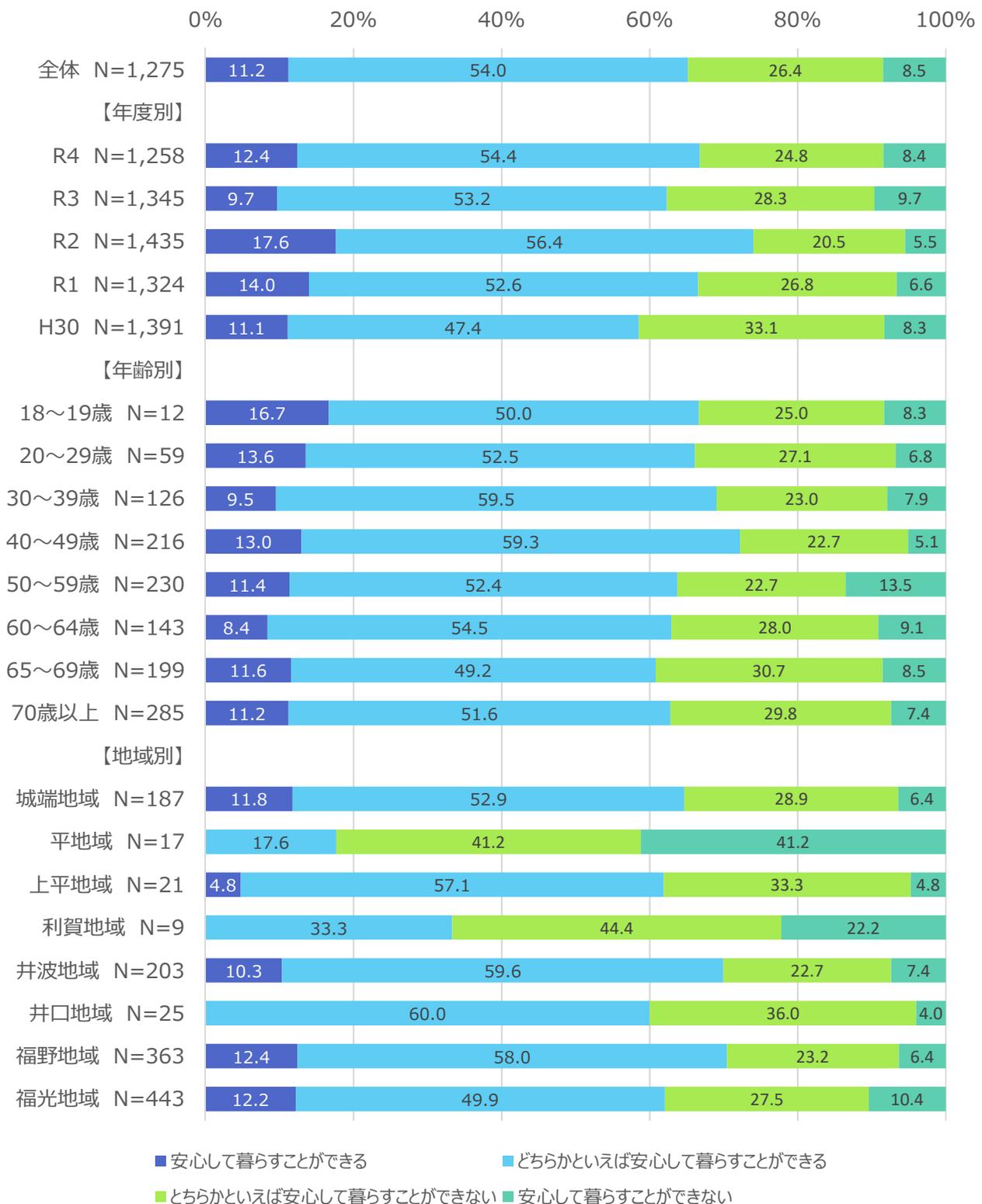
問30 あなたは、冬期に安心して暮らすことができると感じますか。

全体の約7割は冬期に安心して暮らすことができている。

冬期の暮らしをみると、「安心して暮らすことができる」が11.2%、「どちらかといえば安心して暮らすことができる」が54.0%となっている。

地域別にみると、平地域は「安心して暮らすことができない割合（「どちらかといえば安心して暮らすことができない」+「安心して暮らすことができない）」が82.4%と最も高くなっている。

図42 冬期の暮らし



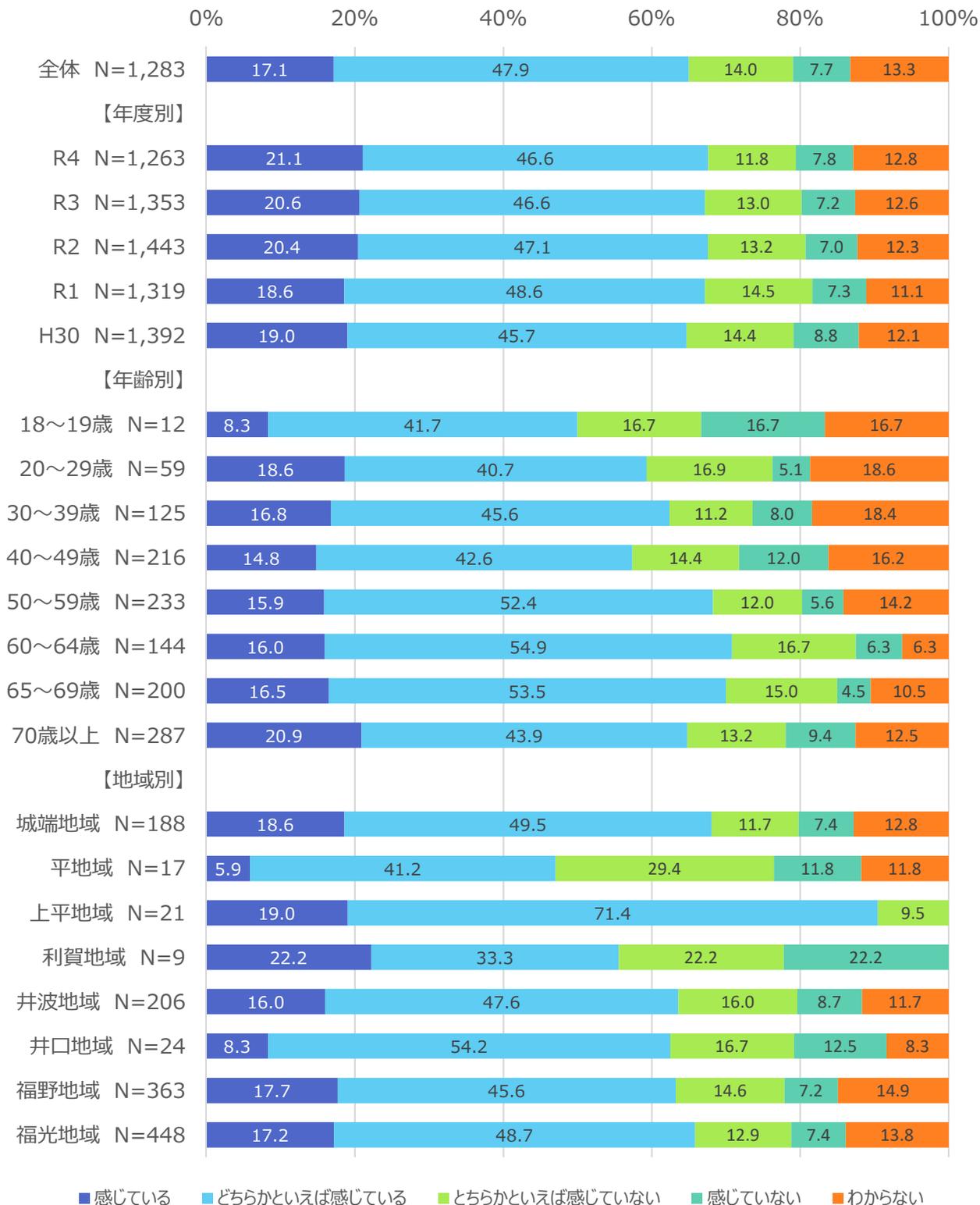
問31 あなたは、南砺市への「誇り」や「愛着」を感じていますか。

**全体の6割は南砺市への「誇り」や「愛着」を感じている。**

南砺市への「誇り」や「愛着」を感じているかをみると、「感じている」が17.1%、「どちらかといえば感じている」が47.9%、「どちらかといえば感じていない」が14.0%、「感じていない」が7.7%などとなっている。

地域別でみると、上平地域が「感じている割合（「感じている」+「どちらかといえば感じている」）が90.4%と最も多くなっている。

図43 南砺市への「誇り」や「愛着」



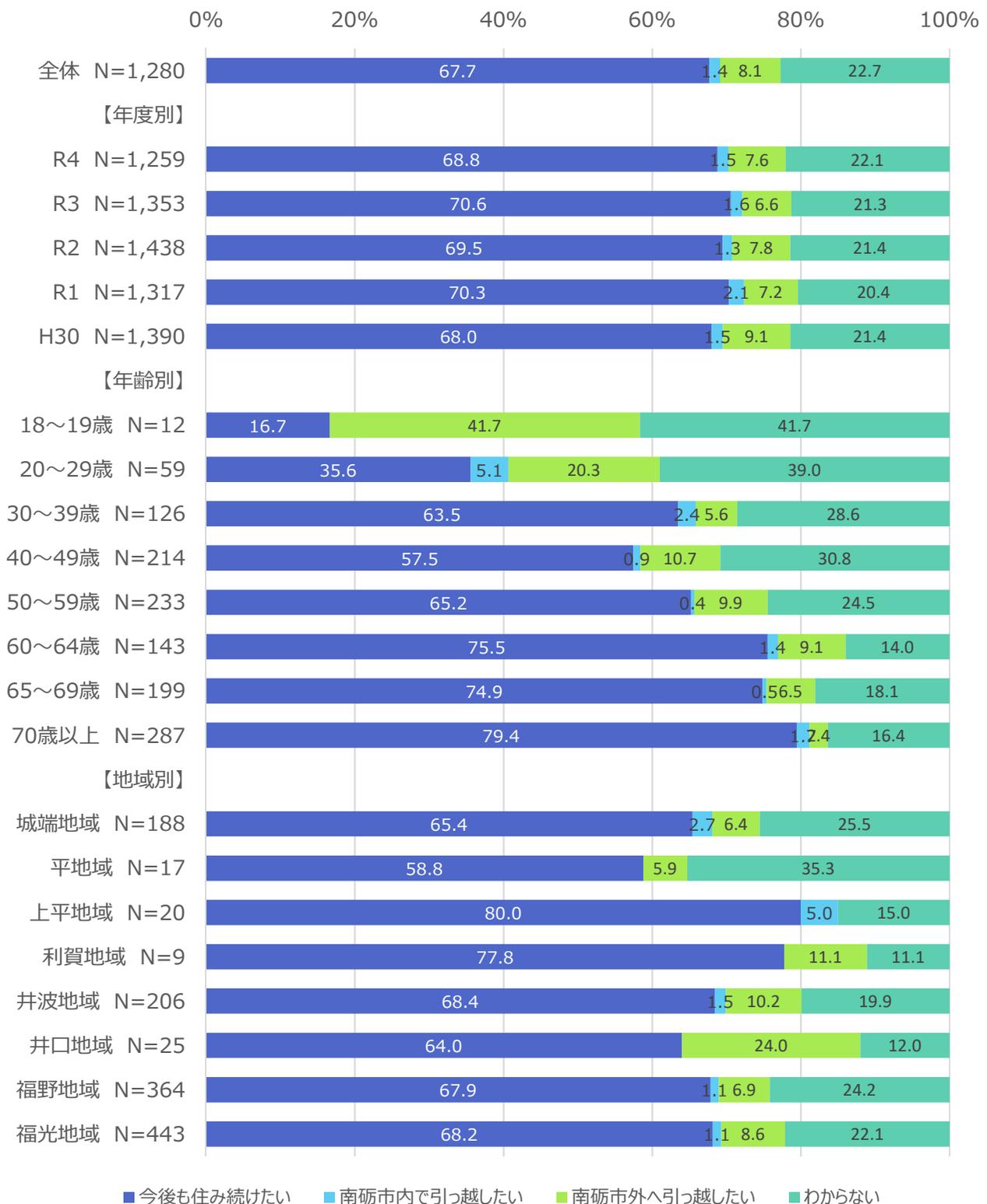
問32 あなたは、今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。

**全体の約7割は、今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思っている。**

今後も現在住んでいる地域に住み続けたいかをみると、「今後も住み続けたい」が67.7%、「南砺市内で引越したい」が1.4%、「南砺市外へ引越したい」が8.1%、「わからない」が22.7%となっている。

年齢別にみると、年齢が高いほど「今後も住み続けたい」が多い傾向にあり、70歳以上79.4%で最も多い。一方で年齢が若いほど「わからない」が多い傾向にある。

図44 今後も現在住んでいる地域に住み続けたいか



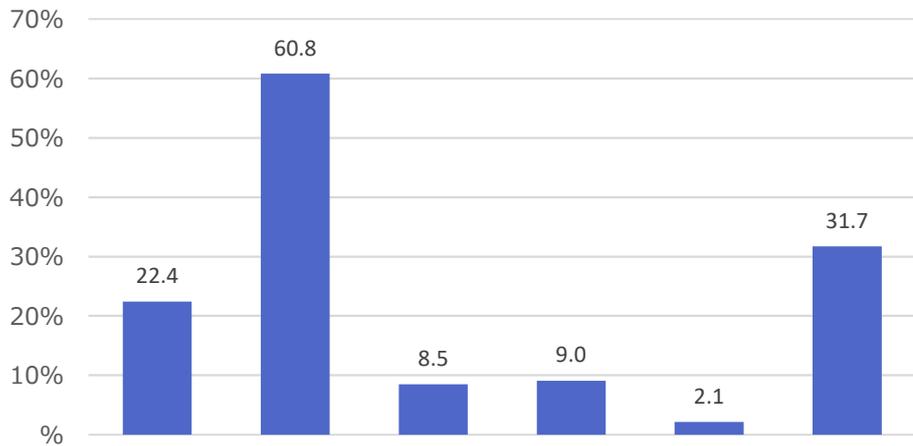
問33 問32で「1. 今後も住み続けたい」と回答した方にお聞きます。そう思う理由は何ですか。

現在住んでいる地域に住み続けたいと思う理由は「自然が豊かだから」。

今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思う理由をみると、「自然が豊かだから」が60.8%と最も多く、次いで「通勤・通学に便利な立地だから」が22.4%、「高齢者支援が充実しているから」が9.0%となっている。

年齢別にみると、30～39歳で「子育て支援が充実しているから」が31.3%と最も多かった。

図45 今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思う理由 (MA)



		立地から	自然が豊かだから	子育て支援が充実しているから	高齢者支援が充実しているから	教育が充実しているから	その他
全体 N=852		22.4	60.8	8.5	9.0	2.1	31.7
年度別	R4年 N=859	20.3	62.6	9.1	10.8	2.9	29.2
	R3年 N=940	22.1	61.1	7.6	12.9	2.9	30.3
	R2年 N=998	25.7	60.5	10.9	11.4	3.3	26.1
	R1年 N=918	22.2	61.1	9.5	9.6	2.8	29.0
	H30年 N=936	24.3	60.9	9.2	11.5	2.1	29.0
年齢別	18～19歳 N=2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳 N=21	33.3	66.7	9.5	4.8	4.8	28.6
	30～39歳 N=80	36.3	46.3	31.3	1.3	5.0	30.0
	40～49歳 N=123	35.8	60.2	13.0	4.9	4.1	26.0
	50～59歳 N=151	30.5	58.3	7.9	6.0	4.0	32.5
	60～64歳 N=108	18.5	59.3	1.9	9.3	0.0	35.2
	65～69歳 N=143	12.6	64.3	3.5	12.6	0.7	34.3
	70歳以上 N=220	12.3	65.0	4.5	14.5	0.5	31.8
地域別	城端地域 N=121	16.5	72.7	4.1	8.3	2.5	26.4
	平地地域 N=10	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	70.0
	上平地地域 N=16	0.0	50.0	0.0	12.5	0.0	56.3
	利賀地域 N=7	0.0	71.4	0.0	0.0	0.0	57.1
	井波地域 N=138	16.7	61.6	8.7	14.5	1.4	31.9
	井口地域 N=16	31.3	56.3	0.0	6.3	6.3	25.0
	福野地域 N=243	28.4	55.1	11.1	8.6	3.3	31.7
	福光地域 N=296	25.0	61.5	9.5	7.8	1.4	30.7

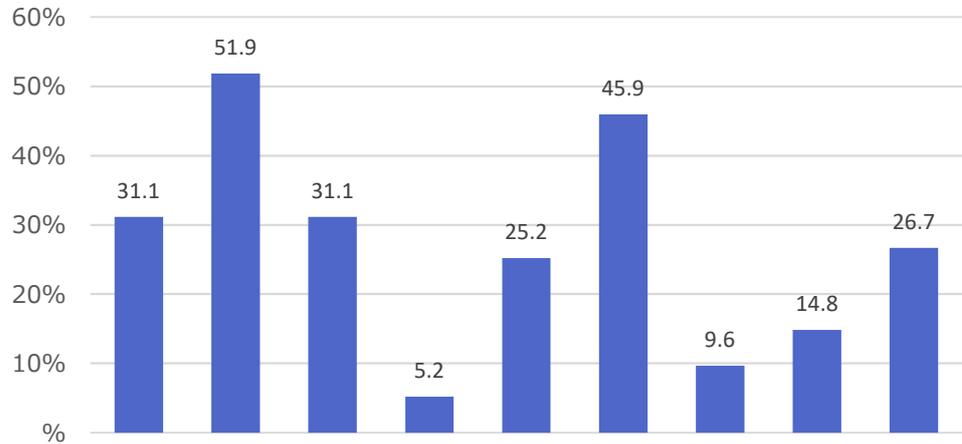
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問34 問32で「2. 南砺市内で引っ越したい」、「3. 南砺市外へ引っ越したい」と回答した方にお聞きます。  
 そう思う理由は何ですか。

**現在の住まいから引っ越したい理由の5割は「買い物など日常生活が不便」**

現在の住まいから引っ越したいと思う理由をみると、「買い物など日常生活が不便だから」が51.9%、次いで「公共交通が不便だから」が45.9%、「医療機関が充実していないから」と「通勤・通学が不便だから」が31.1%となっている。

図46 現在の住まいから引っ越したいと思う理由 (MA)



		ら 通勤・ 通学が 不便だ か	買 い物 な ど 日 常 生 活 が 不 便 だ か ら	医 療 機 関 が 充 実 し て い な い か ら	ら 教 育 機 関 が よ く な い か ら	柄 に な じ め な い か ら	公 共 交 通 が 不 便 だ か ら	子 育 て 環 境 が 充 分 で な い か ら	家 族 が 自 分 の 住 む 場 所 以 外 に い る か ら	そ の 他
全体 N=135		31.1	51.9	31.1	5.2	25.2	45.9	9.6	14.8	26.7
年 度 別	R4年 N=124	28.9	46.9	28.9	8.6	22.7	41.4	10.2	10.9	32.0
	R3年 N=146	29.8	59.7	31.5	8.1	28.2	43.5	6.5	18.5	21.0
	R2年 N=149	32.2	57.5	32.9	7.5	23.3	52.7	7.5	9.6	23.3
	R1年 N=162	35.6	58.4	30.2	6.7	26.2	50.3	6.7	15.4	20.1
	H30年 N=145	37.0	47.5	35.2	9.9	19.8	49.4	6.2	9.3	25.9
年 齢 別	18～19歳 N=4	75.0	50.0	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳 N=15	60.0	53.3	6.7	0.0	33.3	53.3	6.7	0.0	33.3
	30～39歳 N=11	63.6	54.5	36.4	18.2	18.2	54.5	18.2	27.3	36.4
	40～49歳 N=27	29.6	51.9	29.6	11.1	29.6	48.1	22.2	18.5	37.0
	50～59歳 N=26	38.5	57.7	30.8	3.8	15.4	42.3	11.5	3.8	23.1
	60～64歳 N=14	0.0	35.7	57.1	7.1	14.3	64.3	7.1	14.3	21.4
	65～69歳 N=16	18.8	50.0	50.0	0.0	37.5	37.5	0.0	37.5	18.8
	70歳以上 N=19	5.3	52.6	21.1	0.0	31.6	26.3	0.0	15.8	21.1
地 域 別	城端地域 N=20	20.0	45.0	10.0	10.0	20.0	45.0	20.0	20.0	30.0
	平地域 N=3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
	上平地域 N=3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	利賀地域 N=1	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	井波地域 N=28	46.4	53.6	10.7	0.0	17.9	53.6	3.6	10.7	17.9
	井口地域 N=6	66.7	83.3	50.0	0.0	16.7	83.3	0.0	16.7	16.7
	福野地域 N=29	31.0	55.2	44.8	0.0	24.1	34.5	6.9	20.7	24.1
	福光地域 N=45	24.4	48.9	37.8	8.9	37.8	42.2	11.1	11.1	35.6

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問35 ご家庭に18歳未満のお子さん（弟、妹、子、孫等）がいらっしゃる方にお尋ねします。あなたのご家庭には、次のお子さんは何人いらっしゃいますか。

**全体の3割は家庭に18歳未満のお子さんがいる。**

18歳未満のお子さんの有無をみると、「いる」が30.6%、「いない」が69.4%となっている。

図47 18歳未満のお子さんの有無

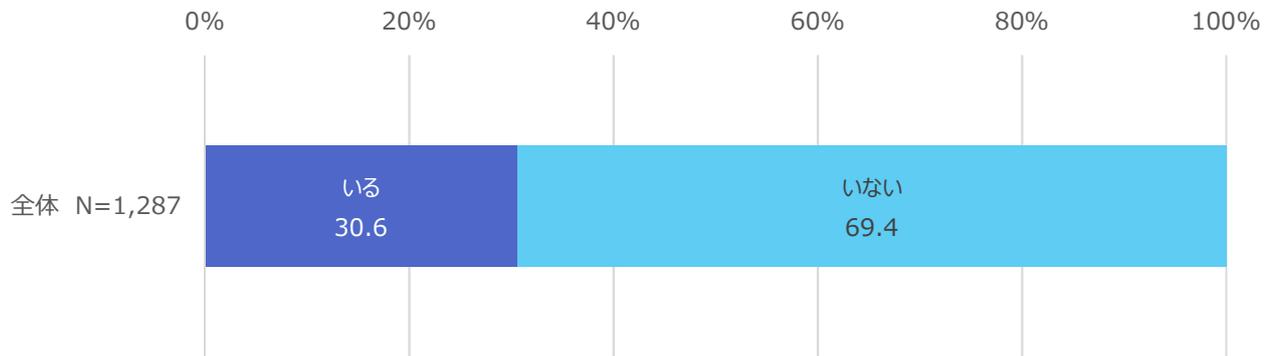
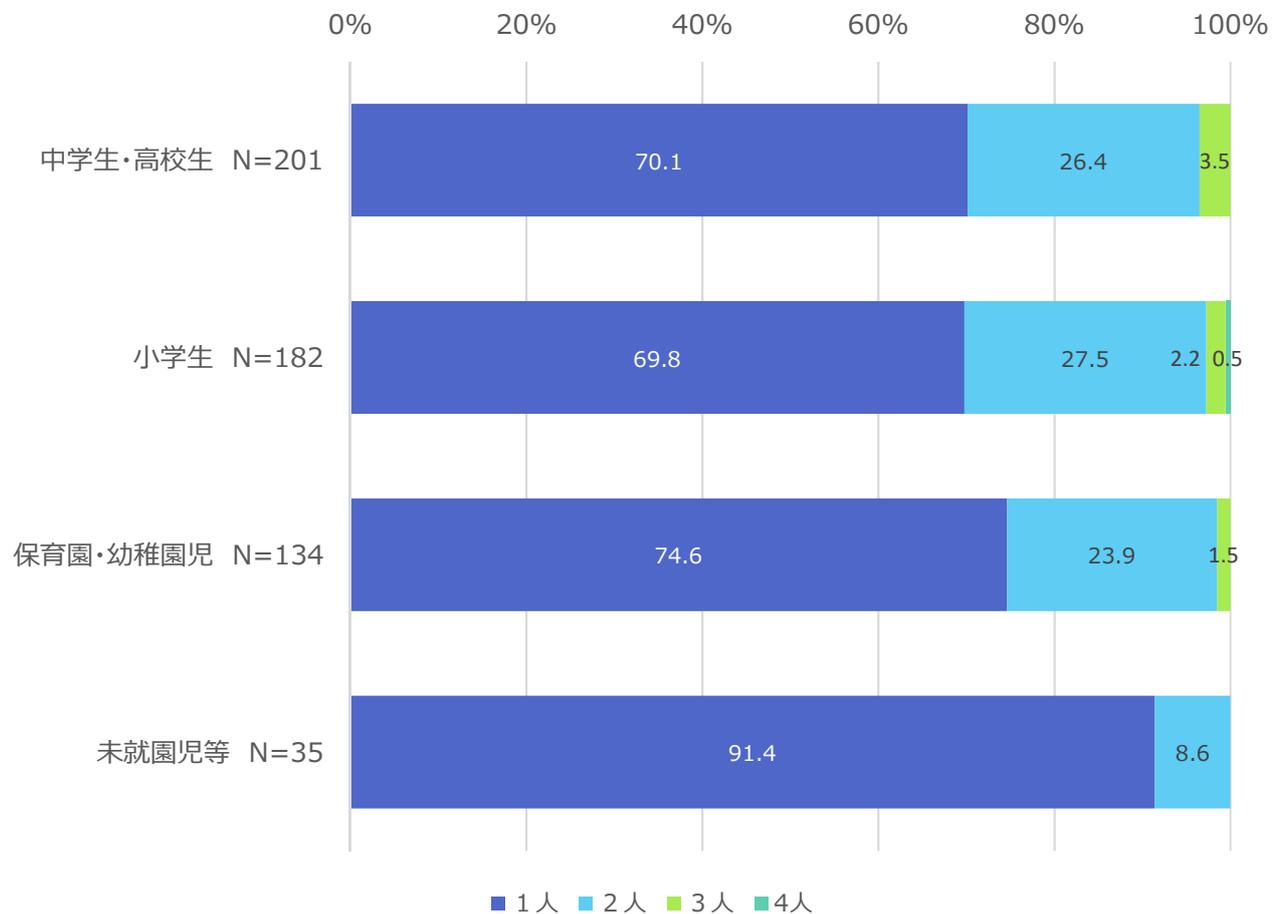


図48 18未満のお子さんの内訳 (MA)

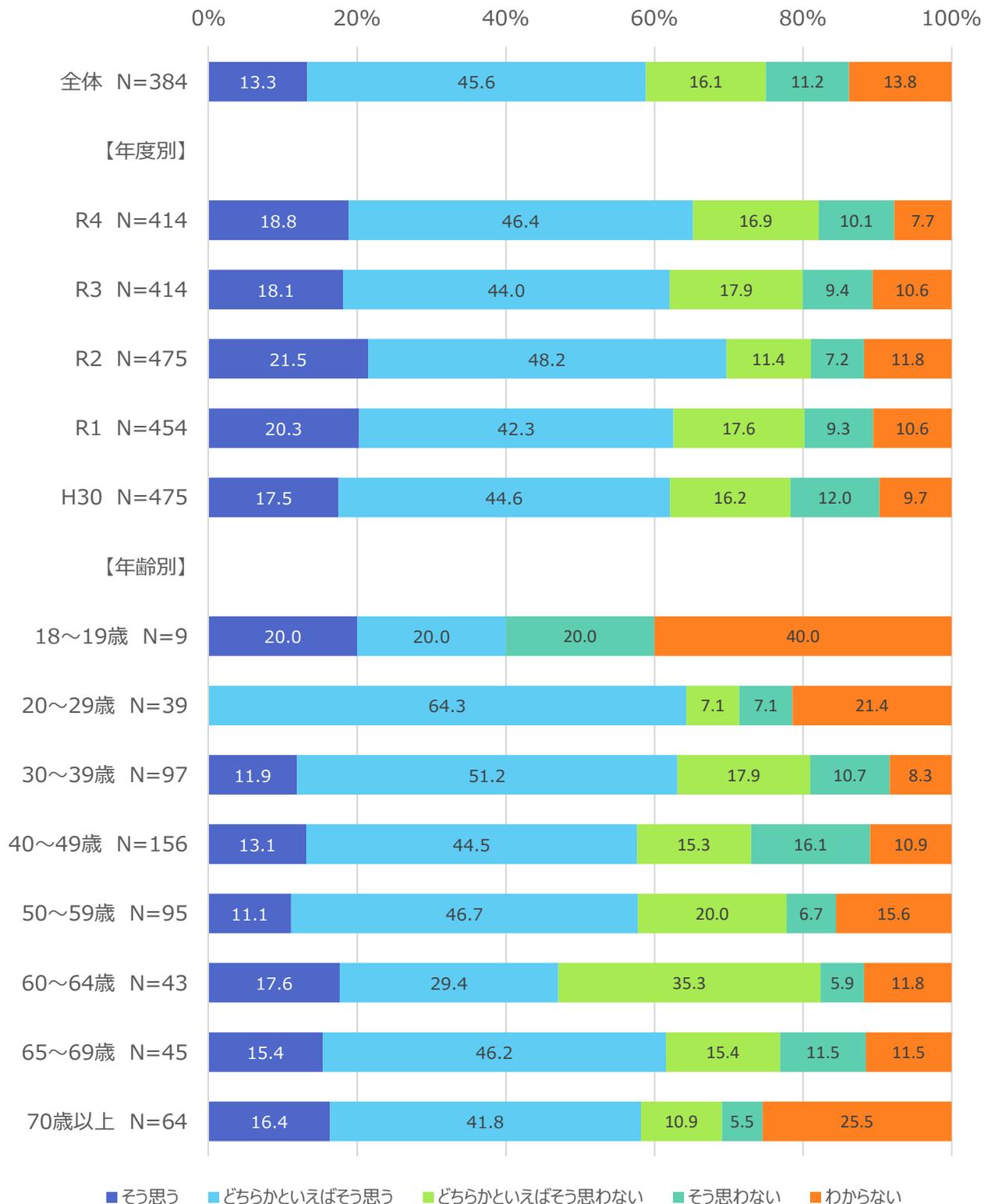


問36 ご家庭に18歳未満のお子さん（弟、妹、子、孫等）がいらっしゃる方にお尋ねします。あなたは、南砺市では就労しながら無理なく子育てをすることができますか。

全体の約6割は就労しながら無理なく子育てをすることができると思っている。

就労しながら無理なく子育てをすることができるかをみると、「そう思う」が13.3%、「どちらかといえばそう思う」が45.6%、「どちらかといえばそう思わない」が16.1%、「そう思わない」が11.2%となっており、「そう思っている割合（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）」が58.9%になっている。

図49 就労しながら無理なく子育てできるか

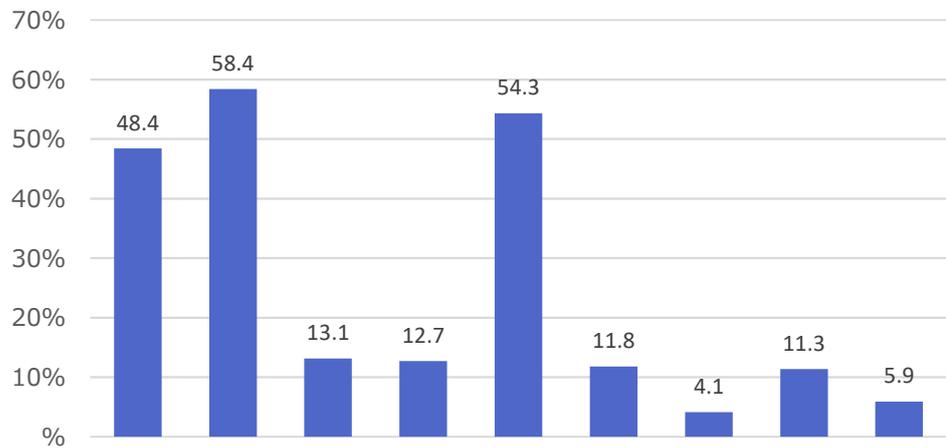


問37 問36で「1. そう思う」、「2. どちらかといえばそう思う」と回答した方にお聞きます。そう思う理由は何ですか

就労しながら無理なく子育てができると思う理由は「子どもを預ける場が充実しているから」が最も多い。

就労しながら無理なく子育てができると思う理由をみると、「子どもを預ける場が充実しているから」が58.4%と最も多く、次いで「医療費助成が充実しているから」が54.3%、「保育サービスが充実しているから」が48.4%となっている。

図50 就労しながら無理なく子育てができると思う理由 (MA)



		保育サービスが充実しているから	子どもを預ける場が充実しているから	子どもを遊ばせる場が多いから	小児医療体制が整っているから	医療費助成が充実しているから	教育環境が充実しているから	相談サービスが充実しているから	団体に相談できる人・周りに相談できる人があるから	その他
全体 N=221		48.4	58.4	13.1	12.7	54.3	11.8	4.1	11.3	5.9
年度別	R4年 N=273	54.9	55.7	14.3	17.9	52.4	12.5	4.4	15.4	4.8
	R3年 N=251	56.2	59.4	21.9	15.5	52.2	14.3	6.0	13.1	5.6
	R2年 N=323	59.1	61.0	25.4	19.5	53.9	10.8	5.0	14.6	5.3
	R1年 N=284	66.2	63.0	20.4	23.2	53.2	10.2	4.6	10.2	4.6
	H30年 N=297	63.6	60.3	19.5	22.2	53.2	10.8	5.4	11.4	3.0
年齢別	18～19歳 N=2	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳 N=9	55.6	55.6	22.2	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0
	30～39歳 N=52	57.7	71.2	15.4	15.4	61.5	11.5	3.8	19.2	5.8
	40～49歳 N=76	46.1	50.0	15.8	9.2	56.6	6.6	5.3	10.5	6.6
	50～59歳 N=25	24.0	36.0	4.0	20.0	56.0	24.0	4.0	16.0	16.0
	60～64歳 N=8	25.0	87.5	0.0	25.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	65～69歳 N=17	64.7	58.8	17.6	17.6	52.9	11.8	0.0	5.9	5.9
70歳以上 N=31	54.8	67.7	9.7	6.5	41.9	16.1	6.5	6.5	0.0	
地域別	城端地域 N=27	37.0	29.6	7.4	11.1	51.9	7.4	3.7	11.1	3.7
	平地地域 N=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	上平地地域 N=3	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	利賀地域 N=1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	井波地域 N=47	51.1	63.8	10.6	8.5	55.3	4.3	2.1	10.6	4.3
	井口地域 N=2	50.0	100.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	福野地域 N=75	53.3	64.0	12.0	10.7	53.3	18.7	4.0	6.7	6.7
	福光地域 N=66	45.5	57.6	18.2	18.2	56.1	10.6	6.1	15.2	7.6

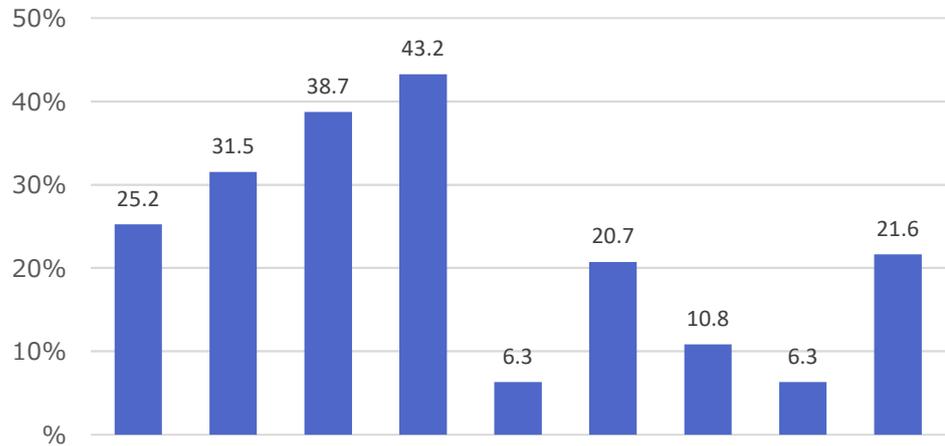
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問38 問36で「3. どちらかといえばそう思わない」、「4. そう思わない」と回答した方にお聞きます。そう思う理由は何ですか。

無理なく子育てができると思わない理由は「小児医療体制が不十分だから」。

就労しながら無理なく子育てができると思わない理由をみると、「小児医療体制が不十分だから」が43.2%と最も多く、次いで「子どもを遊ばせる場が少ないから」が38.7%となっている。

図51 就労しながら無理なく子育てできると思わない理由 (MA)



		だから	保育サービスが不十分だから	子どもを預ける場がないから	子どもを遊ばせる場が少ないから	小児医療体制が不十分だから	医療費助成が不十分だから	教育環境が不十分だから	相談サービスが不十分だから	周りに相談できる人・団体がいないから	その他
全体 N=111		25.2	31.5	38.7	43.2	6.3	20.7	10.8	6.3	21.6	
年度別	R4年 N=115	21.7	28.7	36.5	29.6	12.2	18.3	8.7	7.8	27.0	
	R3年 N=88	22.3	29.5	41.1	33.0	16.1	27.7	13.4	11.6	23.2	
	R2年 N=106	22.7	25.0	38.6	30.7	10.2	22.7	9.1	10.2	28.4	
	R1年 N=131	26.4	27.4	30.2	26.4	8.5	27.4	6.6	7.5	17.9	
	H30年 N=93	16.0	16.8	33.6	35.1	19.8	22.9	9.9	13.0	26.7	
年齢別	18～19歳 N=1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	
	20～29歳 N=2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	30～39歳 N=25	32.0	32.0	36.0	28.0	8.0	12.0	4.0	4.0	44.0	
	40～49歳 N=44	22.7	31.8	45.5	45.5	2.3	20.5	6.8	6.8	22.7	
	50～59歳 N=14	21.4	21.4	28.6	57.1	7.1	35.7	21.4	7.1	7.1	
	60～64歳 N=7	28.6	28.6	42.9	42.9	14.3	28.6	28.6	0.0	0.0	
	65～69歳 N=7	42.9	57.1	28.6	42.9	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3	
	70歳以上 N=10	10.0	30.0	30.0	60.0	0.0	30.0	0.0	0.0	10.0	
地域別	城端地域 N=7	14.3	28.6	0.0	28.6	0.0	42.9	14.3	14.3	42.9	
	平地地域 N=2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	上平地地域 N=1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	利賀地域 N=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	井波地域 N=20	25.0	15.0	35.0	25.0	5.0	15.0	10.0	5.0	20.0	
	井口地域 N=6	16.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
	福野地域 N=32	28.1	28.1	62.5	56.3	9.4	18.8	12.5	6.3	6.3	
	福光地域 N=43	27.9	44.2	30.2	44.2	7.0	25.6	11.6	7.0	20.9	

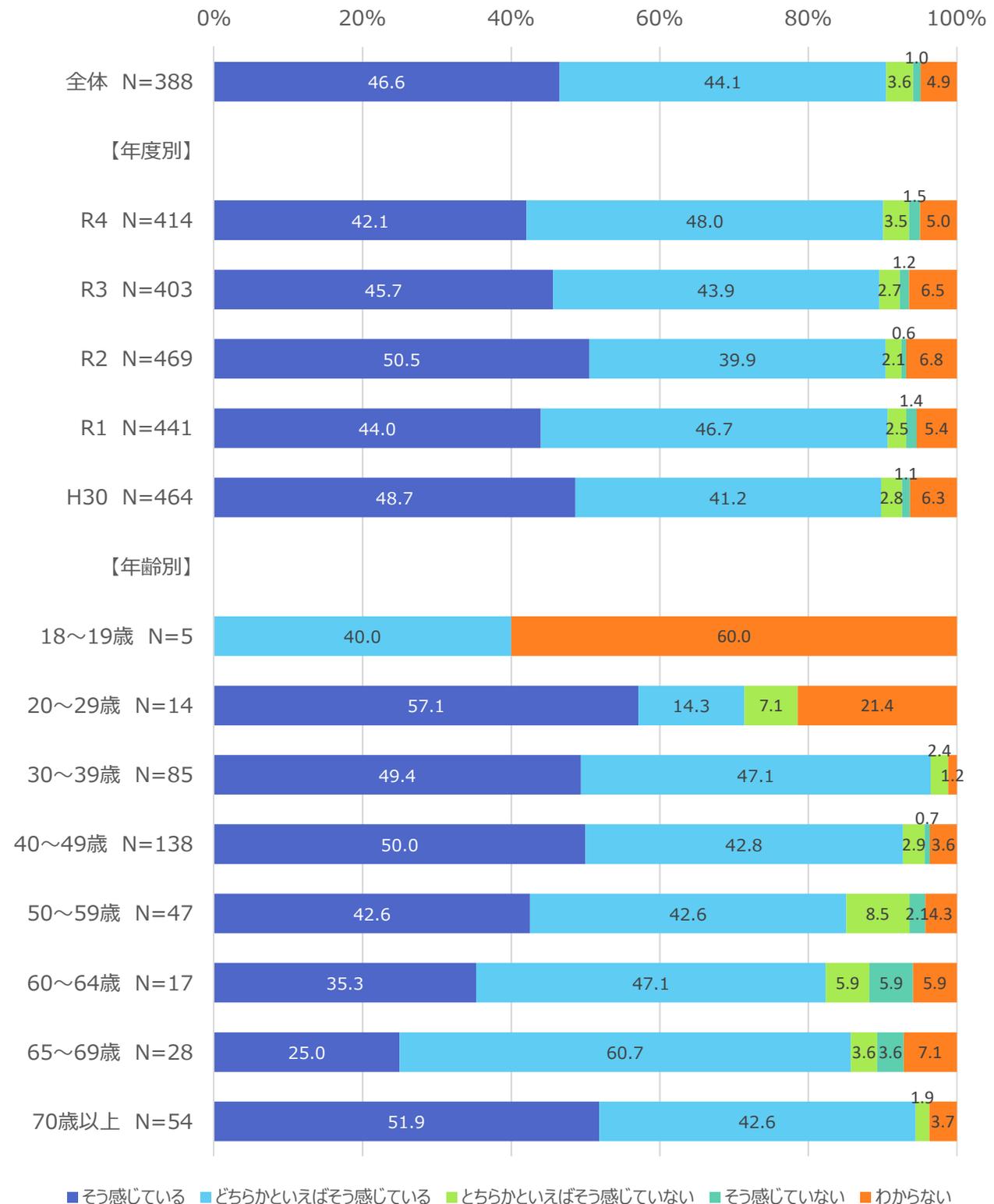
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問39 ご家庭に18歳未満のお子さん（弟、妹、子、孫等）がいらっしゃる方にお尋ねします。あなたは、子育てに喜びや生きがいを感じていますか。

**18歳未満のお子さんがある方の9割は子育てに喜びや生きがいを感じている。**

子育てに喜びや生きがいを感じるかをみると、「そう感じている」が46.6%、「どちらかといえばそう感じている」が44.1%となっており、「そう感じている割合（「そう感じている」+「どちらかといえばそう感じている」）」は90.7%となっている。

図52 子育てに喜びや生きがいを感じるか

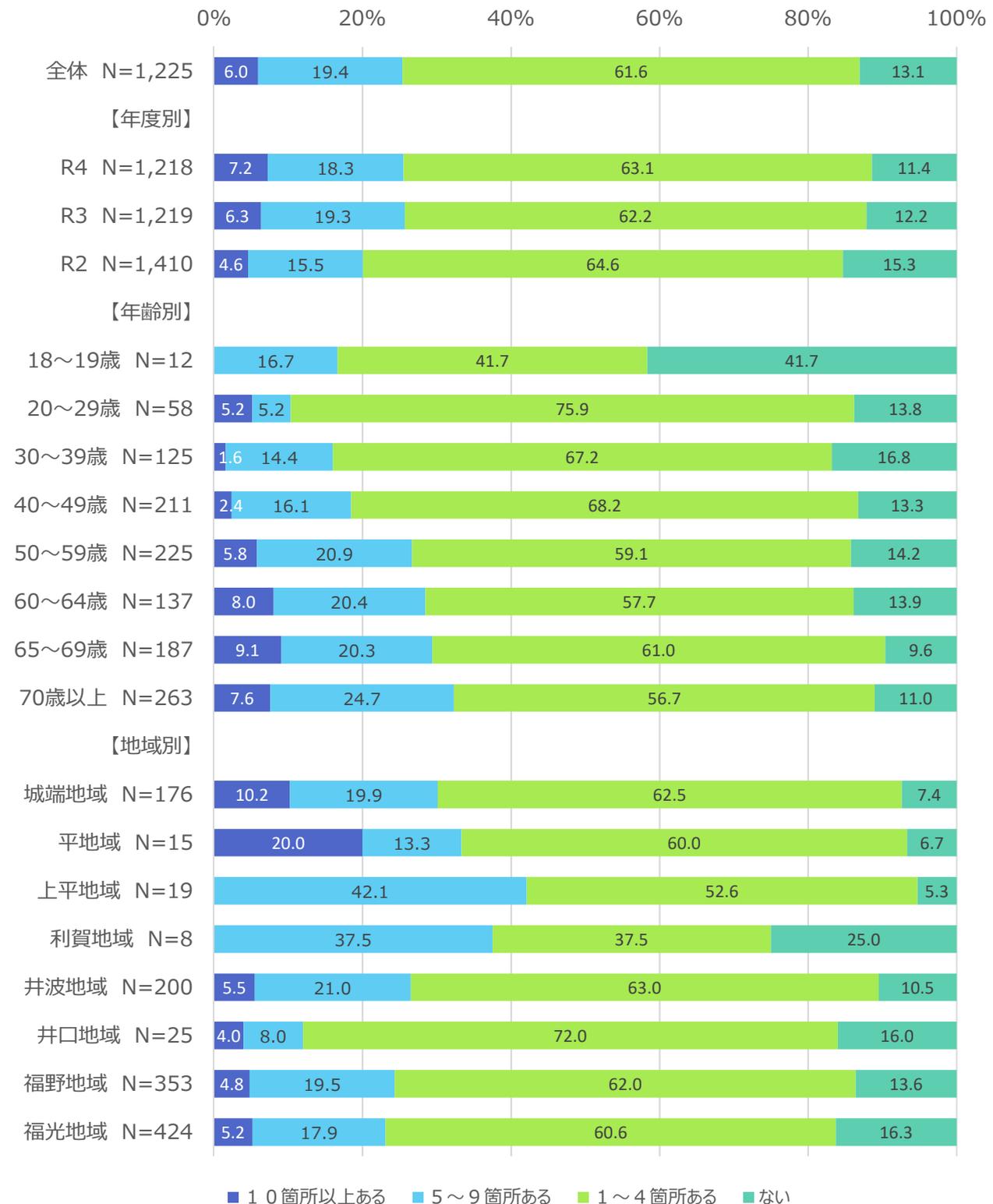


問40 あなたが友人や知人に、ぜひお勧めしたい南砺市内の文化や景観はいくつありますか。

**全体の約9割は友人や知人にお勧めしたい南砺市内の文化や景観がある。**

友人や知人にお勧めしたい南砺市の文化や景観があるかをみると、「10箇所以上ある」が6.0%、「5～9箇所ある」が19.4%、「1～4箇所ある」が61.6%となっており、「1箇所以上ある割合（「10箇所以上ある」+「5～9箇所ある」+「1～4箇所ある」）が87.0%となっている。

図53 友人や知人にお勧めしたい南砺市の文化や景観の個数



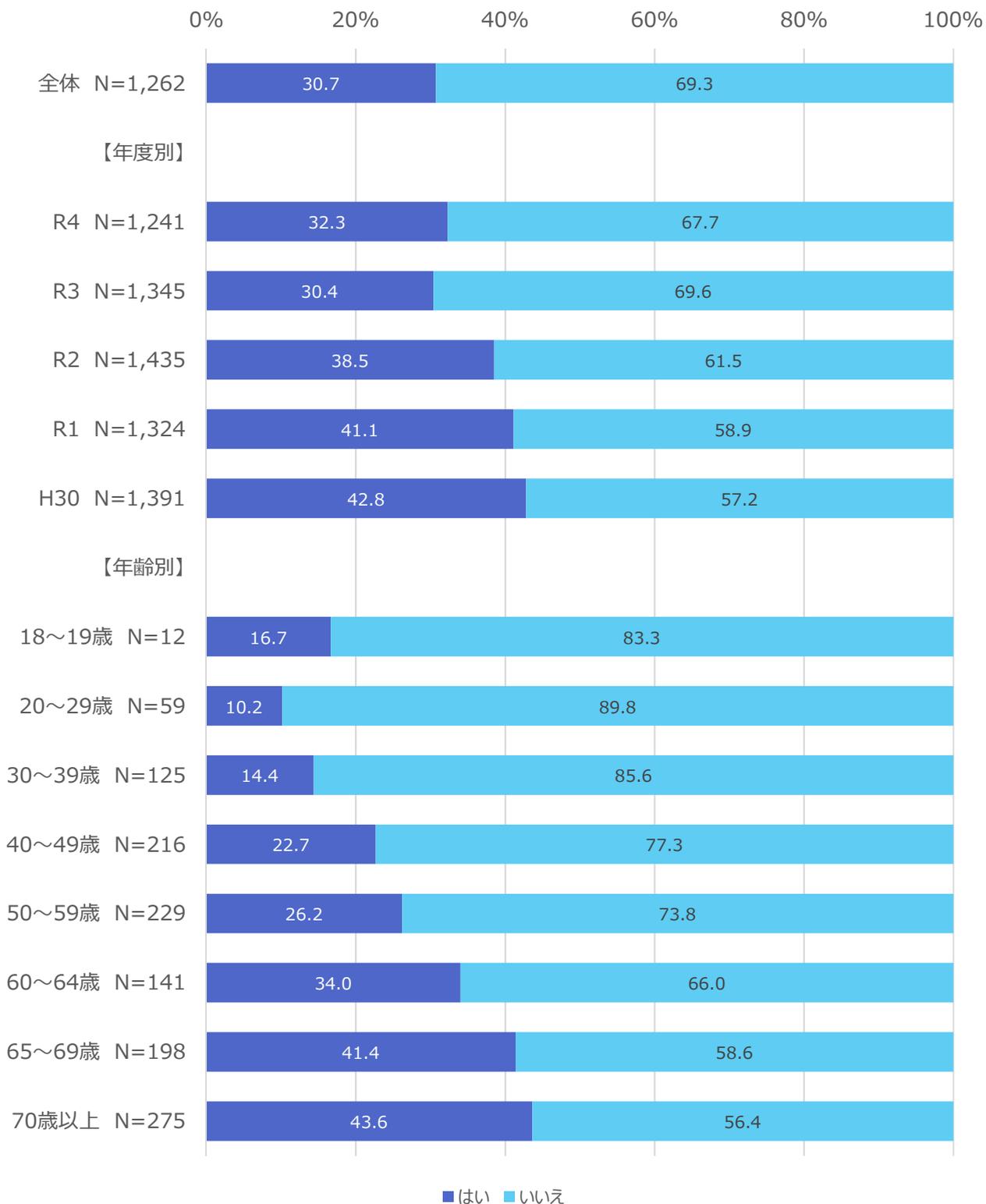
問41 あなたは、過去1年間にボランティア活動（団体による清掃活動等）に参加しましたか。

**全体の3割は過去1年間にボランティア活動に参加している。**

ボランティア活動への参加状況を見ると、「はい（参加した）」が30.7%、「いいえ（参加していない）」が69.3%となっている。

年度別にみると、「はい（参加した）」は減少傾向にあり、年齢別にみると、年齢が高いほど「はい（参加した）」が多い傾向にある。

図54 ボランティア活動への参加状況



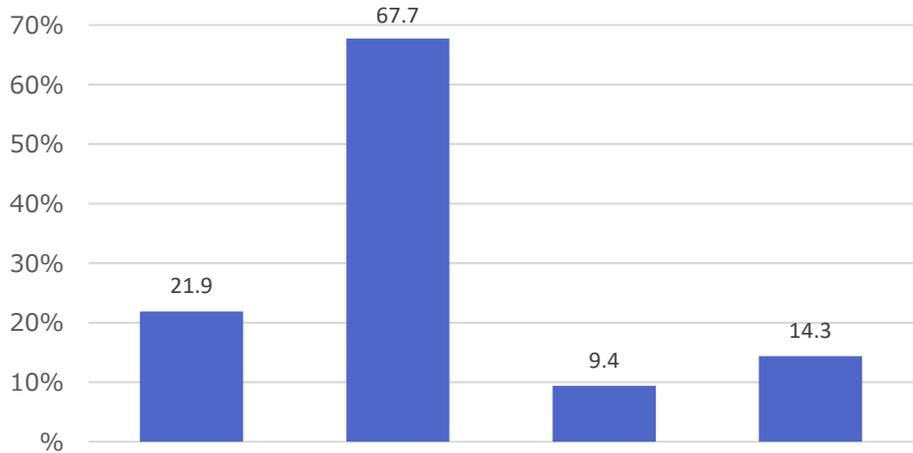
問42 問41で「1. はい」と回答した方にお聞きます。活動内容はどのようなものですか。

**ボランティア活動の内容は約7割は「環境分野」となっている。**

ボランティア活動に参加したことがある方について、その活動内容をみると、「環境分野」が67.7%、「福祉分野」が21.9%、「教育分野」が9.4%となっている。

年齢別にみると、「福祉分野」は65歳以上で多くなっている。

図55 ボランティア活動の内容 (MA)



		福祉分野	環境分野	教育分野	その他
全体 N=384		21.9	67.7	9.4	14.3
年度別	R4年 N=399	27.6	66.4	11.3	10.8
	R3年 N=552	22.7	67.2	7.9	12.6
	R2年 N=547	23.0	74.8	9.4	7.8
	R1年 N=597	21.4	71.8	11.0	8.0
	H30年 N=586	20.1	74.2	11.4	7.5
年齢別	18～19歳 N=2	0.0	50.0	0.0	50.0
	20～29歳 N=5	0.0	60.0	40.0	40.0
	30～39歳 N=18	11.1	72.2	16.7	5.6
	40～49歳 N=48	10.4	56.3	18.8	22.9
	50～59歳 N=60	6.7	78.3	11.7	13.3
	60～64歳 N=47	25.5	70.2	4.3	10.6
	65～69歳 N=81	30.9	69.1	3.7	16.0
	70歳以上 N=120	30.0	65.0	7.5	10.8
地域別	城端地域 N=47	23.4	63.8	8.5	19.1
	平地地域 N=6	16.7	83.3	0.0	16.7
	上平地地域 N=15	0.0	66.7	6.7	33.3
	利賀地域 N=6	33.3	66.7	0.0	16.7
	井波地域 N=73	21.9	78.1	5.5	6.8
	井口地域 N=8	25.0	87.5	0.0	12.5
	福野地域 N=111	25.2	61.3	13.5	13.5
	福光地域 N=116	20.7	66.4	10.3	15.5

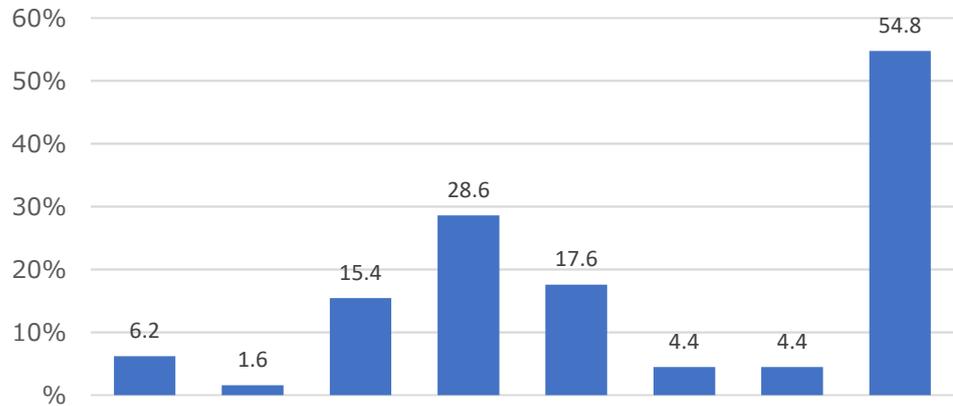
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問43 協働のまちづくりとは、市民、市民団体、事業者及び市が協力して、地域の課題解決に取り組むまちづくりの手法のことです。あなたは、どのような協働のまちづくりに取り組んでいますか。

全体の5割は協働のまちづくりに取り組んでいない。

協働のまちづくりへの取り組み状況を見ると、「自治会、町内会が主体で実施するまちづくり事業」が28.6%で他のまちづくり事業と比べて最も多いが、「特に何も行ってない」が54.8%と最も多くなっている。

図56 協働のまちづくりへの取り組み状況 (MA)



		市が主体で実施するまちづくり事業	国又は県が主体で実施するまちづくり事業	地域づくり協議が主体で実施するまちづくり事業	自治会・町内会が主体で実施するまちづくり事業	地域の団体が主体で実施するまちづくり事業	ボランティア団体等が主体で実施するまちづくり事業	企業等が社会貢献事業として実施するまちづくり事業	特に何も行ってない
全体 N=1,218		6.2	1.6	15.4	28.6	17.6	4.4	4.4	54.8
年度別	R4年 N=1,194	7.4	2.2	17.4	24.5	15.6	8.0	3.4	53.9
	R3年 N=1,271	6.7	1.7	13.4	27.4	15.2	5.4	2.4	56.7
	R2年 N=1,378	8.4	2.5	15.2	32.1	17.1	6.5	3.8	51.5
	R1年 N=1,258	-	3.7	-	-	17.5	6.1	2.8	53.2
	H30年 N=1,317	-	2.1	-	-	17.4	5.8	2.4	57.9
年齢別	18~19歳 N=12	0.0	0.0	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	83.3
	20~29歳 N=58	5.2	1.7	3.4	3.4	1.7	3.4	3.4	86.2
	30~39歳 N=123	5.7	0.0	4.1	11.4	6.5	4.1	3.3	72.4
	40~49歳 N=208	5.8	1.9	12.0	21.6	7.7	4.3	6.3	62.5
	50~59歳 N=222	3.2	1.8	15.8	28.4	7.7	3.2	6.3	56.8
	60~64歳 N=138	8.0	2.2	15.9	33.3	14.5	5.8	8.0	50.0
	65~69歳 N=188	5.9	1.6	23.9	38.3	28.7	4.3	1.6	42.0
	70歳以上 N=263	8.7	1.5	19.8	38.8	37.3	5.3	2.7	42.2
地域別	城端地域 N=172	5.8	1.2	16.9	22.7	19.8	4.7	4.1	57.0
	平地域 N=16	18.8	6.3	18.8	31.3	25.0	12.5	0.0	37.5
	上平地域 N=20	10.0	0.0	30.0	50.0	55.0	5.0	5.0	15.0
	利賀地域 N=9	0.0	0.0	44.4	44.4	55.6	11.1	0.0	22.2
	井波地域 N=196	7.1	1.5	17.3	36.2	26.5	5.1	5.6	46.9
	井口地域 N=24	4.2	0.0	12.5	33.3	20.8	8.3	4.2	50.0
	福野地域 N=352	5.7	2.3	16.2	25.3	14.2	5.4	3.7	57.1
	福光地域 N=423	5.7	1.2	12.3	28.1	12.3	2.6	5.0	59.3

※H29～R1は設問内容に相違あります。

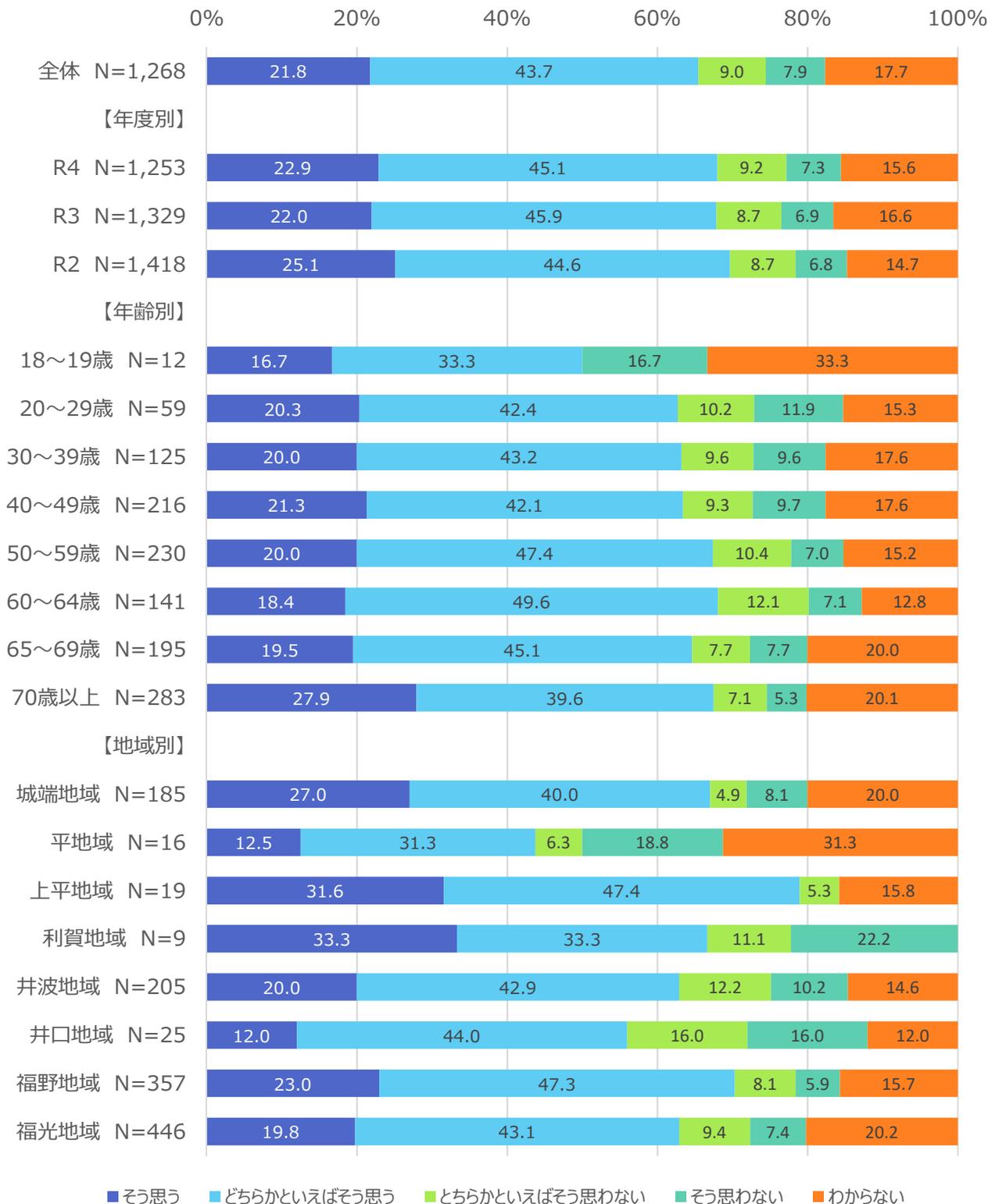
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問44 あなたは、「みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になる」と思いますか。

全体の約7割は「みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になる」と思っている。

“みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になる”という思いについてみると、「そう思う」が21.8%、「どちらかといえばそう思う」が43.7%、「どちらかといえばそう思わない」が9.0%、「そう思わない」が7.9%となっている。

図57 みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になると思う



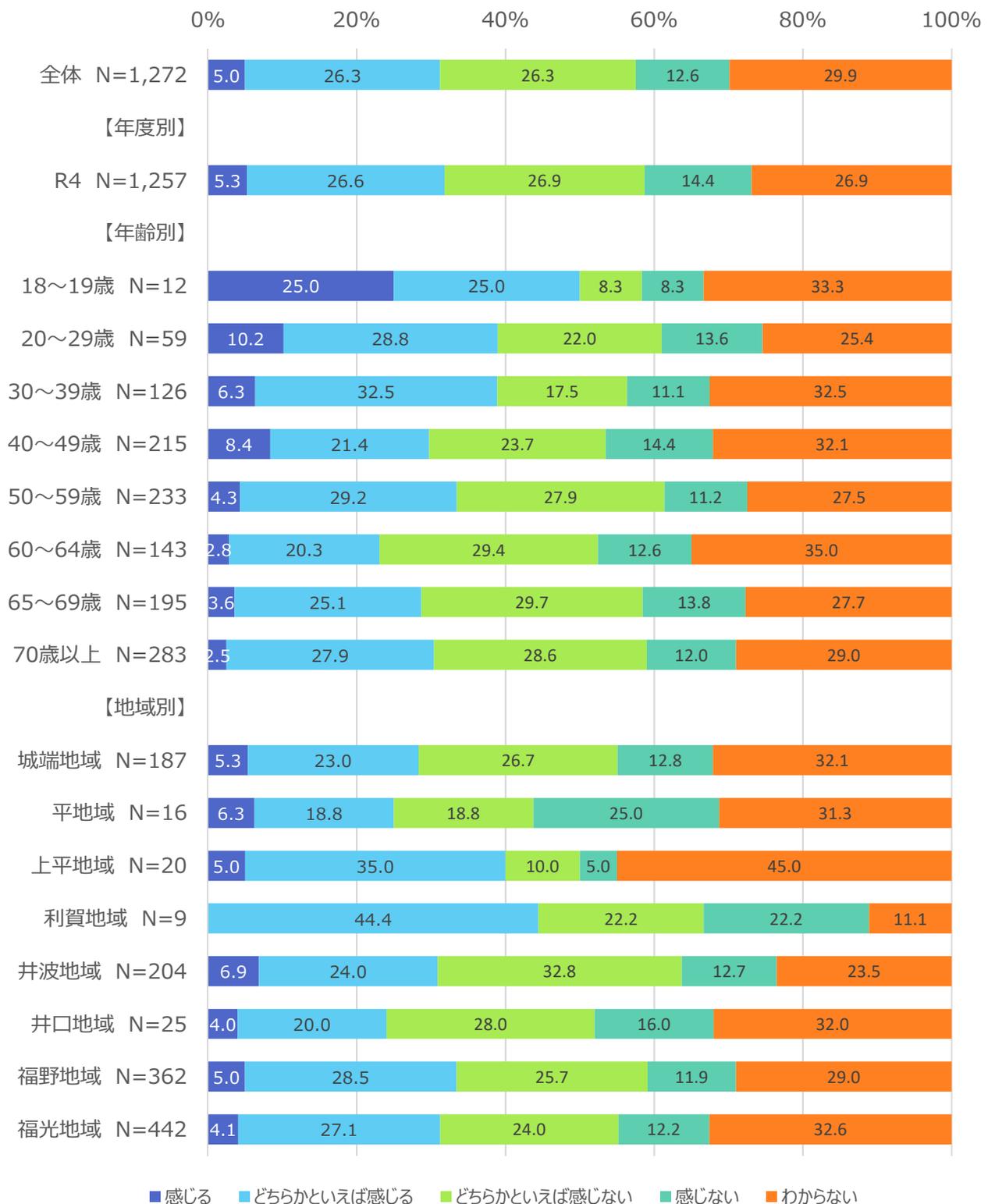
問45 あなたは、南砺市が男性も女性も性別に関わらず生き生きと活躍できる市だと感じますか。

**全体の3割は南砺市が性別に関わらず生き生きと活躍できる市だと感じている。**

南砺市が性別に関わらず生き生きと活躍できる市だと感じるかについてみると、「感じる」が5.0%、「どちらかといえば感じる」が26.3%、「どちらかといえば感じない」が26.3%、「感じない」が12.6%などとなっている。

年齢別にみると、「そう感じる割合（「そう感じる」+「どちらかといえば感じる」）」は年齢が若いほど多い傾向となっている。

図58 南砺市が性別に関わらず生き生きと活躍できる市だと感じるか



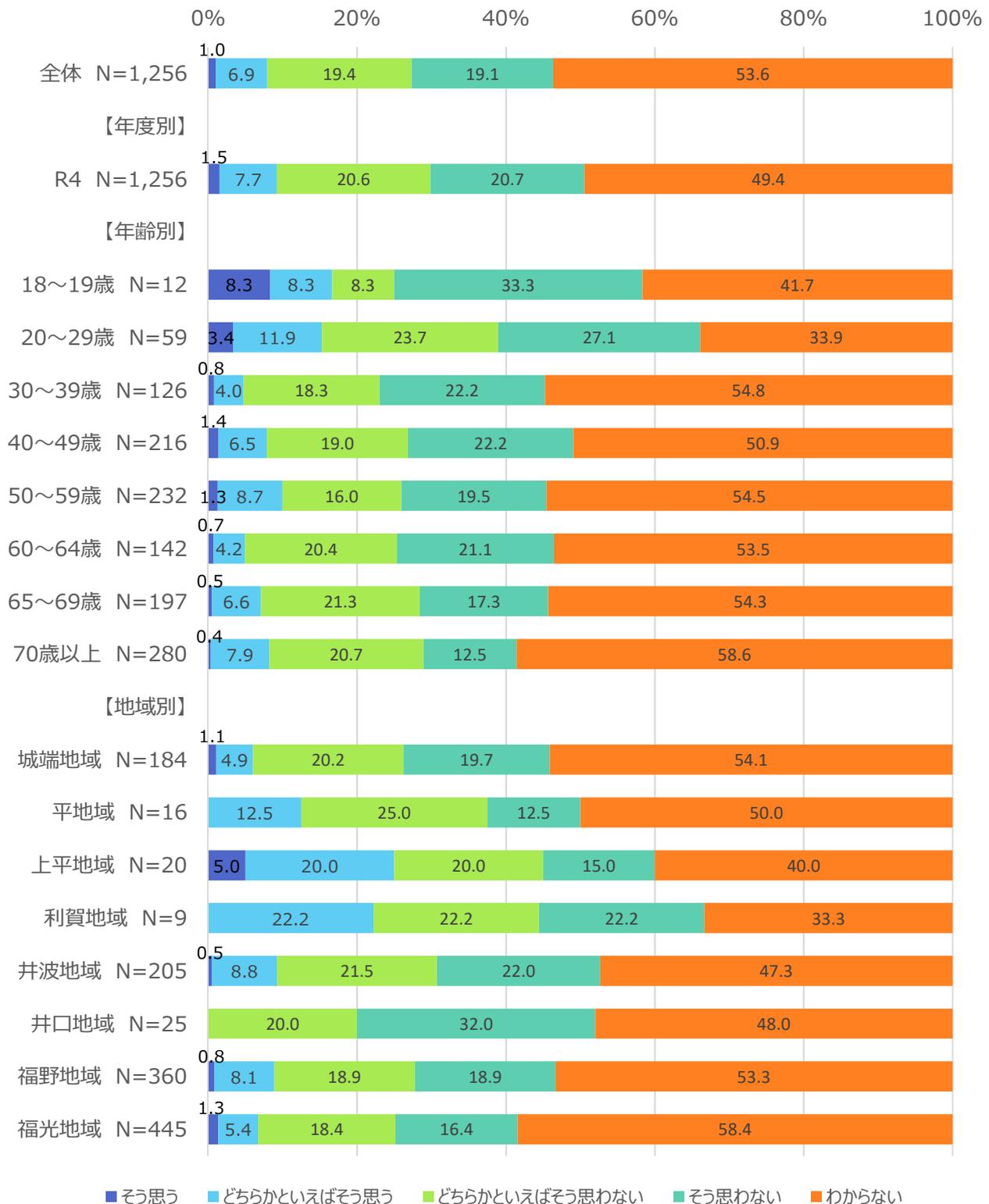
問46 あなたは、南砺市が「ジェンダーギャップ（性別による格差）」の解消に取り組んでいると思いますか。

全体の約4割は南砺市が「ジェンダーギャップの解消」に取り組んでいないと思っている。

南砺市が「ジェンダーギャップの解消」に取り組んでいると思うかについてみると、「そう思う」が1.0%、「どちらかといえばそう思う」が6.9%、「どちらかといえばそう思わない」が19.4%、「そう思わない」が19.1%などとなっている。

また、全体の53.6%が「わからない」となっており、年度別にみると、「わからない」が増加している傾向となっている。

図59 「ジェンダーギャップの解消」への取り組んでいると思うか

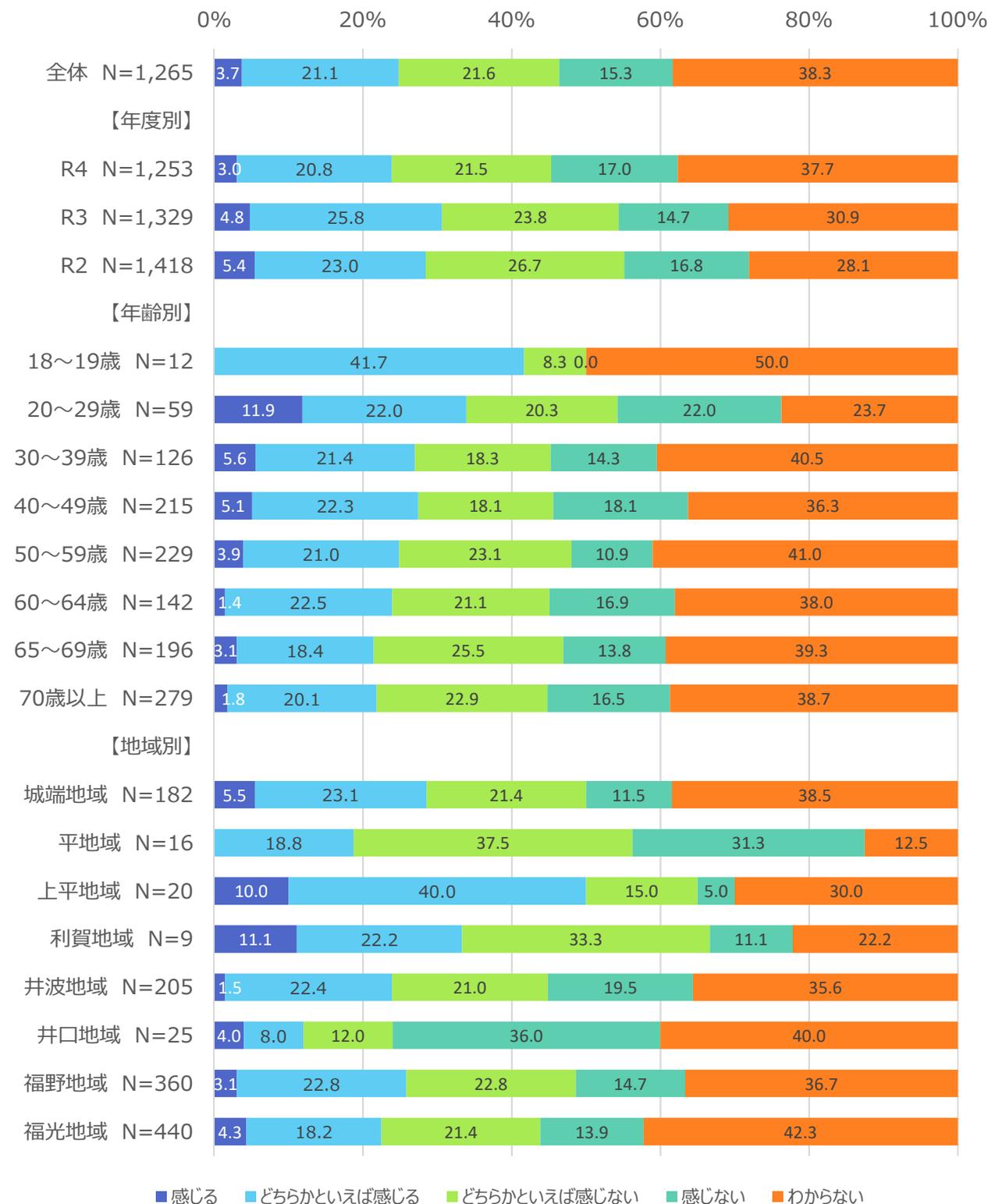


問47 あなたがお住まいの地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じますか。

全体の2割は自分達の地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じている。

お住まいの地域に文化や言語が異なる人々を理解しようとする雰囲気があるかについてみると、「感じる」が3.7%、「どちらかといえば感じる」が21.1%、「どちらかといえば感じない」が21.6%、「感じない」が15.3%などとなっている。

図60 お住まいの地域に文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があるか



問48 あなたは、南砺市が発信している次の情報を利用していますか。利用している場合、それらの内容はわかりやすいと思いますか。

全体の約8割は広報なんとを利用し、利用者の8割が広報なんとをわかりやすいと思っている。  
 南砺市が発信する情報の利用状況についてみると、広報なんとを「利用している」が77.5%、南砺市ホームページを「利用している」が32.8%、南砺市フェイスブックを「利用している」が4.5%、南砺市ラインを「利用している」が2.4%、南砺市ツイッターを利用しているが1.4%となっている。

図61 南砺市が発信する情報の利用状況

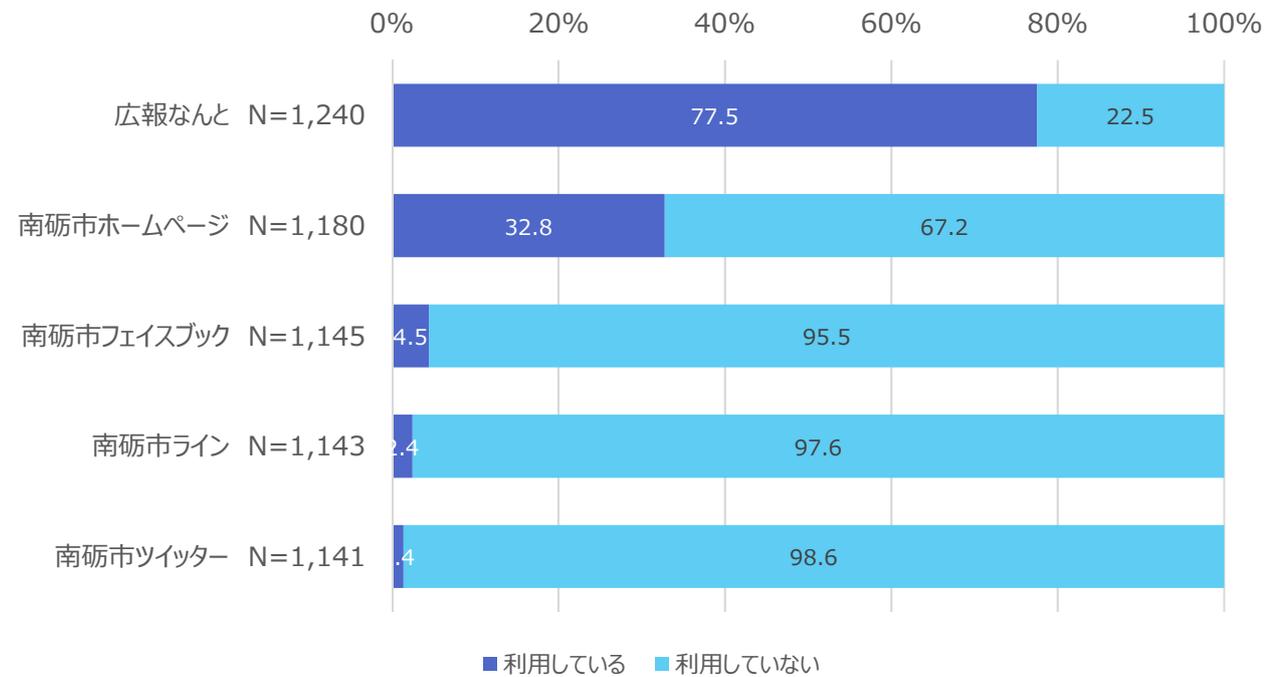
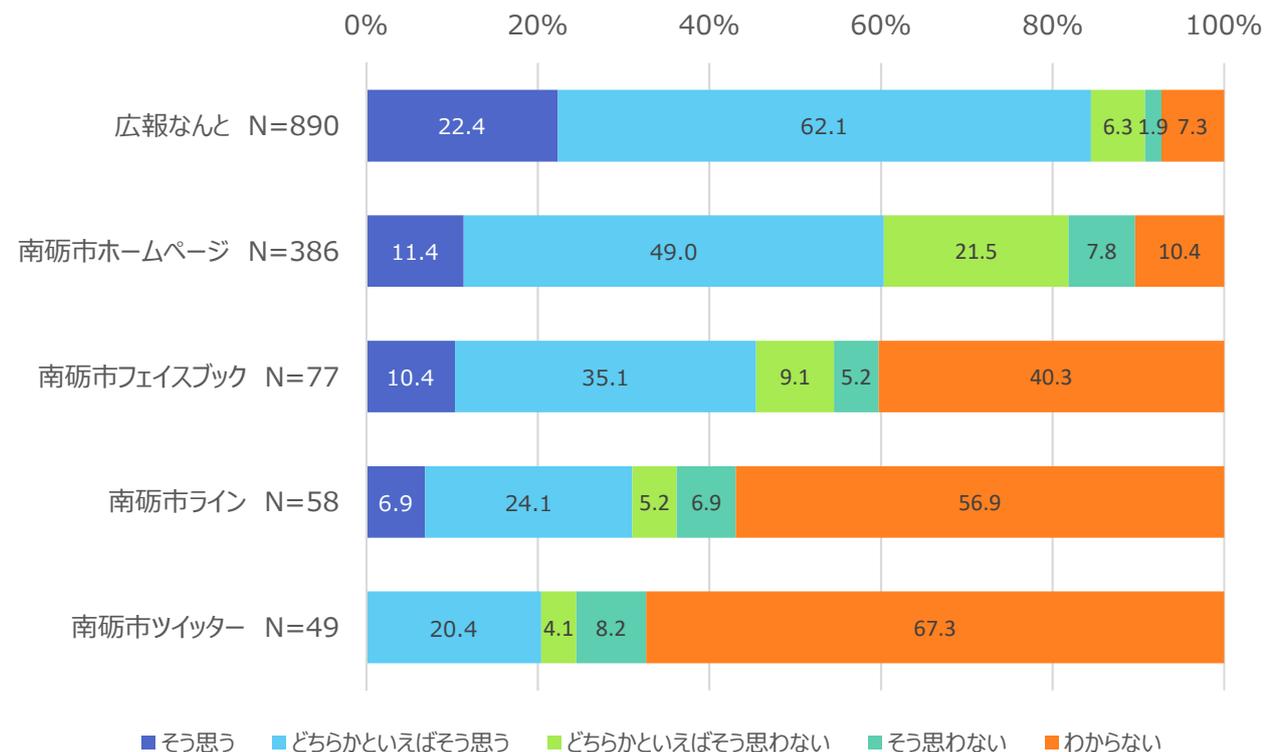


図62 南砺市が発信する情報のわかりやすさ

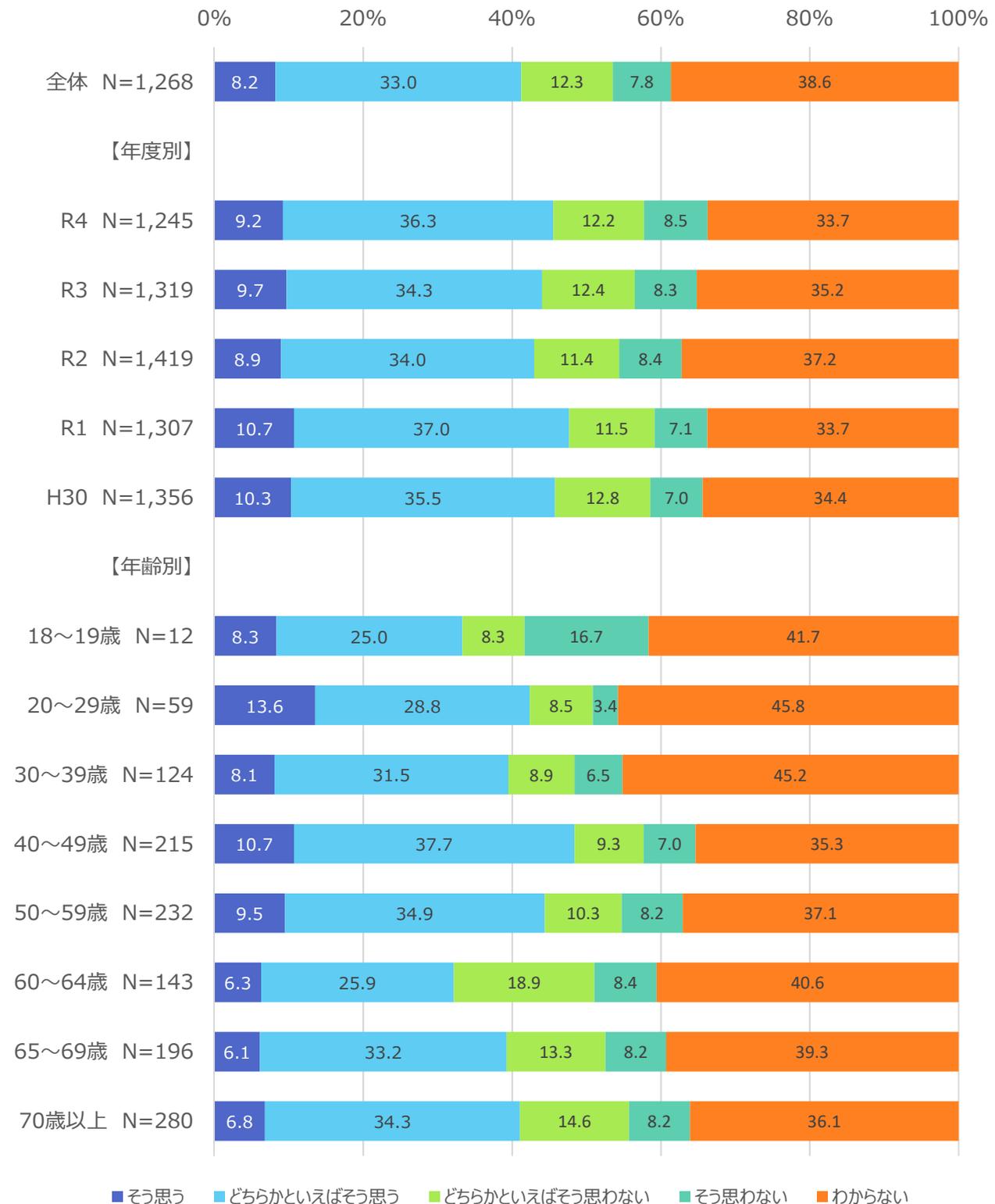


問49 あなたは、南砺市の行政サービス（市役所の仕事）の水準は適正だと思いますか。

**全体の4割は南砺市の行政サービスの水準が適切だと思っている。**

南砺市の行政サービスの水準をみると、「そう思う」が8.2%、「どちらかといえばそう思う」が33.0%、「どちらかといえばそう思わない」が12.3%、「そう思わない」が7.8%となっており、「そう思う割合（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）」が41.2%となっている。

図63 南砺市の行政サービス水準

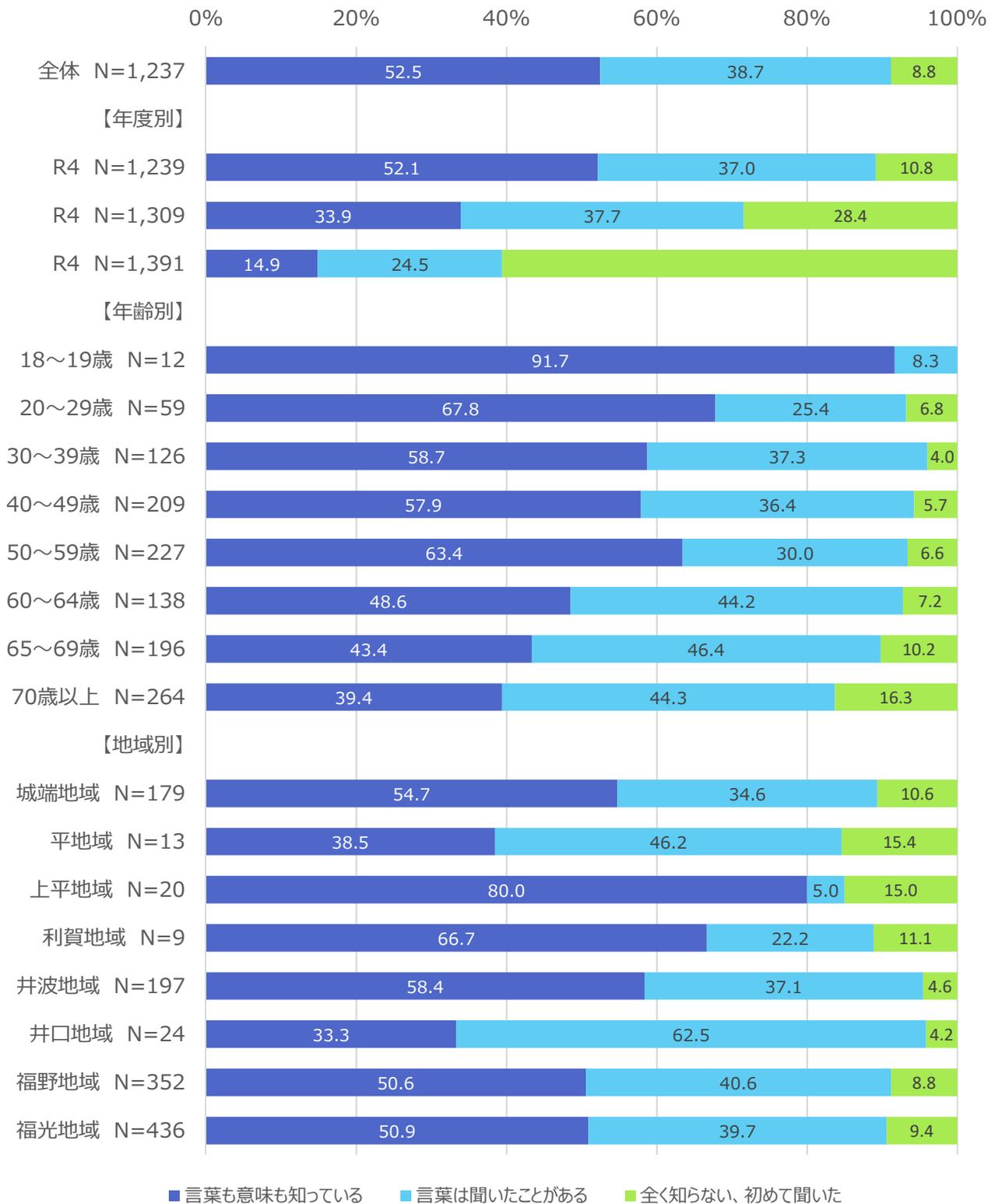


問50 あなたは「SDG s」についてどの程度知っていますか。

**全体の5割はSDG sの意味を知っている。**

SDG sの認知についてみると、「言葉も意味も知っている」が52.5%、「言葉は聞いたことがある」が38.7%、「全く知らない、初めて聞いた」が8.8%となっている。

図64 SDG sの認知状況

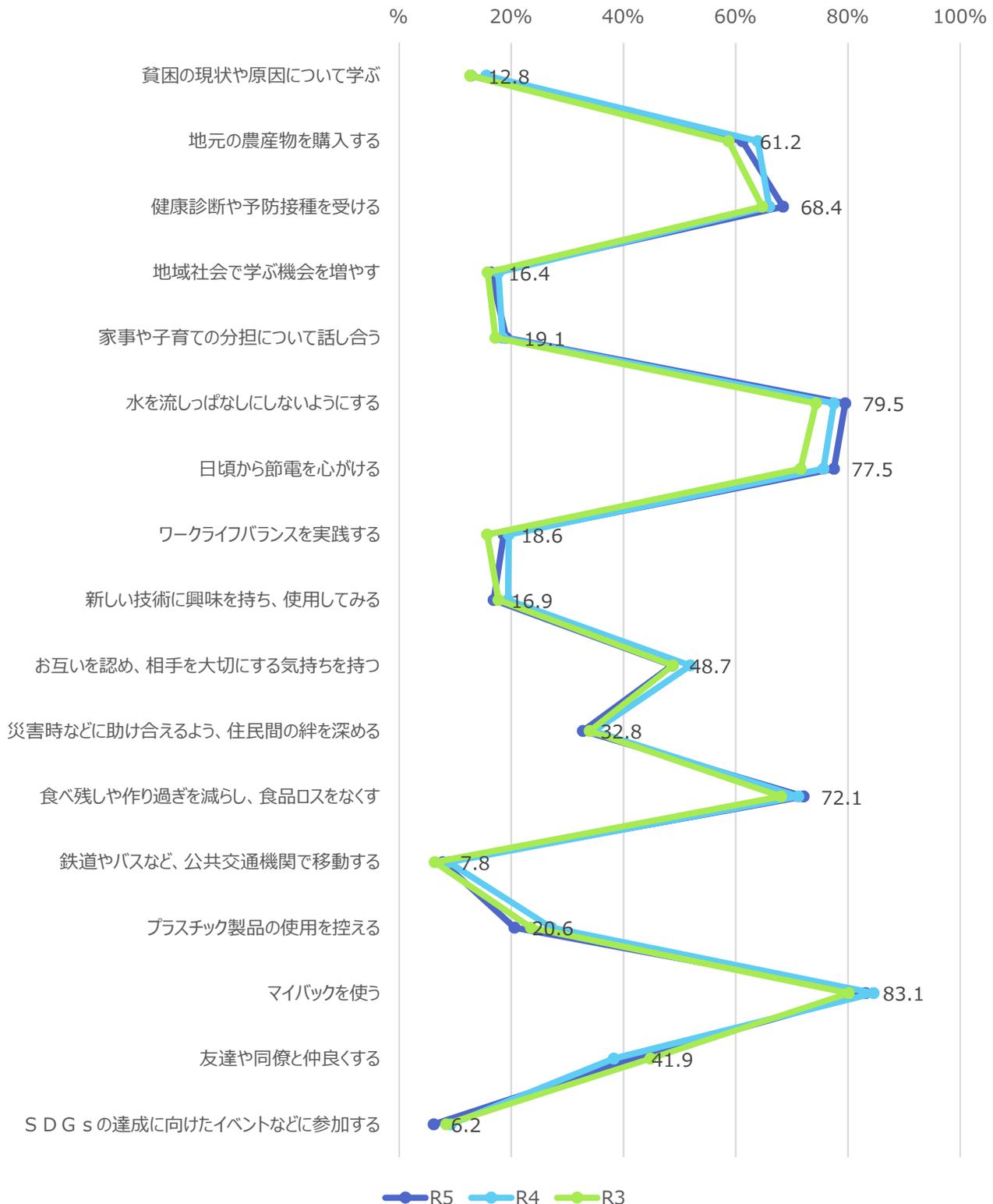


問51 「SDG s」の達成には身近な行動が大切です。あなたが取り組めると思うものは何ですか。

**SDG s の取り組みで最も取り組めると思うものは「マイバックを使う」**

SDG s の取り組めると思うものについてみると、「マイバックを使う」が83.1%で最も多く、次いで「水を流しっぱなしにしないようにする」が79.5%、「日頃から節電を心がける」が77.5%となっている。

図65 SDG s の取り組めると思う行い (MA) N=1,231

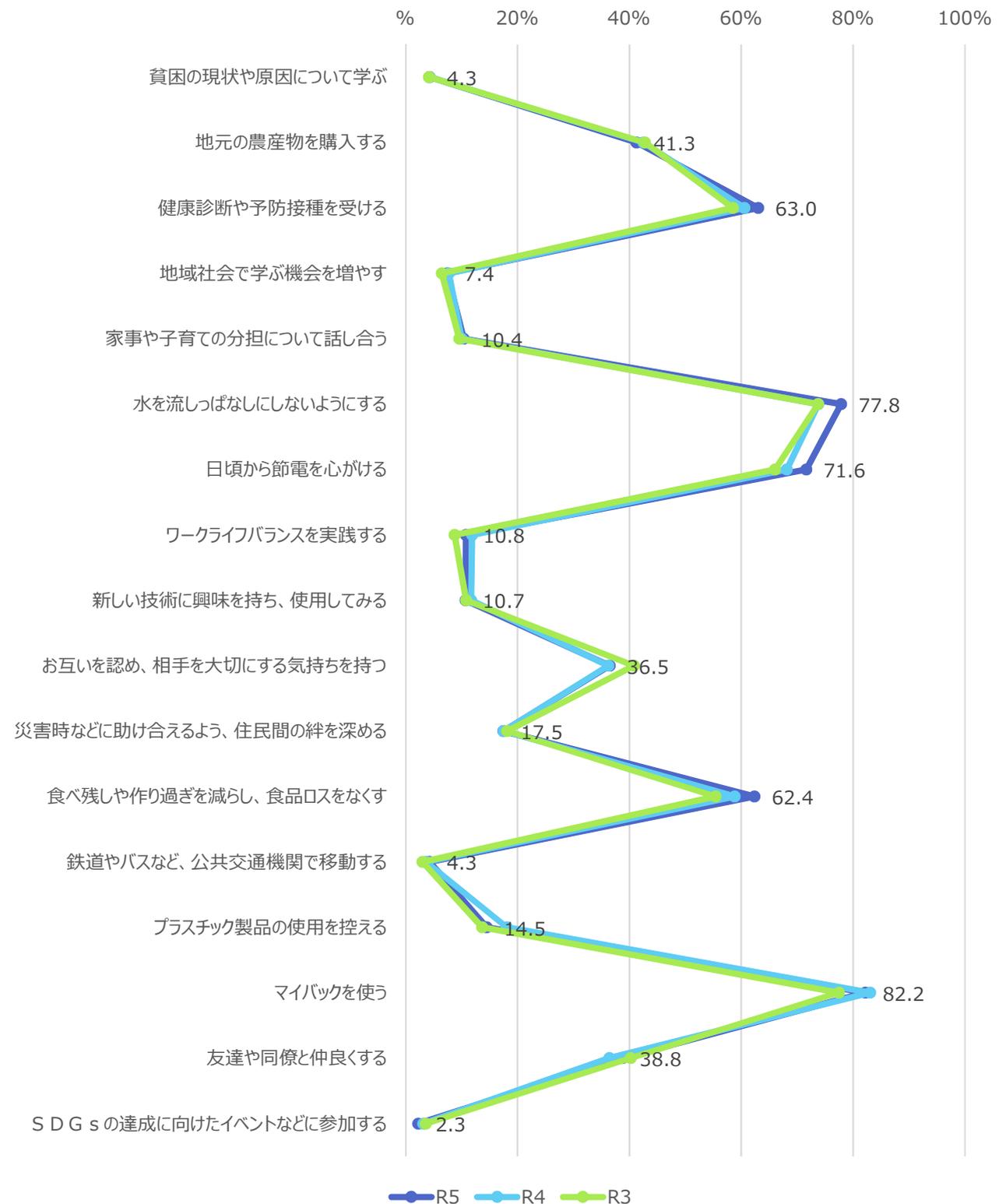


問52 実際に取り組んでいるものは何ですか。

**実際に取り組んでいるSDGsの行動で最も多いのは「マイバックを使う」**

SDGsで実際に取り組んでいる行動についてみると、「マイバックを使う」が82.2%で最も多く、次いで「水を流しっぱなしにしないようにする」が77.8%、「日頃から節電を心がける」が71.6%となっている。

図66 実際に取り組んでいる行い (MA) N=1,227

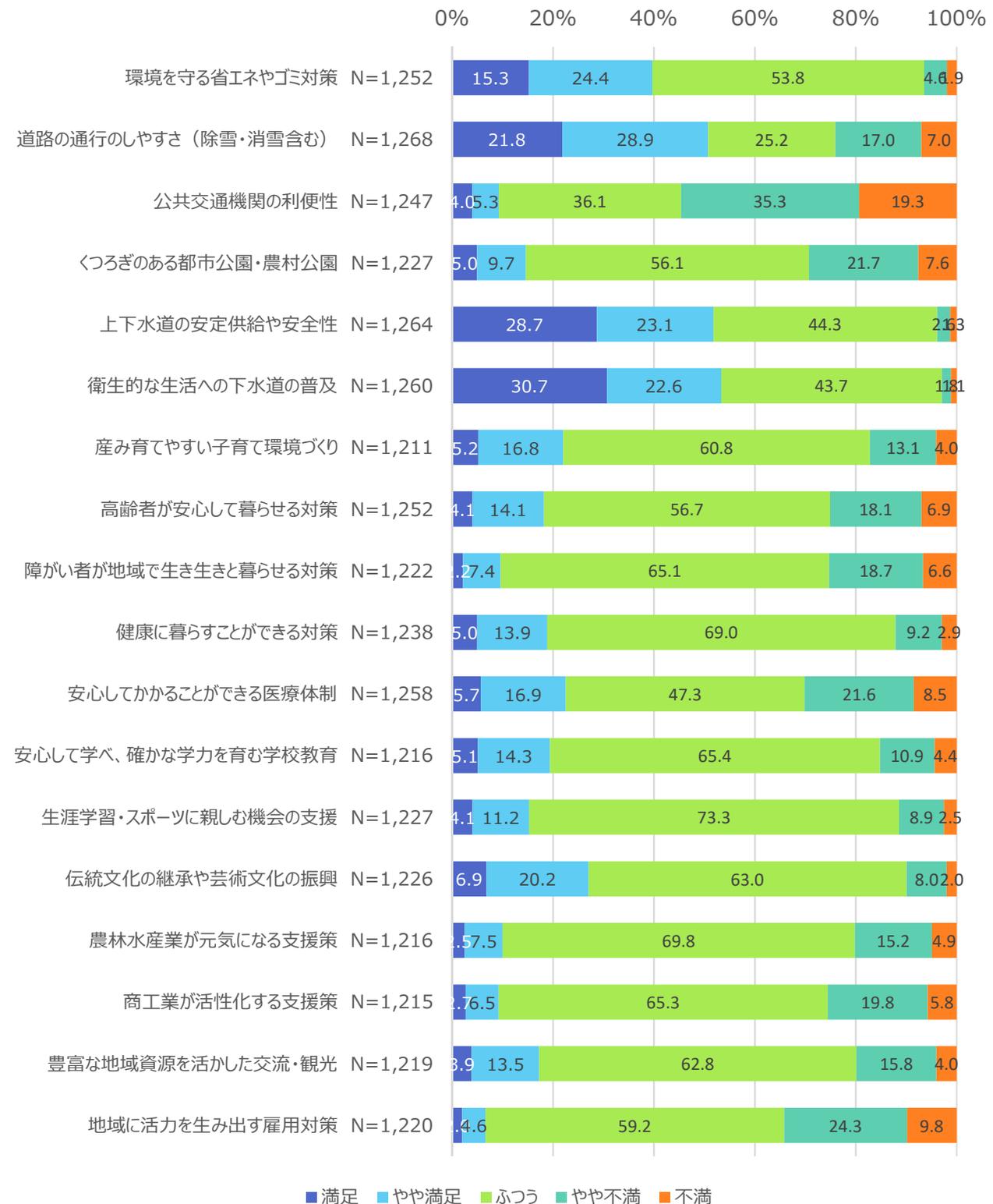


問53 最後に、南砺市の市政への満足度をお聞きます。

**市政への満足度が最も高いのは「衛生的な生活への下水道の普及」**

市政への満足度をみると、「満足」の割合は「衛生的な生活への下水道の普及」が30.7%と最も多く、次いで「上下水道の安定供給や安全性」が28.7%、「道路の通行のしやすさ」が21.8%、「環境を守る省エネやゴミ対策」が15.3%となっている。

図67 市政への満足度



■ 満足度ポイント表示

満足度が最も低いのは「公共交通機関の利便性」となっている。

満足度の割合から算出したポイント（5点満点）をみると、「衛生的な生活への下水道の普及」が3.800ポイントと最も高く、次いで「上下水道の安定供給や安全性」3.754ポイント、「環境を守る省エネやゴミ対策」が3.466ポイントとなっており、一方で「公共交通機関の利便性」が2.394ポイントと最も低くなっている。

図68 満足度ポイント

順位	項目	ポイント
1	衛生的な生活への下水道の普及	3.800
2	上下水道の安定供給や安全性	3.754
3	環境を守る省エネやゴミ対策	3.466
4	道路の通行のしやすさ（除雪・消雪含む）	3.416
5	伝統文化の継承や芸術文化の振興	3.220
6	健康に暮らすことができる対策	3.089
7	産み育てやすい子育て環境づくり	3.060
8	生涯学習・スポーツに親しむ機会の支援	3.055
9	安心して学べ、確かな学力を育む学校教育	3.049
10	豊富な地域資源を活かした交流・観光	2.973
11	高齢者が安心して暮らせる対策	2.903
12	安心してかかることができる医療体制	2.897
13	農林水産業が元気になる支援策	2.875
14	くつろぎのある都市公園・農村公園	2.828
15	商工業が活性化する支援策	2.807
16	障がい者が地域で生き生きと暮らせる対策	2.800
17	地域に活力を生み出す雇用対策	2.647
18	公共交通機関の利便性	2.394

■ 満足度ポイントの計算方法

$$\frac{[\text{満足}(\%)] \times 5 + [\text{やや満足}(\%)] \times 4 + [\text{ふつう}(\%)] \times 3 + [\text{やや不満}(\%)] \times 2 + [\text{不満}(\%)] \times 1}{100}$$

※少数第4位を四捨五入している

### Ⅲ 自由意見集計

#### 1. 意見分類一覧

回答いただいたご意見を次のように分類しました。

主な分類	件数
医療	10 件
教育	11 件
公共交通	20 件
子育て	31 件
情報発信	11 件
人口対策	27 件
生活環境	22 件
地域・伝統	6 件
地域間の差	15 件
道路	25 件
農林業	6 件
福祉・介護	5 件
防災	5 件
商工業・雇用	13 件
窓口・職員等	33 件

## 2. 意見詳細

ご意見の概要は次の通りです。

分類	主な意見	件数
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 医療の充実が欠けていると思います。病院も市街へいつも行っています。(20代)</li> <li>▪ 内科が減ってきているような気がします。かかりつけ医にするには、選択肢がなく困っています。(30代)</li> <li>▪ 皮膚科の病院を増やしてほしい。(30代)</li> <li>▪ 南砺市民病院に入院しています。汚い病棟に大変不満です。(40代)</li> <li>▪ 南砺市中央病院の小児科の午後の外来がなくなるととても不便です。(40代)</li> <li>▪ 小児科病院が少ないと思います。(40代ほか)</li> <li>▪ 他市の医院へ働きに行っていますが、以前は南砺市の医院で勤務していました。特定健診、予防接種等市職員の方がかけずり回って医院や、提供している業者さんがやりやすい様にされてたんだなあと、つくづく南砺市は良かったなと思いました。患者さんにしても分かりやすかったと思います。他市は説明は書類のみとか、まとめて市役所でしますとかで採血の結果は医院から患者さんへ渡すとか大変です。あたり前と思ってた事がこんなにも違うと分かりました。南砺市の職員さん、関係者さん本当にありがとうございます。これからも大変だとは思いますが、よろしく願います。お年寄りにとってはありがたい事だと思います。(50代)</li> </ul>	10

分類	主な意見	件数
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 中学校の部活動の選択肢が少ないです。地域移行となる時に入学する子は不安だと思います。(40代)</li> <li>▪ 中学校の合併・併合を検討してほしい。(40代)</li> <li>▪ 高校生社会人に対するひきこもり支援を充実してほしい。現在高校に通えない子供がいるが学校以外にどこに相談してよいかわからず、不安で押しつぶされそうです。もしできるならば引きこもりでも安心して働ける場、相談できる場、同じような立場の人が集まって学習出来る場などがあれば教えていただきたいです。(40代)</li> <li>▪ 中学校では、働き方改革という名で「部活動の地域移行」を進めているが、元々、部活動は、中学校が実施する課外活動であるから、地域移行したら、部活動ではないはず。地域移行などごまかさず、子供たちのために行っている地域の活動に対して、もっと幅広く、施設の利用料の補助や減免措置を行うべきだと思います。(50代)</li> <li>▪ 部活動の拠点校化などせずに、国が適正としている1学年3クラス以上の学校に統合すべきだと思います。(50代)</li> <li>▪ 自分の孫世代が高校に通うとなった時、南砺市に住んでいると選択肢がありません。そんな意味で南砺市から出たいと思っています。教育環境が不安です。(50代)</li> </ul>	11

	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 人口減になっても小学校、中学校の合併が進んでいません。義務教育学校などつくり、学校数を減らす事を考えてもらいたいです。(60代)</li> <li>▪ 小学生のスクールバスの乗れる範囲を6年生まで乗れるように、1キロメートル以上なら乗れるようにしてほしいです。子供が歩くのが大変なので父兄が車で送り迎えをしています。(70代)</li> </ul>	
--	---	--

分類	主な意見	件数
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 公共交通機関（電車・バス）を利用したいが本数が少なく、電車とバスの時間が合いにくい事で結局使用頻度が減ってしまいます。(20代ほか)</li> <li>▪ 近隣市と比較し、交通機関の整備、車が運転できない障がい者、高齢者等に対するサービスが不足しています。(30代)</li> <li>▪ 高齢者の運転が危険と感じる場面が多いです。乗り合わせシステムなど、若い人の力をかりて、改善してほしい。(30代)</li> <li>▪ 交通の便が悪いです。(40代)</li> <li>▪ 公共交通機関として、駅が主体になるかと思いますが、駅前に飲食店など少なく、駅前の活用が必要です。飲食だけでなく、駅のロッカーを宅配便の引き取り場所として使えないでしょうか。(40代)</li> <li>▪ 車がなくても移動に困らず便利に暮らせるようになることを希望します。(40代)</li> <li>▪ 国道156線沿いに住んでいると、高校生も公共交通機関が全くないため親が送迎しています。子供が一人で行き来できるとずっと南砺市に住みつけられると思います。(40代)</li> <li>▪ 市営バスなど公共交通のダイヤ設定が所要時間を重視しすぎていて、ダイヤに余裕がなさ過ぎていると思います。乗り継ぎ時間が少なすぎて機能不全となっています。利用者が重視するのは安全な運行と出発地と目的地の時間の正確性であり、必ずしも早く到着することが最優先ではないと思います。(40代)</li> <li>▪ 自転車も乗せて走れる公共交通機関があれば運動にもなるし、片道使用だけでも公共交通機関の利用者も増えると思います。(50代)</li> <li>▪ 昨年度まで息子が南砺福野高校に通っていましたが、南砺市のバスを通学に使えるとよかったです。時間帯が合わずに使えませんでした。雨の日や雪の日は自家用車で送りむかえが必要となり、バスを有効活用できるといいなと思いました。(50代)</li> <li>▪ 高齢者の為の市内循環コミュニティバスの運行をしてほしい。(60代)</li> </ul>	20

分類	主な意見	件数
子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 市長や、市の子育てにかかわる人と、子どもたちの交流の機会があると良いです。(20代)</li> <li>▪ 公園など子どもが遊べる所がもっとほしい。子どもの遊び場が少ないです。(20代ほか)</li> <li>▪ 育休中に南砺市から半年に一回ほど給付金ができればいいと思います。(30代)</li> <li>▪ 生みたくても自然妊娠できない夫婦がたくさん身近にいますので、不妊治療の助成をしてください。(30代)</li> <li>▪ 子供を産み育てたいと思い、不妊治療を始めていますが、南砺市には産科・不妊治療を受けられる病院がなく、仕事を抜けて遠方の病院に通わなければならないのが心身共に大変です。(30代)</li> <li>▪ 産後ケア施設が近くにありません。富山市にある産後ケア応援室を利用したかったが、呉西の人は利用できないと言われ、呉西エリアであれば良いなと思いました。(30代)</li> <li>▪ 子供の衣類や用品が買える場所がありません。(30代ほか)</li> <li>▪ 南砺市内の公園を子供とよく利用するのですが、かがやき保育園の横にある緑地公園の回りに柵をつけてほしい。(30代ほか)</li> <li>▪ 保育園児は本当に子供が好きな方に見てもらいたい。定年後のお小遣い稼ぎと思って働いている人には遠慮していただきたい。(30代)</li> <li>▪ 保育園で働く保母さんが南砺市で一番、行政サービスを行なっていると思います。やりがいの搾取にならないように保母さんの待遇が良くなるようにならないでしょうか？保母さんが居ないと一億総活躍とやらは上手く行かないと思います。(40代)</li> <li>▪ 乳幼児に対して手厚い施策が多いが、お金がかかるのは中学生以降です。(40代)</li> <li>▪ 親の共働きが当たり前になっている今、親の都合で、スポーツを我慢している子もいると感じるため、スポ少の送迎等を市で行う体制があると嬉しいです。(40代)</li> <li>▪ 学童保育を6年まで利用できるようにしてほしいです。学校が終わってから、上の子の居場所がなくて、本当に困っています。何故6年まで使えると書かれているのに利用できないのでしょうか？有料でもいいから使いたいくらい切実です。(40代)</li> <li>▪ 産科がなく地元でお産できません。(60代)</li> <li>▪ 福野の旧前川呉服店での夜間保育の話を目にしましたが、対象の時間19時から24時は夜の商売の人が対象ですか？どのような方を想定してのことかわかりません。(60代)</li> <li>▪ 子どもの権利条例の取り組みは素晴らしいと思います。子どもの基本的人権が守られ、生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利が具体的に支えられるように、大人一人ひとりが意識していくことの大切さを感じています。絵空ごとにならないための具体的な取り組みを期待しています。(70代)</li> </ul>	31

分類	主な意見	件数
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 南砺市に住んでいて不都合はありません。南砺市をもっと深く知りたいと思います。南砺市の魅力をもっと PR してほしいと思いました。(30 代)</li> <li>▪ 市外から結婚を機に南砺へ引っ越してきました。南砺にはよいイメージをもっていました。実際に住んでみて、住みやすい土地だと思っています。ただ、私自身地元の人とのつながりがほとんどないので(職場も市外)、もっと色々な情報が知りたいです。(30 代)</li> <li>▪ 無利子奨学金について積極的にアナウンスしてほしい。(40 代)</li> <li>▪ 南砺市のシンボルは何でしょうか? 以前、知人(他県の)から質問された時、すぐに答えられず世界遺産のある五箇山? 井波の彫刻? とかと答えたような。南砺市は何を掲げて、何を目指してという目標があればよりよい市政ができるのではないかと思います。(40 代)</li> <li>▪ 南砺市の資源の有効活用と地域住民の利益や幸福のためにアイデアや情報を知らせてほしいです。(50 代)</li> <li>▪ 南砺市の広報と一緒に大量の紙が配布されます。広報以外は直ちにやめて資源を大切にしましょう。できれば、広報もホームページのみで必要な人は、事前に申し込みをし、配布数を減らすとよいと思います。(60 代ほか)</li> <li>▪ 「誰一人取り残さない」の言葉だけでは、誰かがやってくれる感を抱かせます。誰一人取り残されない、意識を普及すべきです。人任せの気分では取り残されます。取り残されないために!と声掛けすべきです。(70 代)</li> <li>▪ デジタル化についてよく分かりません・・・高齢者にとってはついていけません。(70 代)</li> </ul>	11

分類	主な意見	件数
人口対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 人口が減少傾向にあるので、他から人が移住してくるような政策や助成制度など積極的に推進してほしい。(20 代)</li> <li>▪ 子供向けや家族向けの支援を充実させないとい今後新しい住民や子供連れの住民が南砺市に流れて来ることはないと思う。(20 代)</li> <li>▪ 県や他の市町村と足並みをそろえる必要はないと思います。すべての医療、福祉サービスを南砺に置く必要もないと思います。南砺独自の良さを、国内、海外にどんどん広めていただければ、自然と、若者をはじめ多くの人が集まってくると思います。(20 代)</li> <li>▪ 空き地の活性化の市民意見交換には若者世代の意見は必ず入れた方がいいと思います。高齢世代もいいが、これから先の人の意見を取り入れるのが重要だと思います。あまり魅力に感じるものがありません。(30 代)</li> <li>▪ 高齢者の死亡といった要因もあると思いますが、結局のところ買い物にしてもどこかに遊びに行くにしても利便性を考えた時に近隣の市が魅力的に映るのだと思います。若い世代は余程でない限り残ろうとはしないのではないのでしょうか。予算で U ターン移住者に応</li> </ul>	27

	<p>援金をと掲げられています、人口流出が起こっている対策になり得るのか半信半疑です。(30代)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 魅力ある市にして、若い女性が一旦県外に出ても、また戻って来たいと思うようにするためには、日本一の田舎 + αがないと、第二の人生を求めてゆったり老後を過ごされたい老夫婦ばかりに人気の市になるような気がします。(40代)</li> <li>■ 高齢化がすすんでいるからこそ、若い人達に U ターンしてもらい、仕事と子育てがしやすいように、バスの停留所を増やし、子どもだけでバスに乗り、学校やスポーツ少年団に行けるようにするとか。(40代)</li> <li>■ 平日昼間にスーパーへ行ってもほぼ年配者しかいなく、町に活気がなく感じます。このまま衰退するのではないかと思う。閉鎖的な土地柄で年配者に住所を言っても旧何町か聞かれる。合併して20年たち、他市から引っ越した者にとっては旧何町かわからないし、どうでもよいことです。移住政策に力を入れているようだが、今住んでいる人たちが魅力的だと感じる事がないと、人口は減っていくと思います。(40代)</li> <li>■ 無駄なイベントや地域活性化などは縮小し産業の活性化に注力してほしい。選択と集中により老人重視ではなく、次世代への投資してほしい。(40代)</li> <li>■ 南砺市に、店やアパートなど増えてきています。地域に活力を生み出す為なのか、人口を増やすためなのかは分かりませんが、今後増えすぎるのも問題だと感じます。豊かな自然をアピールしている割に、土地を開拓し、自然が少なくなってきました。福光のだまし川のホテルも、ほとんど見ることもなくなりました。家が増え、ホテルも生息できなくなってきたのではと思います。(40代)</li> <li>■ 南砺市の人口が減っていくのを食い止めるための努力が見えません。若い人たちの流出を止めるために住宅の補助など必要でないでしょうか。(50代)</li> <li>■ 少子化対策として市民が南砺市で子育てを継続していくには限界があります。やはり移住者を増やしていくことにもう少し力を入れるべきではないでしょうか。子育ての保育料・教育費などの補助・援助、住まいの助成、中古物件の安価販売・家賃の援助、レンタルものの貸し出し(利用料金援助) 枠にとらわれない南砺市オリジナル教育など。(50代)</li> <li>■ 日本一の田舎など馬鹿な公言を行わず、都市部から積極的に U ターン者がもどれる地域とする事です。移住者増ではなく、南砺市出身者が帰れる地域とする事が大事です。(50代)</li> <li>■ 金沢市等との交流人口を増やす施策を異次元的に実践することで、南砺市はもっと活気ある市に出来るはずです。(60代)</li> <li>■ 県外からの移住者への支援はいいが、地元にいる者への支援が少ないです。(60代)</li> <li>■ 子供さんの結婚で親の敷地内や隣の地面での新居を建てられた方が区長さんに、一戸の扱いをして欲しいと申し出をしたが、前年の町会長や区長さんがダメだと言っていて・・との返事であったとのこと。ほかの新築を考えておられた若い人たちが、こんな理解のない地域はいやだと言われて結局砺波で新築されて親も老いていくので若い人のところ</li> </ul>
--	---

	<p>へ早めに行きますと言っておられます。人口減少や空き家を止めるためにも地域の人の考えも変えなくてはと思います。(60代)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 若い人たちがどのように考えたり感じたりしているかを吸い上げ、それを行政の少子化対策に反映していくことが必要ではないでしょうか。その意味で、高校生やヤングアダルトの意見を聞く会などを各地域で今後もさらに積極的に開催していくのはどうでしょうか。(70代)</li> </ul>	
--	--	--

分類	主な意見	件数
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 子育て中に近所の野焼きに困ったことがありました。(20代)</li> <li>▪ 資源ゴミの時間が早すぎます。(30代)</li> <li>▪ 野焼きが多いです。広報誌のみならず、メール配信などで野焼き禁止と呼びかけてほしい。(40代)</li> <li>▪ 道路に街灯が少ないので防犯、事故対策の為にも増やしてほしい。(50代)</li> <li>▪ SDG s については、あまりお題目(国際目標とされるもの)に振り回されずに、南砺市オリジナルの施策を考案し進めていってほしい。(50代ほか)</li> <li>▪ ゴールデンウィークにごみが収集されないのは、とても困ります。来客が多く、生ごみが出るのになんとかならないものではないでしょうか?(60代)</li> <li>▪ 木のごみ収集が年に2回ですが通年にしてほしい。(60代)</li> <li>▪ なかなか野焼きがなくなりません。困っていても(洗濯、呼吸など)、なかなか中止が言えない地域性があると思います。(60代)</li> <li>▪ 屋敷林の管理 落葉、枝等の廃棄方法は燃やさず袋に入れての処分は難儀です。今は年2回の無料回収ですが、回数を増やす事と近くでの提供を要望します。(70代ほか)</li> <li>▪ 交通量の激しい交差点付近の田んぼにあき缶やペットボトル、ビニールの袋、空箱などのポイ捨てが多くあり困っています。(70代)</li> </ul>	22

分類	主な意見	件数
地域・伝統	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 祭りや地域の行事は大事なものではあると思うが、不参加の自由ももっと尊重されるべきだとは思いますが。田舎ならではの地域のイベントに強制参加しなければいけないという空気感を嫌がって移住してこない人もきっといると思います。(30代)</li> <li>▪ 5月の曳山が大変。町的にも負担なので盛大に毎年、お祭りをするのをやめてほしいです。(50代)</li> <li>▪ 若いころ地元を離れて進学し30代前に帰ってきてやっぱり生まれ育った所は素晴らしいと年を重ねるたびに思います。豊かな自然と豊かな人間関係に囲まれて生きていくことが本当にありがたいと思います。(50代)</li> <li>▪ 皆が個々を大切にしながら思いやりの心で思いあいながら皆が日々優しく穏やかに過ごせたらと願います。(50代)</li> </ul>	6

	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ これからも南砺市のよさを守っていくためにも、若い人だけでなく、私達の世代や高齢者の方も一体となって、知恵を出し合って地域づくりを進めていく、必要があると思います。(50代)</li> <li>▪ 今はこの地が一番です。(60代)</li> <li>▪ 地域の係になってやっと市政や地区の組織が少し見えてきます。働くことで忙しく自身にかかわりのないことは自ら進んで興味を持たなければ知らないことが多く、このアンケートの質問も答えようがないものがある。(60代)</li> </ul>	
--	---	--

分類	主な意見	件数
地域間の差	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 利賀地域に子供が自由に遊べる場所(児童館や公園、支援センター)がなさすぎます。公園に行くために、車で1時間以上かかるため、とても不便を感じています。また図書館が機能していません。利賀での子育てについて、不便な面が多くあるので、積極的な市の介入をお願いします。(30代)</li> <li>▪ 平地域は人手不足で高齢化がとてもしんどいです。地域で何かしなくてはいけないのはわかりますが、行政が介入していただきたいです。子ども広場の送迎、スタッフ、行事の時のスタッフはいつも同じ人がしています。(40代)</li> <li>▪ 南砺市内の学校教育の格差を感じます。人数の少ない学校の方が手厚いです。(50代)</li> <li>▪ 井口地区には、他の地区にあるような、学童や児童センターがありません。(50代)</li> <li>▪ 一部権力者がいる町(県議、市長、市議等)地域と、そうでない地域の道路、土地改良等の整備が違いすぎます。不平不満があります。(50代)</li> <li>▪ 箱物があれば良いと言う老人の考えを尊重せず、公共施設の整理・総合を進め、旧町村のしがらみを切ってほしい。(50代)</li> <li>▪ 福光に福野のように目玉になるようなホールが無いのは寂しいです。(60代)</li> <li>▪ 8市町村が、合併して「南砺市」になりましたが、未だに旧市町村の意識が抜けてなくて、地域格差があり、纏まりがないような気がします。南砺市全体で盛り上がる行事が有れば良いと思います。(60代)</li> <li>▪ 8つの町村が合併して作られた市だからか、行政の各種の手続き等がバラバラしていて不便性を感じます。福光に庁舎があるのは、田舎へ向かって行くようで利便性をもっと良くして欲しいです。(60代)</li> <li>▪ 消雪の地域差が大きいです。(60代)</li> <li>▪ 小規模多機能自治を進めてこられました地域により差があると思います。(60代)</li> </ul>	15

分類	主な意見	件数
道路・除雪	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 歩道を広くしてほしい。(20代)</li> <li>▪ 昨年度の除雪で、アパート駐車場出入口が意図的と思える程の塞がれ方がされていました。(30代)</li> <li>▪ 古い道では融雪の水がでる孔が塞がっている場所があるので、市民の意見を聞きながら一度点検して頂きたい。(30代)</li> <li>▪ 冬季、小学生が登校する前に歩道の除雪を優先にして欲しいです。(30代)</li> <li>▪ 能越道のように南砺スマートインターもジャンクション含め無料になると利便性があがり、今より往来が増えると思います。(40代)</li> <li>▪ 冬の雪どけ水をどこかにためておいて、夏に融雪装置から流して打ち水効果を利用して涼しく過ごせるようになったらいいなと思います。(40代)</li> <li>▪ 南砺市は除雪に力を入れているとほかの地域の方からはよく言われますが、一つ中に入ると(住宅地)私道のため・と言われて消雪装置を設置できない状況です。私道だからと言わずにほか数件の住宅があれば私道から公道に転換していただき対応していただきたいと思います。(40代)</li> <li>▪ 昔に設置された道路標識や白線が色あせてわかりづらいものがあります。(止まれや速度制限の標識など) 見やすくするためにも費用はかかるが更新したらどうでしょうか。(40代ほか)</li> <li>▪ 冬の除雪車ですが、除雪を始める時間って午前3時頃からなのでしょうか？3時からだと遅すぎるので、もっと早く除雪車を走らせてほしい。(50代ほか)</li> <li>▪ 積雪時、早くからきれいに除雪していただき、大変感謝しております。にもかかわらず、除雪された雪の固まりが車庫の前にあると、その片付けに時間がかかり、思わずやや不満に丸をつけました。すみません。(50代)</li> <li>▪ 道路の消雪対策のため井戸を掘るのは、道路の消雪のためにはいいが、家庭の井戸が枯れて大変迷惑しています。これ以上自治体による井戸掘りは即刻止めてもらいたい。(70代)</li> <li>▪ 南砺市の除雪は本当に素晴らしい。自慢できる除雪ありがたい。他の市へ行き南砺市に帰ってくるとほっとします。(70代)</li> </ul>	25

分類	主な意見	件数
農林	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 最近クマの出没範囲が平野部まで広がっているので心配です。(30代)</li> <li>▪ 農家ですが正直子供たちはやる気がありません。だから戻ってくることを望まず、仕事も本人が思うようなところがなく困っています。(40代)</li> <li>▪ オーガニック農業・給食にもっと力を入れてほしい。日本でもオーガニック給食をしている市もありますが、韓国も導入されてオーガニック農家さんの収入や雇用が安定したと聞いたことがあります。(40代)</li> <li>▪ 国で農地山林を引き取る法令が発足しています。高齢化により耕作できなくなった田んぼ、山林を国庫へ返納する支援策の実施してほしい。(60代)</li> <li>▪ 砺波市の田んぼと比べ、あぜの面積が大きいので、除草シートを貼る費用を考慮して頂きたい。(60代)</li> <li>▪ 水田の耕作放棄地がどんどん増えていますが、将来どうなるのか不安です。市として何か対策はありますか？(70代)</li> </ul>	6

分類	主な意見	件数
福祉・介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 南砺市の高齢化は社会問題であり、介護の人材、また看護の人材不足が現場では早急に確保が必要となっています。市をあげて、人材育成、確保をもっと危機感を持ち行うべきではないでしょうか？(30代)</li> <li>▪ 地元で介護系の資格をとれるようにしてほしいです。又資格を生かされるような学びの工夫をお願いします。(40代)</li> <li>▪ 井波にマーシ園があり、近く建て直しされると聞きましたが、家に障害のいる子供さんの家族を孤立させることなく訪問などしたりして、社会から孤立するのを避ける状態を作り、皆が幸せに暮らしていける様になればいいのかと思います。(60代)</li> <li>▪ 夫婦で年金生活者です。基礎疾患を持つ夫婦同士、健康に気をつけていますが、除雪、通院など心配は多々あります。核家族化が進む今、一括して相談できる課があれば安心かなと思います。(60代)</li> <li>▪ 福光温泉を祝日でも入れるようにしてほしい。5月の連休はことごとく休業しています。聞く所によると主体が社会福祉協議会と聞きましたが、だれのための社会福祉協議会でしょうか？自営業は休日、祝日しか行く事ができないのでなにとぞ善処をお願いします。(70代)</li> </ul>	5

分類	主な意見	件数
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 操法大会の予算がないのになぜ開催するのか、消火活動に直結するような事はしていないと思いますが、位置づけが不明です。このためだけに何十時間あつまる意味、なり手がいない現状をまるで考えていません。(30代)</li> <li>▪ 2011年3月11日以降、県内で震度1と震度2の地震が報じられません。避難場所も色々な意味でぐだぐだ、県は移住のアピールに「災害が少ない」と言うけれど、単に危機感がないだけとも取れます。(30代)</li> <li>▪ 地震があるので、どこに逃げればいいのか確認が必要だと思いました。(40代)</li> <li>▪ 南砺市防災アプリで、緊急メールサービスや防災無線の内容を配信してほしい。(50代)</li> <li>▪ 重要道路の街路樹が少ないということは火災が広がるように思います。街路樹が植えてない城端町部は上手からの吹風が強く、一旦上手で火災発生となれば追い風で火災拡大になるように思えます。(70代)</li> </ul>	5

分類	主な意見	件数
商工業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 定年後の高齢者に対する就労支援、年齢問わず求職者に仕事を提供するサービス、市での最低賃金の値上げ等、全ての人々が働くことに喜びを感じられるように就労支援を手厚くしてほしい。(10代)</li> <li>▪ 結婚して南砺市に引っ越してきました。買い物については驚くほど不便だと感じています。なるべく地元にお金を落としたいと思っていますが、いかんせん買い物する場所がありません。(30代)</li> <li>▪ 企業誘致に力をいれてほしい。若者の雇用を生み出してほしい。(40代ほか)</li> <li>▪ 仕事がない。就職氷河期世代が再チャレンジできるよう取り組んでほしい。肉體労働系ではない職場が少ない。学びなおしをしたが生かせるところがない。市がまず年齢制限をやめてほしい。(40代)</li> <li>▪ 経済を活性化させて住まいの近くで買い物ができるまちにしていってほしい。(50代)</li> <li>▪ 週末などに集う賑わいのある場所や商業施設が見当たりません。(60代)</li> <li>▪ 若者から見たら魅力のない町だと感じる。商店街の駐車場不足、空家対策、車で通ってもさびれた感じがひしひしと伝わる。南砺市では食品・衣料品・ドラッグストア以外の買をしようと思わない。(60代)</li> </ul>	13

分類	主な意見	件数
窓口・職員等	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 税金の証明書をコンビニでとれるようにしてほしい。(30代)</li> <li>▪ 病院、保育、福祉関係の人員不足が酷いです。(30代)</li> <li>▪ 三世帯で同居していても、家計は別なことが多いので、別の世帯として扱ってほしい。選挙券や給付金などの市からの郵便物など、できれば個人宛にしてほしい。子供関係の書類が世帯主(祖父)に送られてきたことがあった。(30代)</li> <li>▪ 相談事ができた時、顔が見える安心感だけでなく、知られたくない場合の行き詰まり感があると思う。窓口 or 匿名(匿名の場合は、敢えて別地域の対応)などの体制があれば良いと思う。(40代)</li> <li>▪ 無能な職員が多いのではないのでしょうか。夜になっても電気ばかりついてます。(40代)</li> <li>▪ 市役所などで働く女性が南砺市のサービス向上の裏で自身の家庭、育児などを犠牲にして仕事に追われ、大変な思いをしています。(40代)</li> <li>▪ 上下水道について、他の市は2ヶ月毎の支払いなのに南砺市では毎月上下水道料金が発生するのは何故ですか？2ヶ月毎にはならないのでしょうか？(50代)</li> <li>▪ 図書館をよく利用しているのですが、携帯からの蔵書検索の仕方が変わり、(登録システム)利用できなくなり、不便になりました。(50代)</li> <li>▪ やらない後悔よりも行動市長の姿勢を応援しています。(50代)</li> <li>▪ 地区代表等が市役所に集まる会合はオンライン可のハイブリット化を勧めて欲しい(往復1時間強、会議1時間)負担感、時間のロス。(50代)</li> <li>▪ いろいろとチャレンジされて頼もしく感じ、応援したい気持ちはありますが、「ボクなん」1,000万円プロジェクトは南砺市のためになるとは思えません。市長のおさげセーラー服姿、センスの無さに驚愕しました。残念です。(50代)</li> <li>▪ コンサルや外部人材の多用が気になります。市職員の育成にもっと力を入れ、自前で企画立案できるようにするべきだと考えます。(60代)</li> <li>▪ 市の職員は住民のごまかったことにきちんと対応してほしい。市役所の都合で対策を考えないでください。(60代)</li> <li>▪ 市長を始め、市職員の皆さんは大変良く仕事をされているとっております。(60代)</li> <li>▪ ころころ市役所の課名を変えないで欲しい。(70代)</li> <li>▪ 行政に人が少なすぎます。行政が人を減らすことだけを考えているから、人口も増えないし、結婚しようとする人も、子どもを産み育てようとする人も増えないのです。(70代)</li> </ul>	33